

令和7年度

県民ニーズ調査 報告書

令和7年8月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	7
1. 県の施策について	7
(1) 県の広報	7
(2) 次代を担う「人財」の育成	9
(3) 「世界から選ばれる福岡県」の実現	11
(4-1) ワンヘルスの推進	13
(4-2) ワンヘルスの推進	14
(5) 商工業	16
(6) 農林水産業	18
(7) 観光	20
(8) 雇用・働き方	22
(9) デジタル化	24
(10) 保健・医療	26
(11) スポーツ	28
(12) 文化芸術	30
(13) 高齢者	32
(14) 障がいのある人	34
(15) 人権	36
(16) 国際交流	38
(17) 防犯・交通安全	40
(18) 地域振興	42
(19) 移住・定住	44
(20) 企業誘致	45
(21) グリーン社会	46
(22) 教育	48
(23) こども・子育て支援	50
(24) 防災	52
(25) 重点分野	54
2. 自由意見	56
IV. 資料編	63
<調査票>	63

I. 調査概要

1. 調査目的

県が進める施策に対する県民ニーズを把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。
ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 令和 7 年 6 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法・インターネット回答 |
| (7) 調査期間 | 令和 7 年 7 月 1 日～令和 7 年 7 月 23 日 |
| (8) 回収数（率） | 1,666 サンプル（41.7%） |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4 地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北 九 州 市	福 岡 市		
市	行 橋 市 豊 前 市 中 間 市	筑 紫 野 市 春 日 市 大 野 城 市 宗 像 市 太 宰 府 市 古 賀 市 福 津 市 朝 倉 市 糸 島 市 那 珂 川 市	直 方 市 飯 塚 市 田 川 市 宮 若 市 嘉 麻 市	大 牟 田 市 久 留 米 市 柳 川 市 八 女 市 筑 後 市 大 川 市 小 郡 市 う き は 市 み や ま 市
町村	芦 屋 町 水 巻 町 岡 垣 町 遠 賀 町 苅 田 町 み や こ 町 吉 富 町 上 毛 町 築 上 町	宇 美 町 篠 栗 町 志 免 町 須 恵 町 新 宮 町 久 山 町 粕 屋 町 筑 前 町 東 峰 村	小 竹 町 鞍 手 町 桂 川 町 香 春 町 添 田 町 糸 田 町 川 崎 町 大 任 町 赤 福 村 智 町	大 刀 洗 町 大 木 町 広 川 町

3. 調査の企画と実施機関

企 画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課

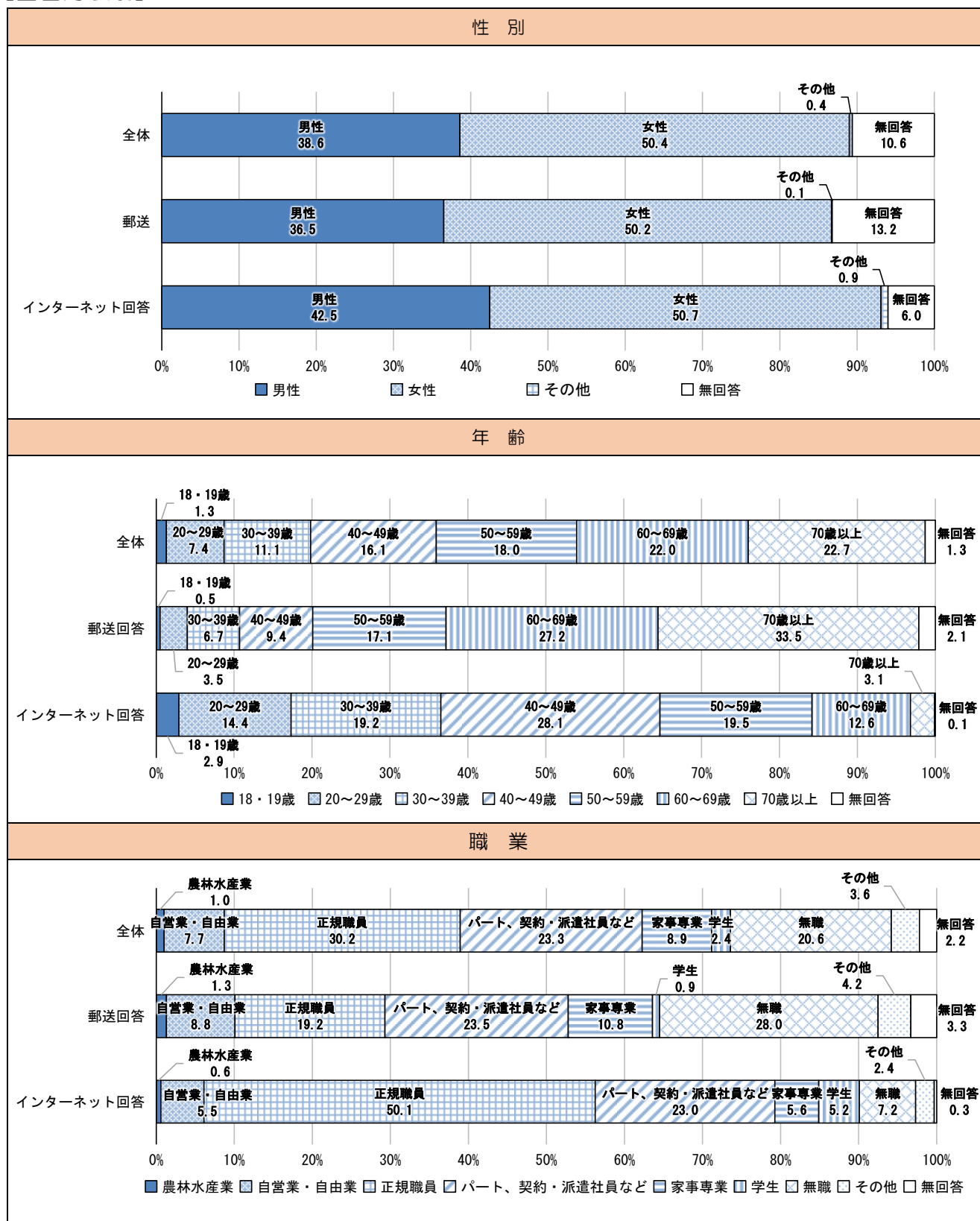
調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

【 調査結果利用上の注意 】

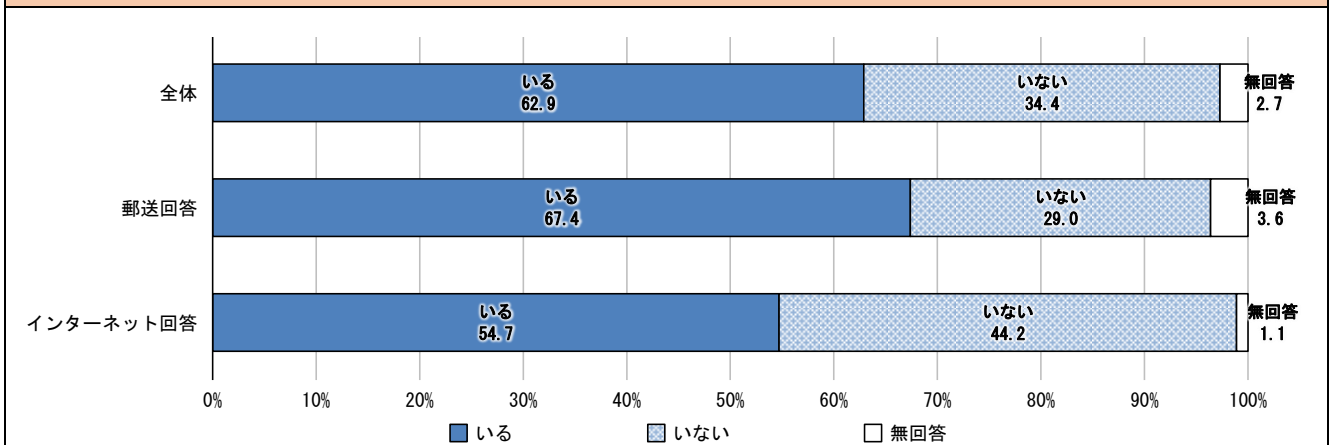
- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

II. 対象者属性

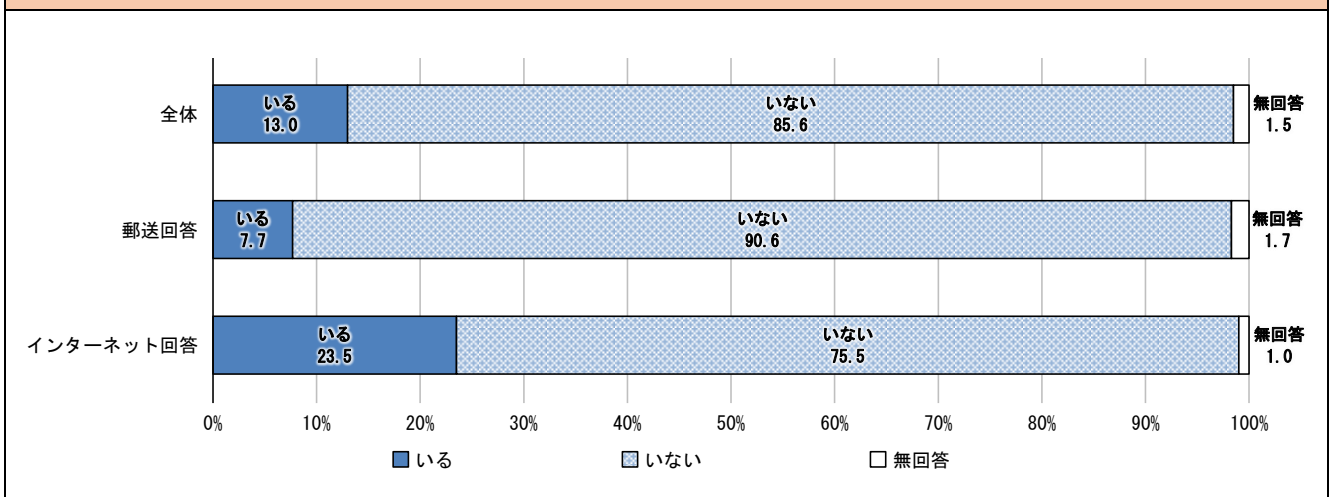
【回答方法別】



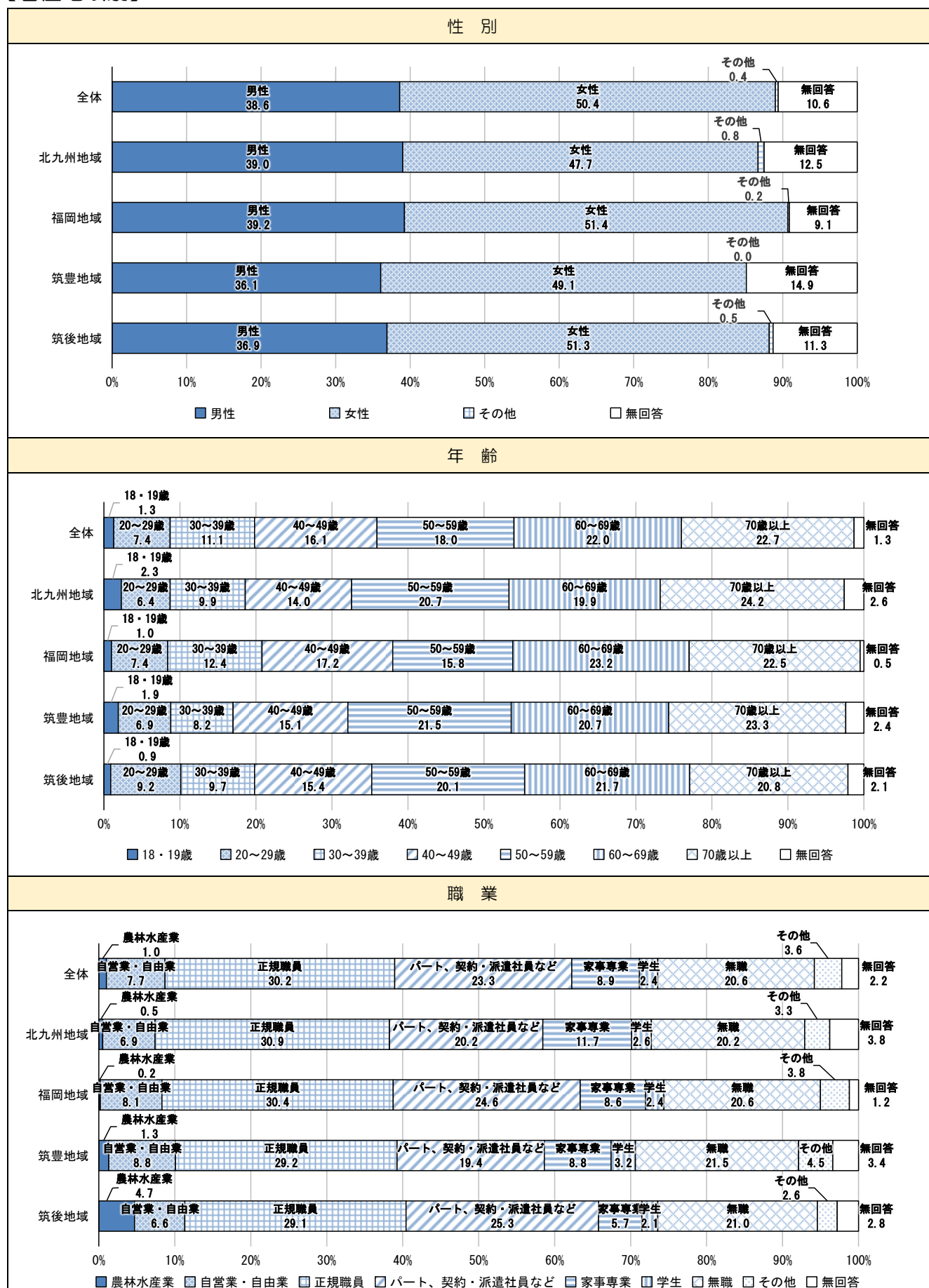
子どもの有無



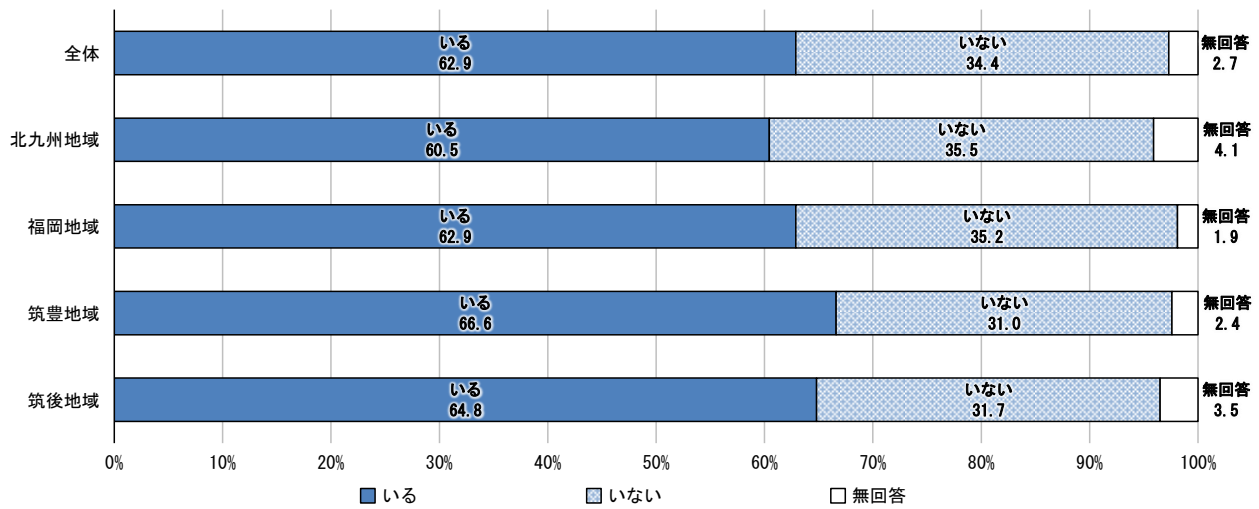
小学校入学前の子どもの有無



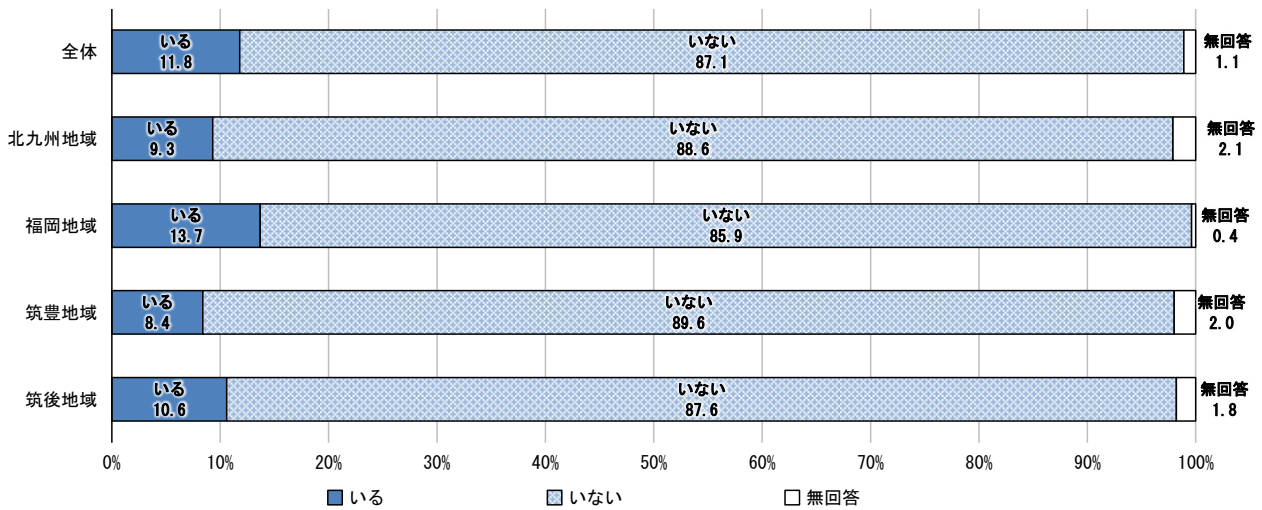
【居住地域別】



子どもの有無



小学校入学前の子どもの有無



Ⅲ. 調査結果

1. 県の施策について

☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

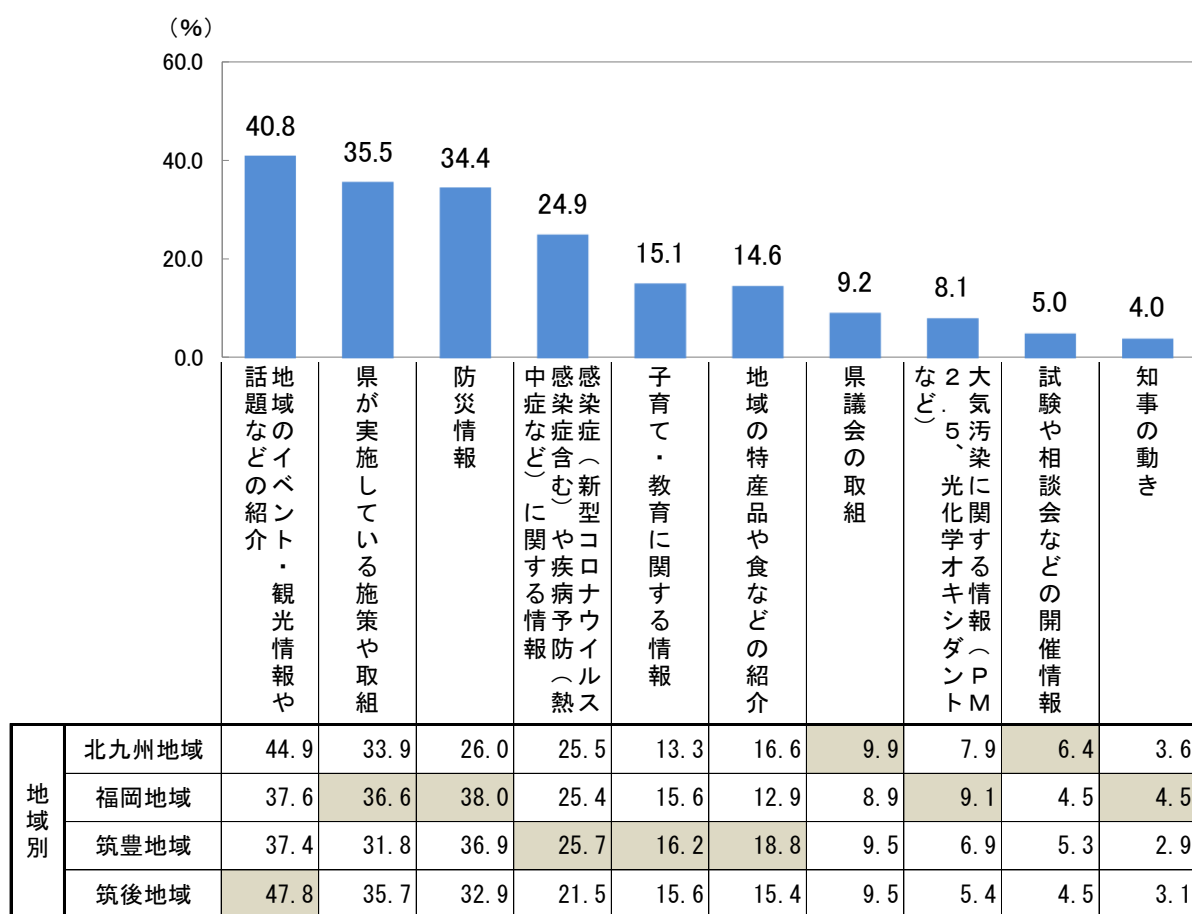
(1) 県の広報

【あてはまるもの2つ選択可】

県から発信してほしい情報について尋ねたところ、県全体では「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」(40.8%)が最も高く、次いで、「県が実施している施策や取組」(35.5%)、「防災情報」(34.4%)、「感染症(新型コロナウイルス感染症含む)や疾病予防(熱中症など)に関する情報」(24.9%)の順となっています。

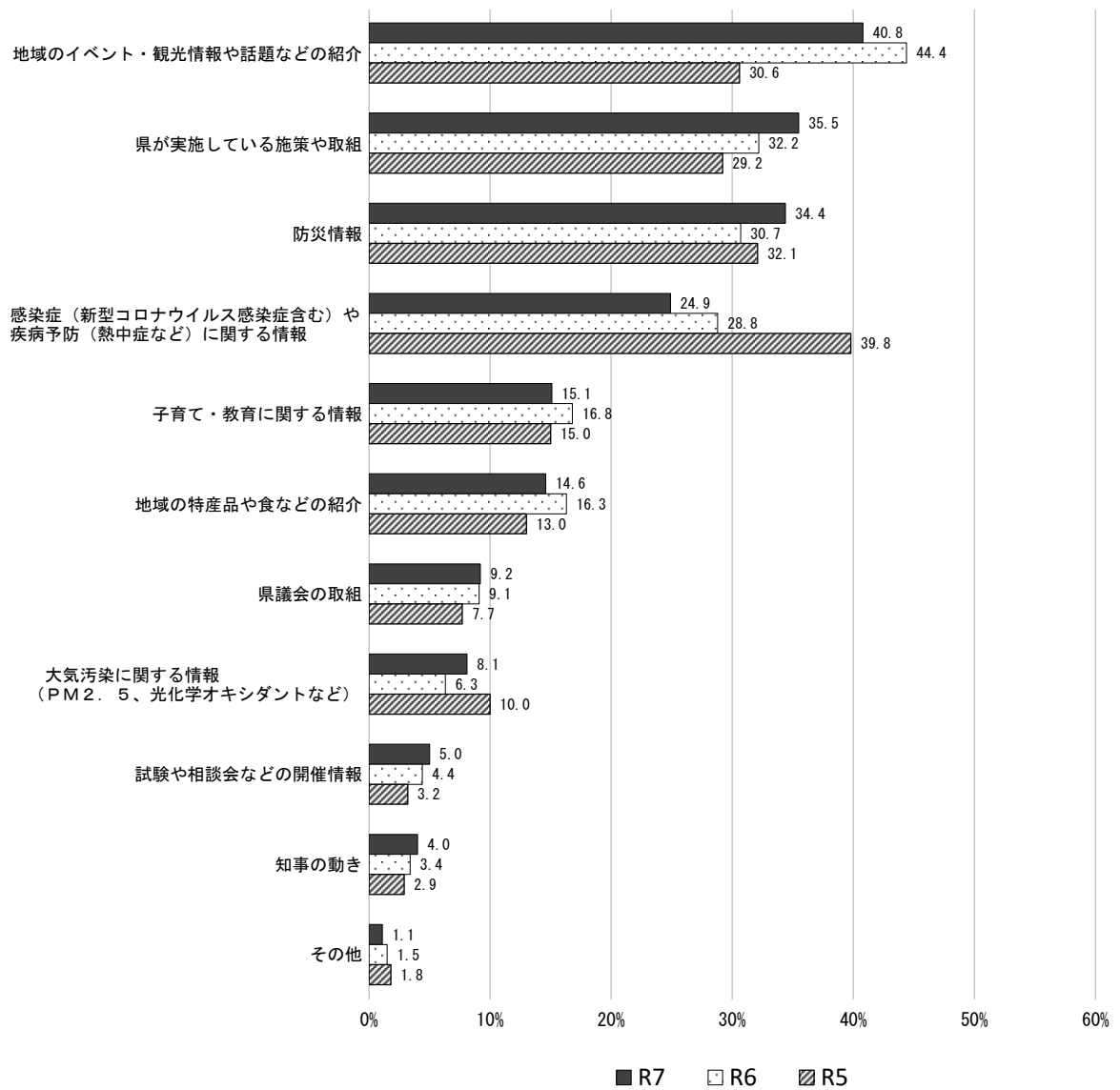
地域別にみると、筑後地域では「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」が他地域と比較して高くなっています。

県の広報



■は4地域中で最も高い値の地域

県の広報（経年変化）



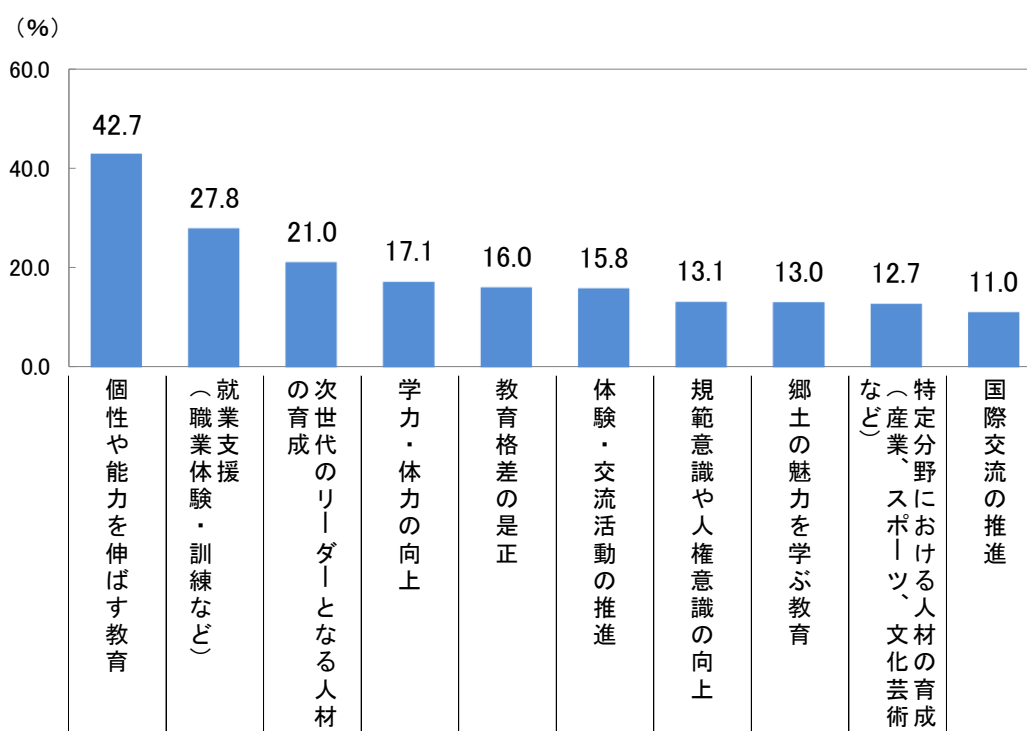
(2) 次代を担う「人財」の育成

【あてはまるもの2つ選択可】

次代を担う「人財」の育成について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「個性や能力を伸ばす教育」(42.7%)が最も高く、次いで、「就業支援(職業体験・訓練など)」(27.8%)、「次世代のリーダーとなる人材の育成」(21.0%)、「学力・体力の向上」(17.1%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「郷土の魅力を学ぶ教育」が他地域と比較して高くなっています。

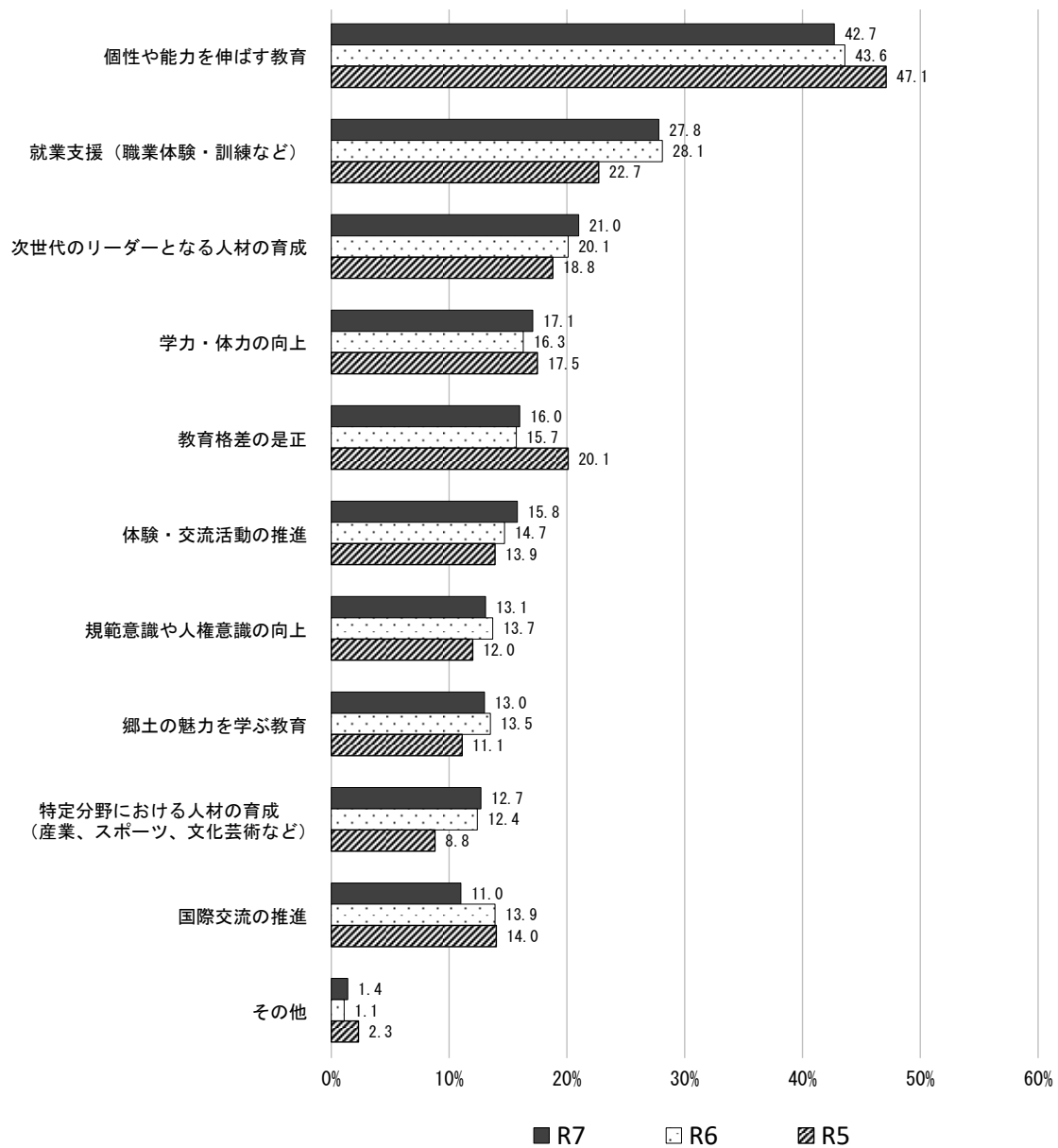
次代を担う「人財」の育成



地域別	北九州地域	41.3	27.8	18.6	16.3	14.5	13.3	15.3	14.3	11.2	12.5
	福岡地域	43.3	28.0	22.5	18.2	16.5	16.5	11.7	11.5	13.9	10.5
	筑豊地域	43.2	29.2	20.4	17.0	17.8	15.4	10.3	12.2	15.4	10.9
	筑後地域	42.6	26.7	19.9	14.7	15.8	17.5	16.3	16.8	9.5	10.4

■は4地域中で最も高い値の地域

次代を担う「人財」の育成（経年変化）



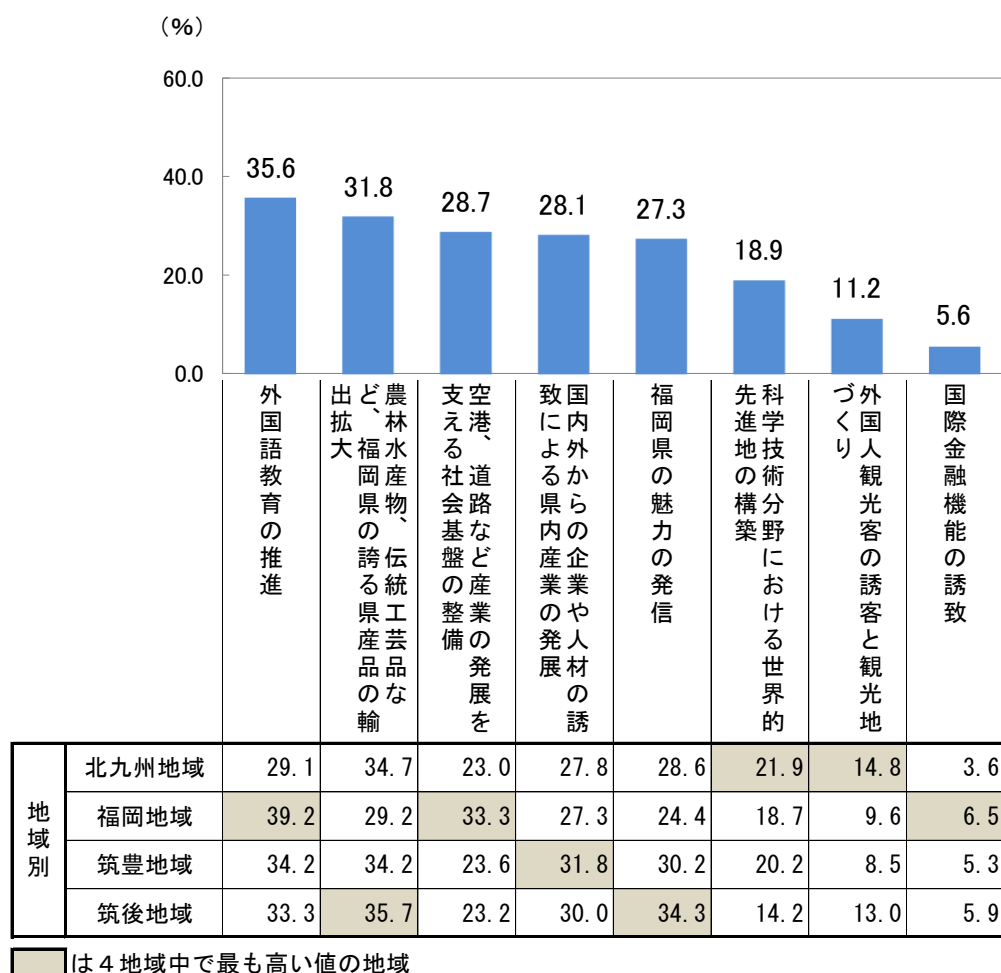
(3) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

【あてはまるもの2つ選択可】

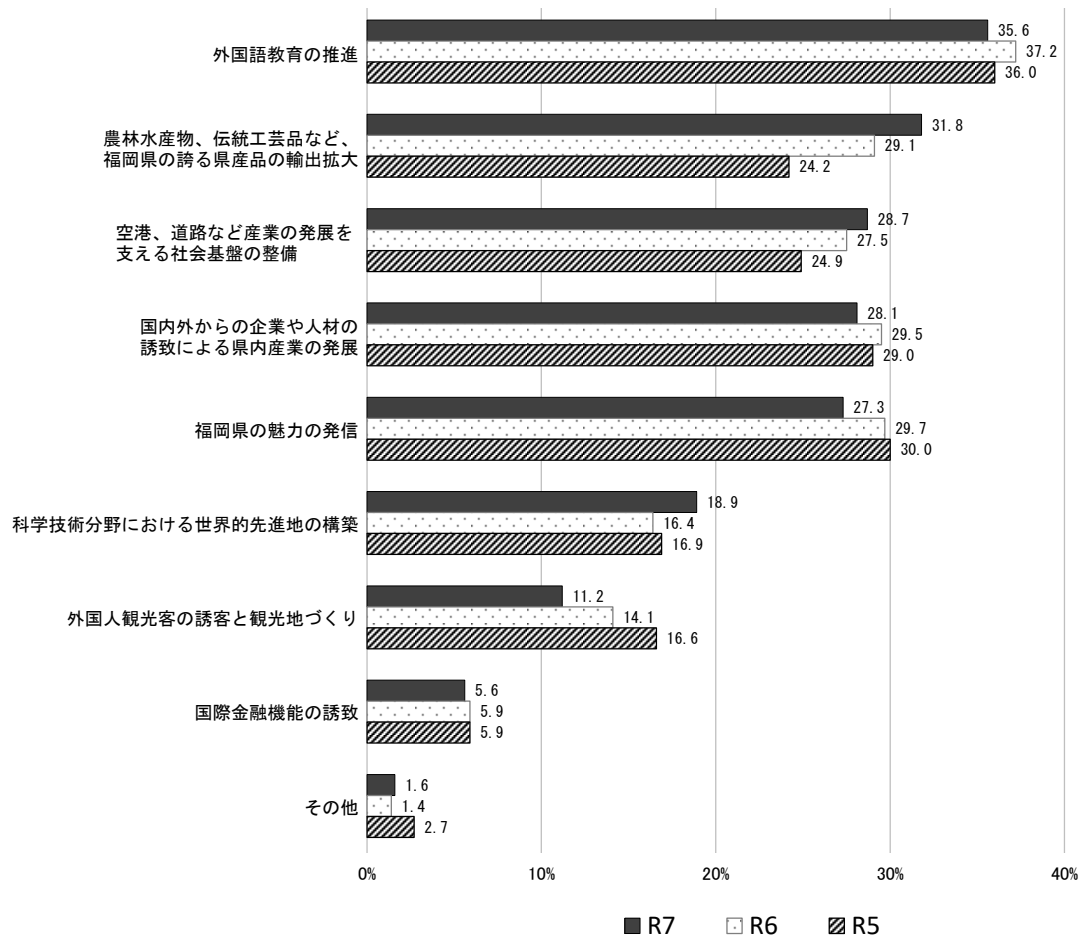
「世界から選ばれる福岡県」の実現について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「外国語教育の推進」(35.6%)が最も高く、次いで、「農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大」(31.8%)、「空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備」(28.7%)、「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」(28.1%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備」が他地域と比較して高くなっています。

「世界から選ばれる福岡県」の実現



「世界から選ばれる福岡県」の実現（経年変化）

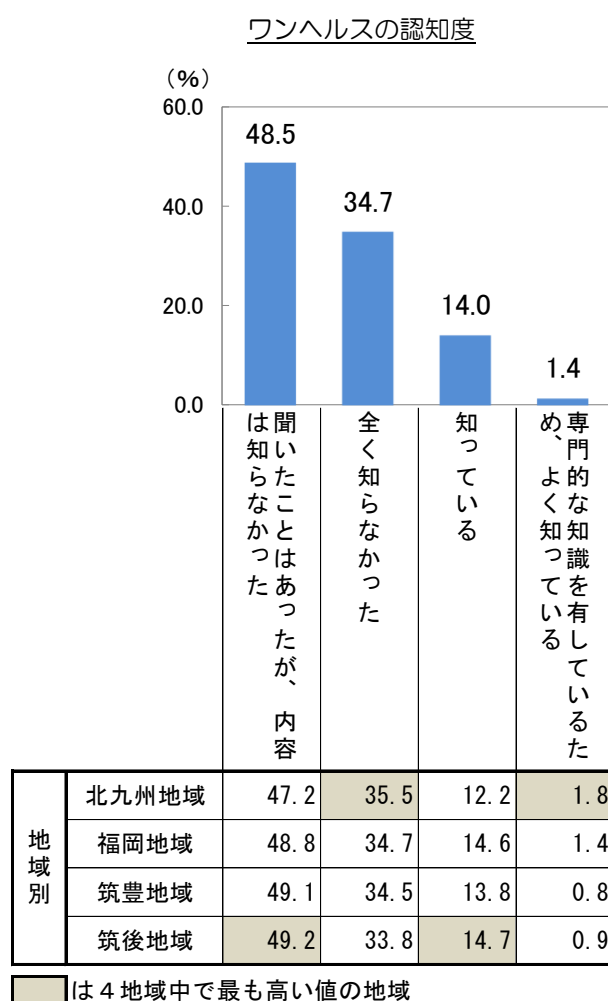


(4-1) ワンヘルスの推進

【あてはまるもの1つ選択】

「ワンヘルス」とは何か知っているか尋ねたところ、県全体では「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」(48.5%)が最も高く、次いで、「全く知らなかった」(34.7%)、「知っている」(14.0%)、「専門的な知識を有しているため、よく知っている」(1.4%)となっています。

地域別でみると、どの地域でも「聞いたことはあったが、内容は知らなかった」が最も高くなっています。



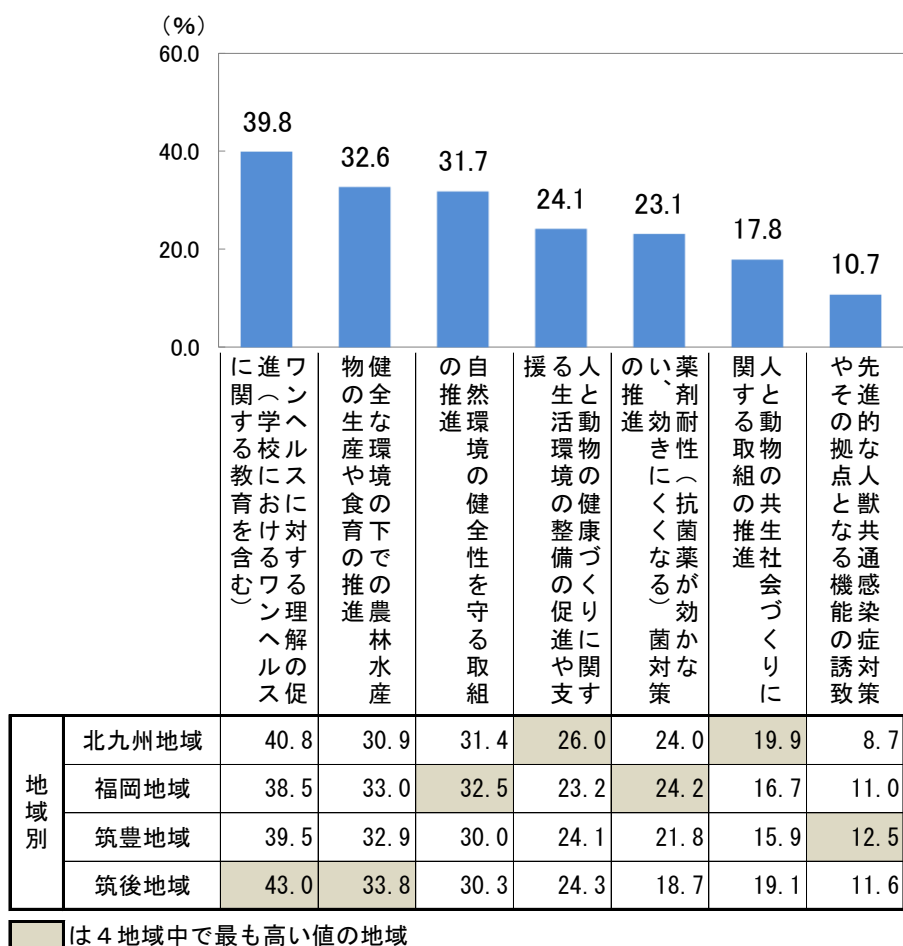
(4-2) ワンヘルスの推進

【あてはまるもの2つ選択可】

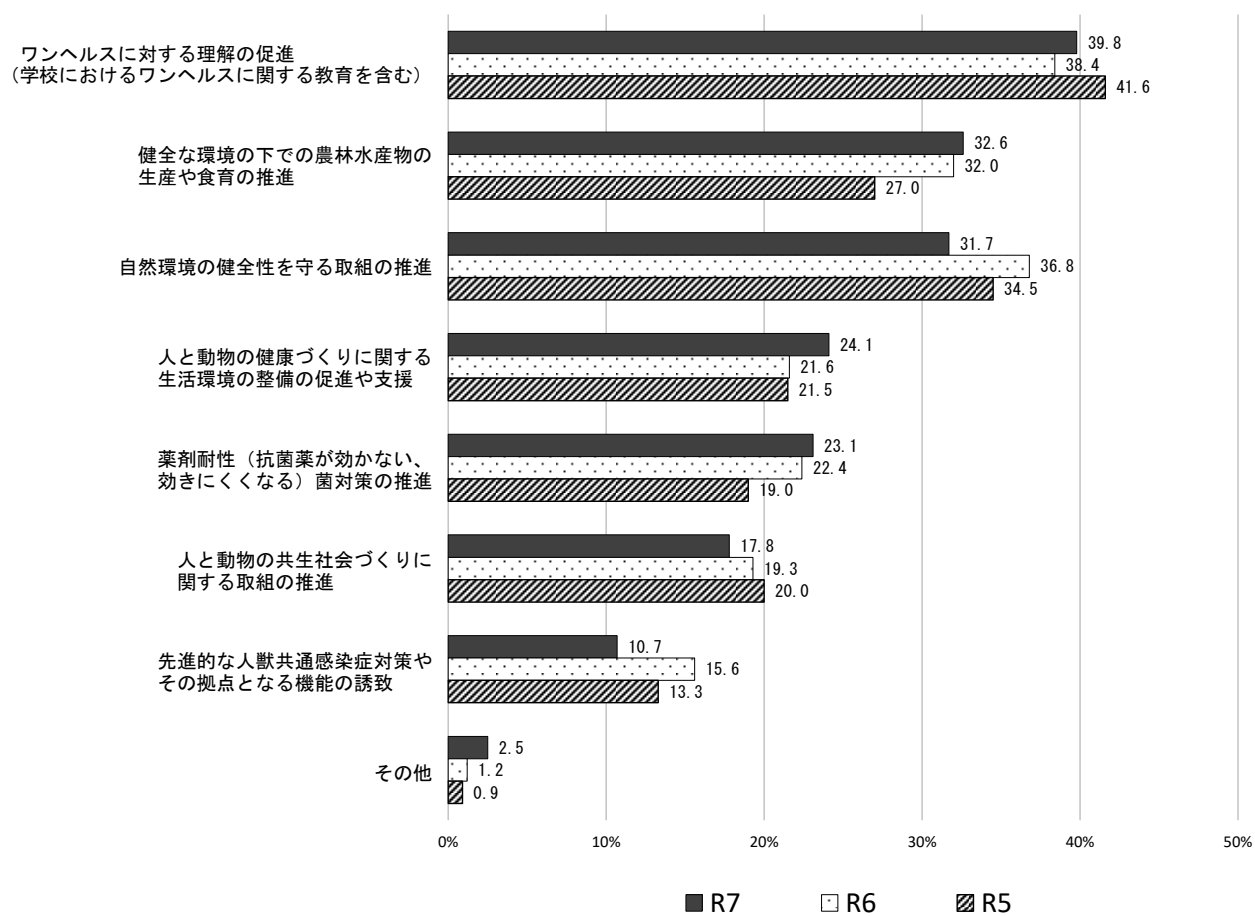
ワンヘルスの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」（39.8%）が最も高く、次いで、「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」（32.6%）、「自然環境の健全性を守る取組の推進」（31.7%）の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」が他地域と比較して高くなっています。

ワンヘルスの推進



ワンヘルスの推進（経年変化）



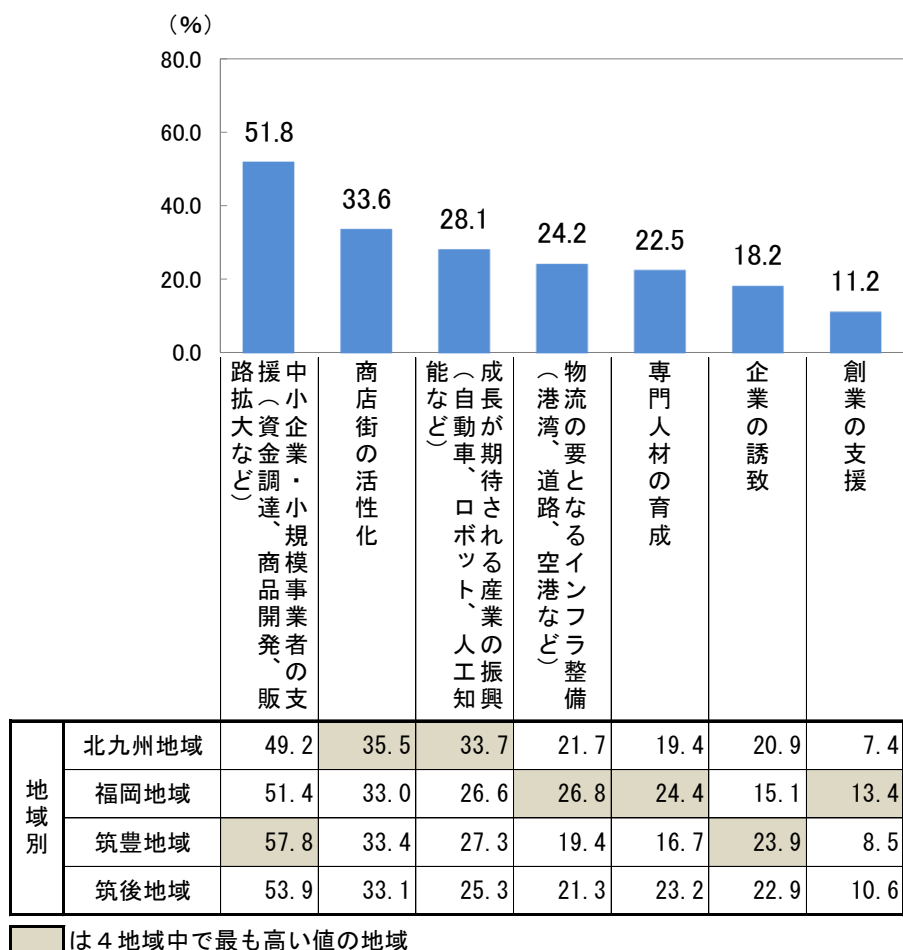
(5) 商工業

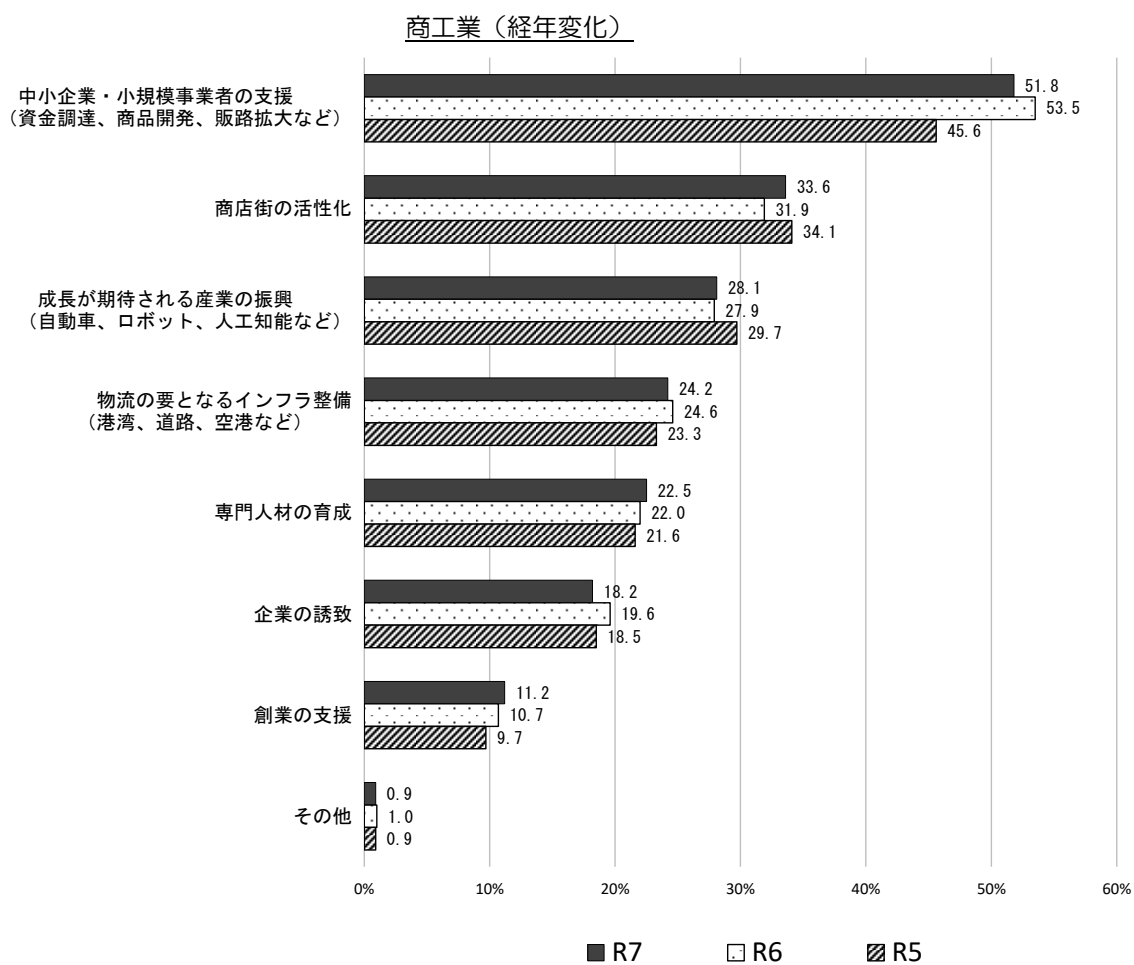
【あてはまるもの2つ選択可】

商工業を通じた福岡県経済の発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「中小企業・小規模事業者の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」（51.8%）が最も高く、次いで、「商店街の活性化」（33.6%）、「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」（28.1%）の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」が他地域と比較して高くなっています。

商工業



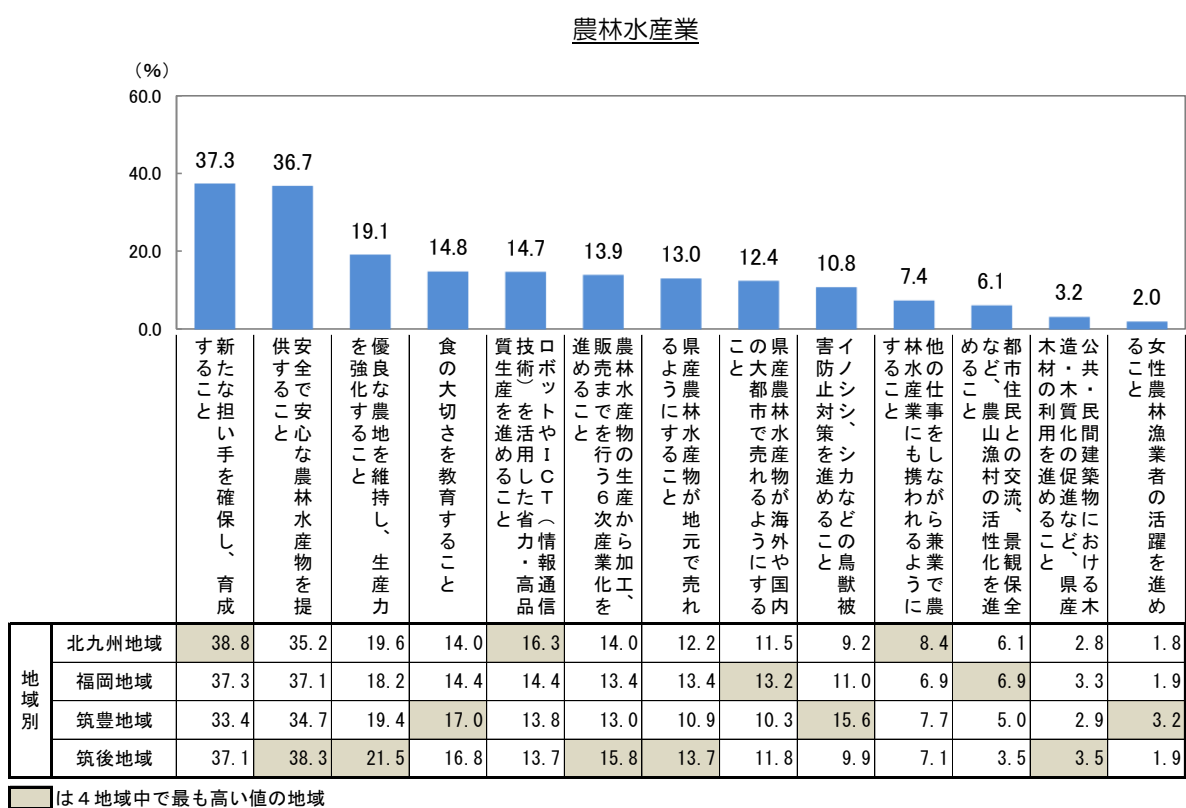


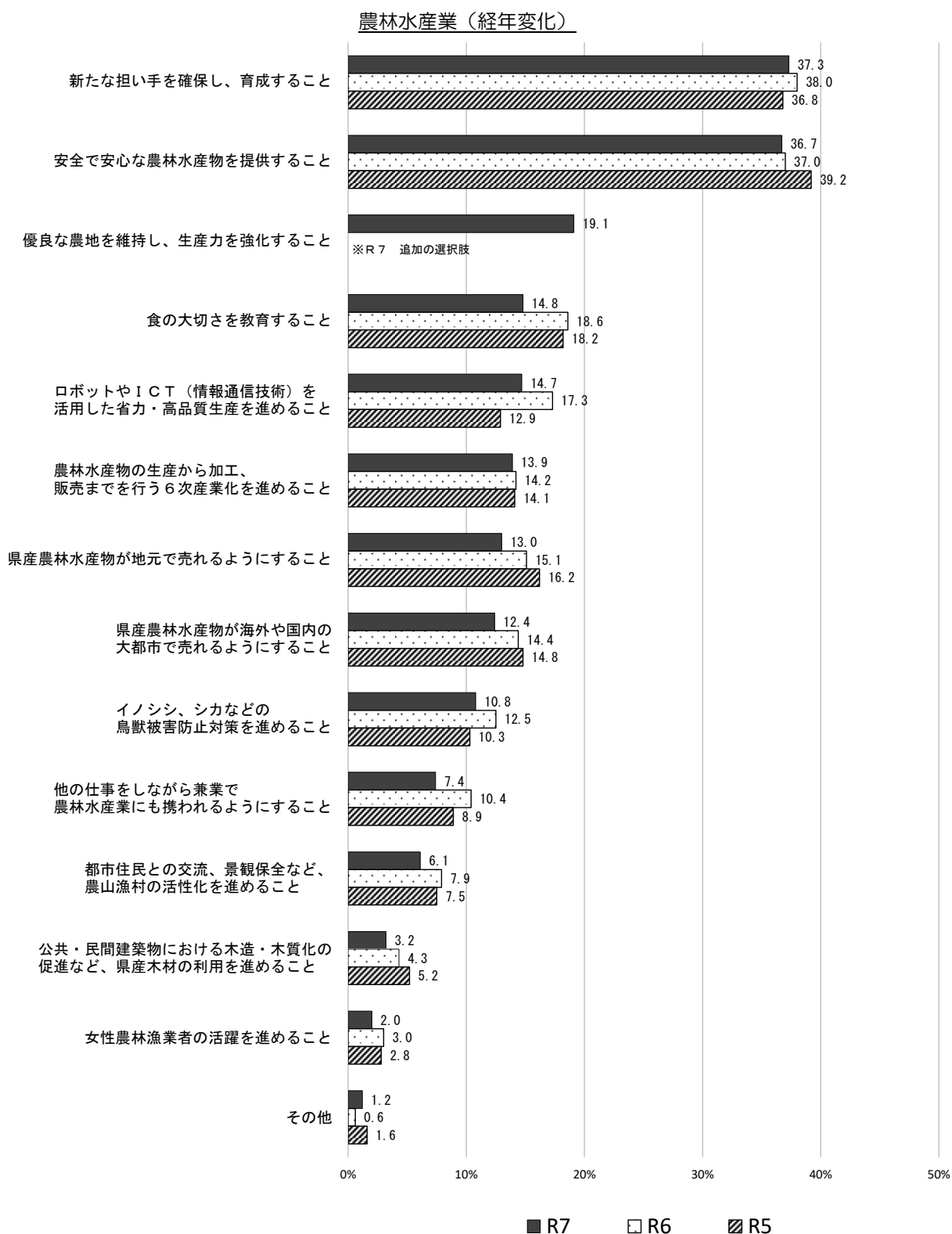
(6) 農林水産業

【あてはまるもの2つ選択可】

福岡県の農林水産業発展について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「新たな担い手を確保し、育成すること」(37.3%)が最も高く、次いで、「安全で安心な農林水産物を提供すること」(36.7%)、「優良な農地を維持し、生産力を強化すること」(19.1%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること」が他地域と比較して高くなっています。





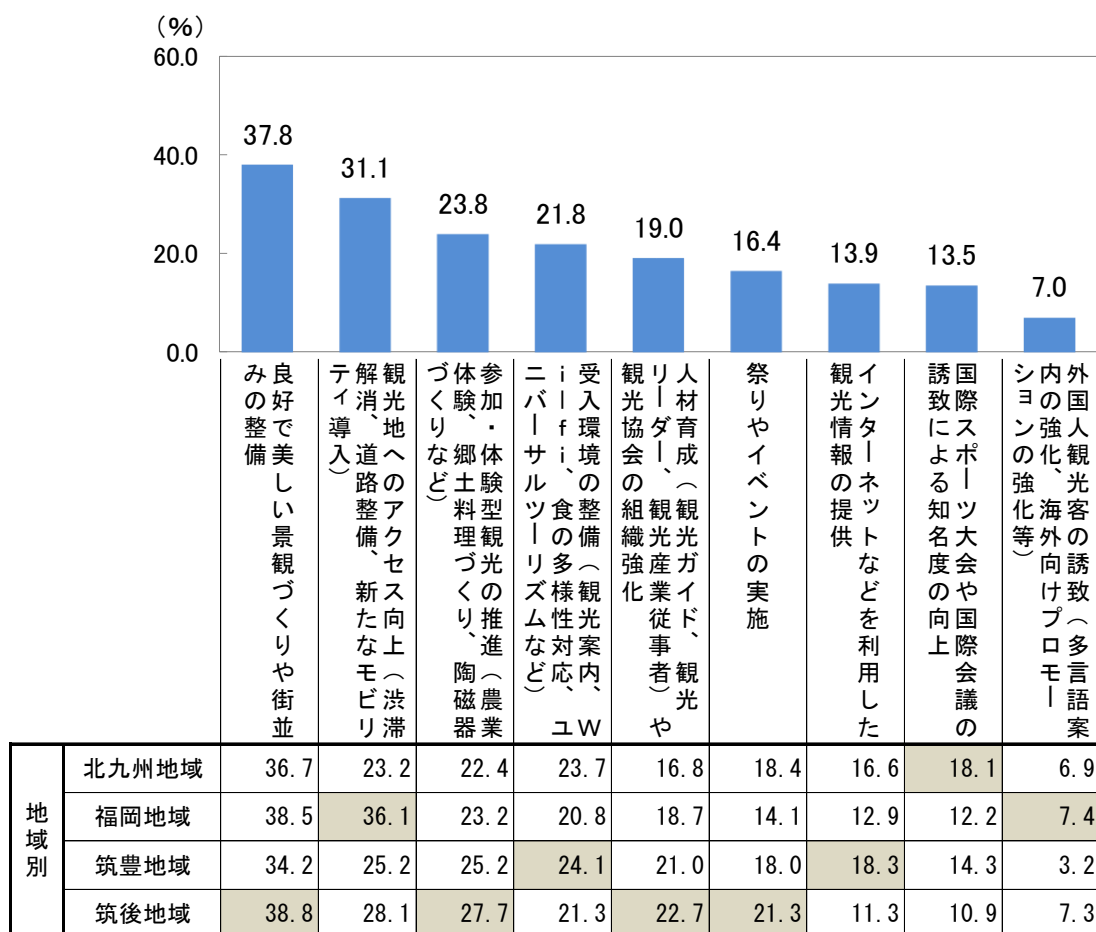
(7) 観光

【あてはまるもの2つ選択可】

観光客誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「良好で美しい景観づくりや街並みの整備」(37.8%)が最も高く、次いで、「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備、新たなモビリティ導入)」(31.1%)、「参加・体験型観光の推進(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)」(23.8%)、「受入環境の整備(観光案内、Wi-fi、食の多様性対応、ユニバーサルツーリズムなど)」(21.8%)の順となっています。

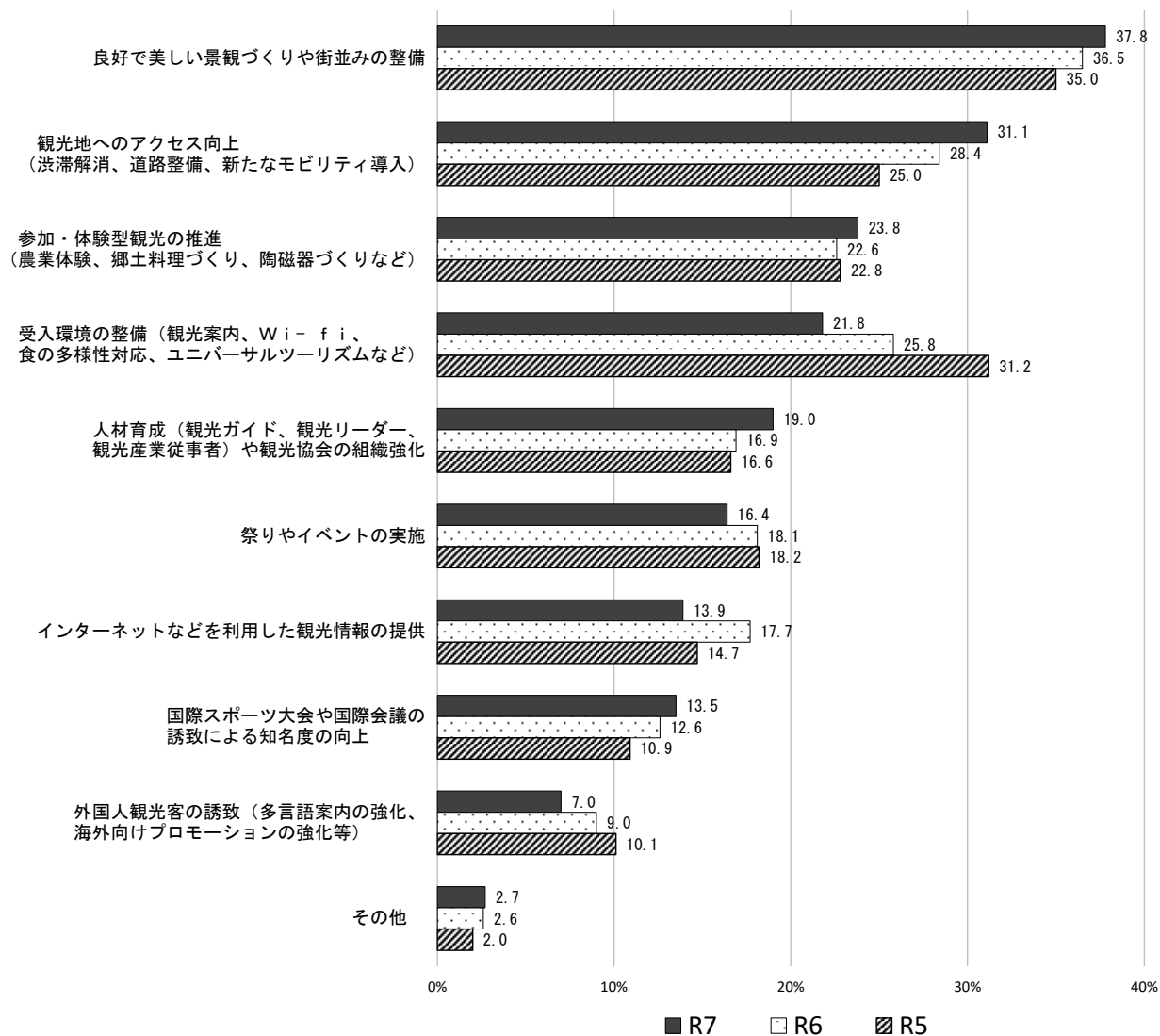
地域別にみると、福岡地域では「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備、新たなモビリティ導入)」が他地域と比較して高くなっています。

観 光



■は4地域中で最も高い値の地域

観 光（経年変化）



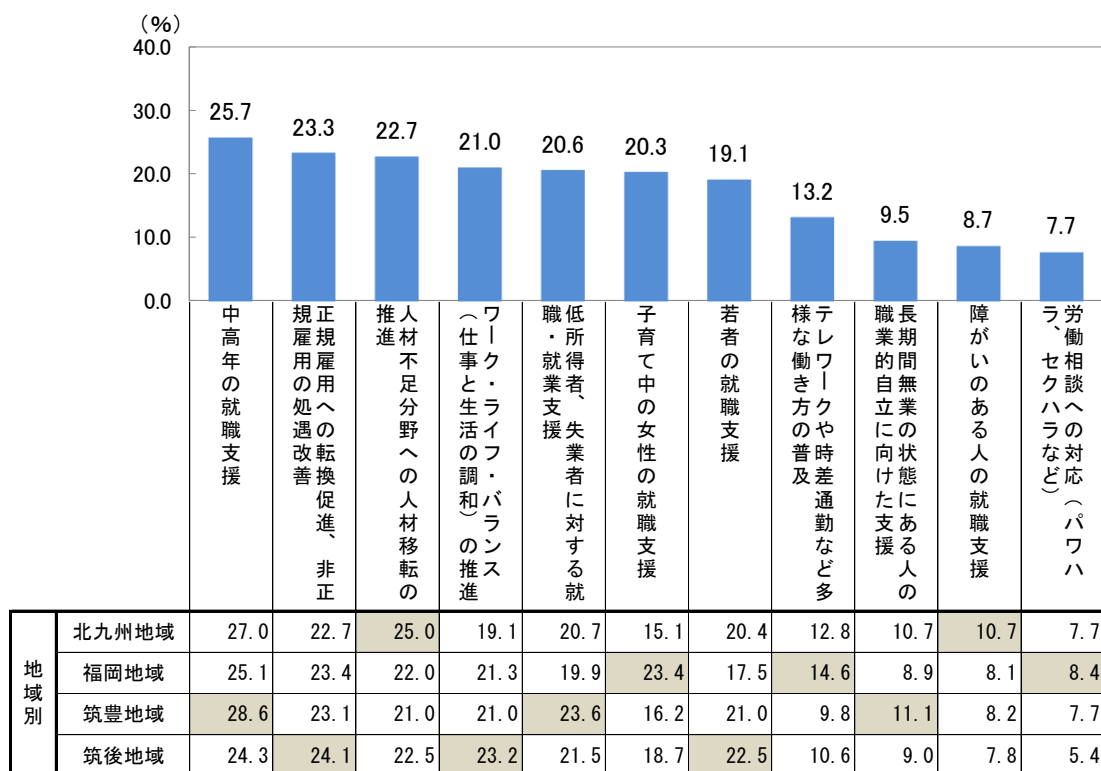
(8) 雇用・働き方

【あてはまるもの2つ選択可】

雇用対策について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「中高年の就職支援」(25.7%)が最も高く、次いで、「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」(23.3%)、「人材不足分野への人材移転の推進」(22.7%)、「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」(21.0%)の順となっています。

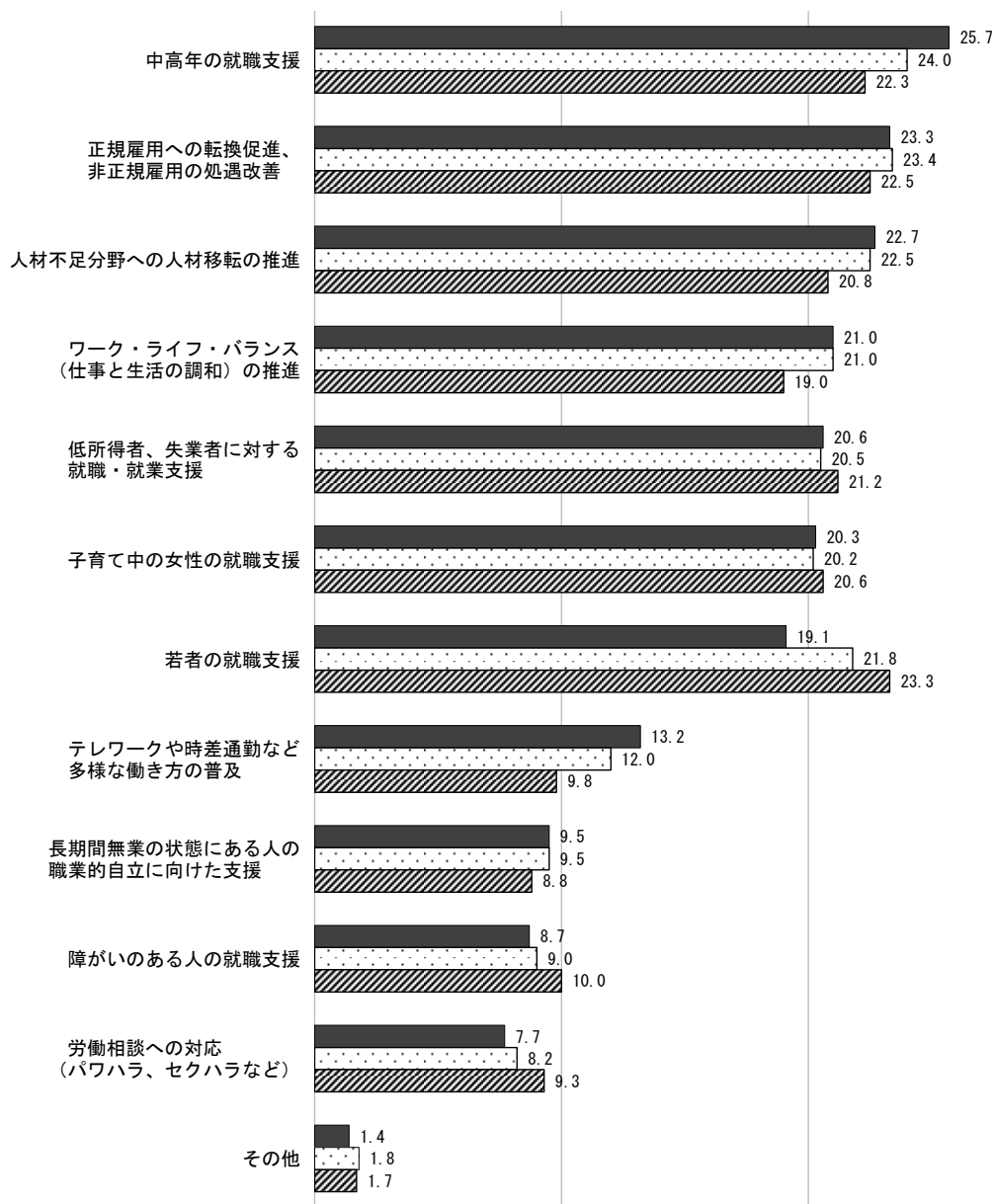
地域別にみると、福岡地域では「子育て中の女性の就職支援」が他地域と比較して高くなっています。

雇用・働き方



■は4地域中で最も高い値の地域

雇用・働き方（経年変化）



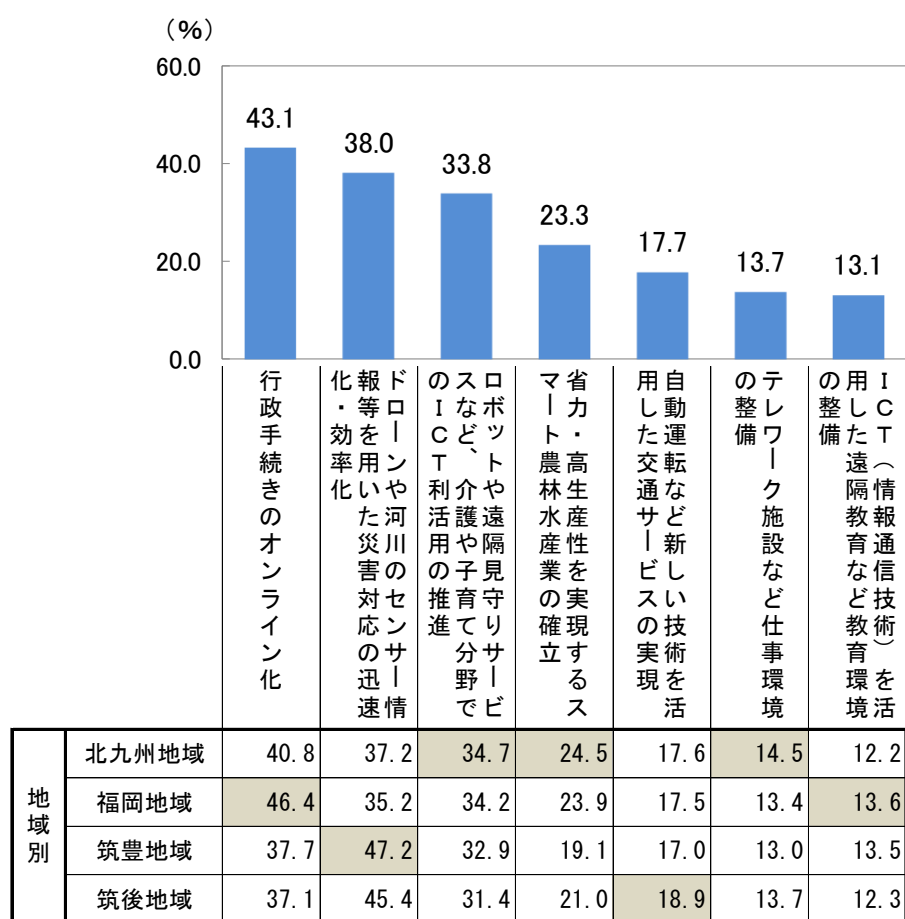
(9) デジタル化

【あてはまるもの 2 つ選択可】

デジタル化について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「行政手続きのオンライン化」(43.1%) が最も高く、次いで、「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」(38.0%)、「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野での ICT 利活用の推進」(33.8%) の順となっています。

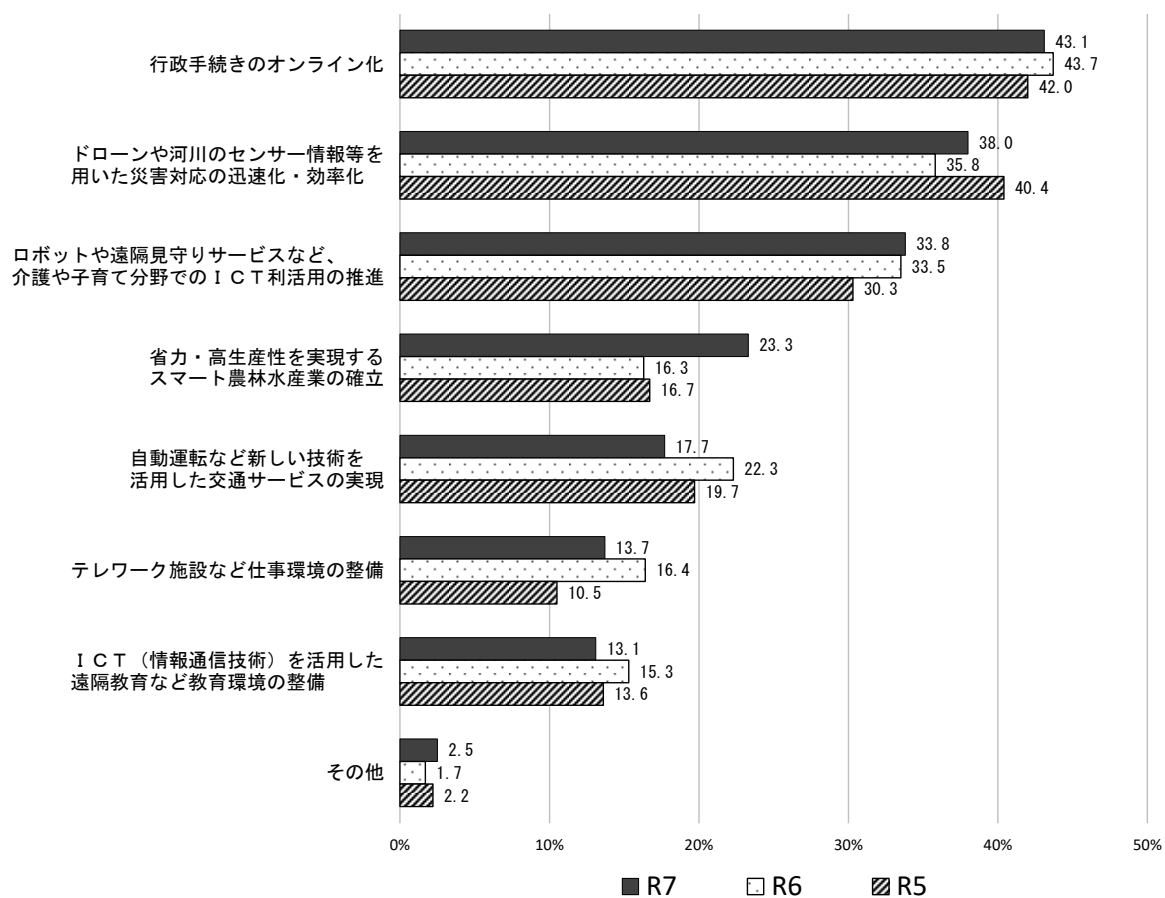
地域別にみると、福岡地域では「行政手続きのオンライン化」が他地域と比較して高くなっています。

デジタル化



■は4地域中で最も高い値の地域

デジタル化（経年変化）

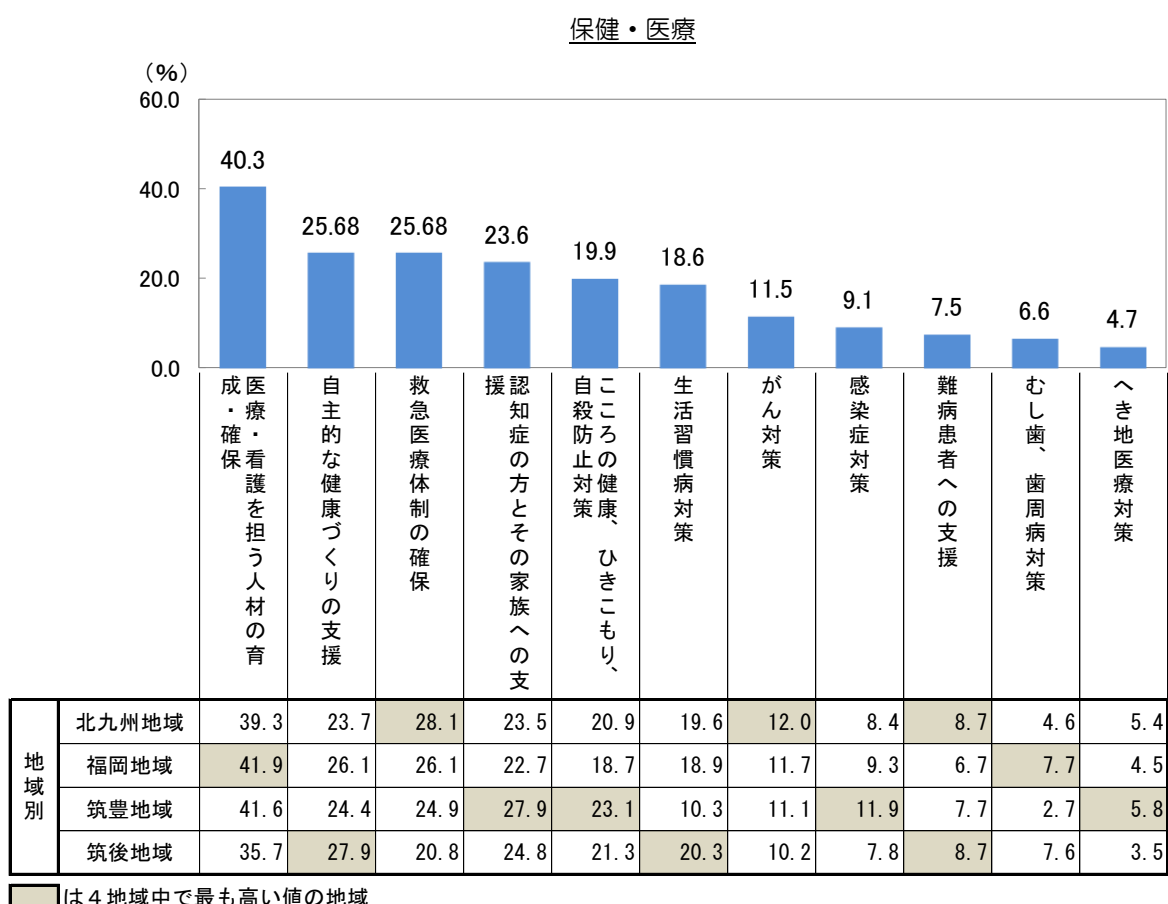


(10) 保健・医療

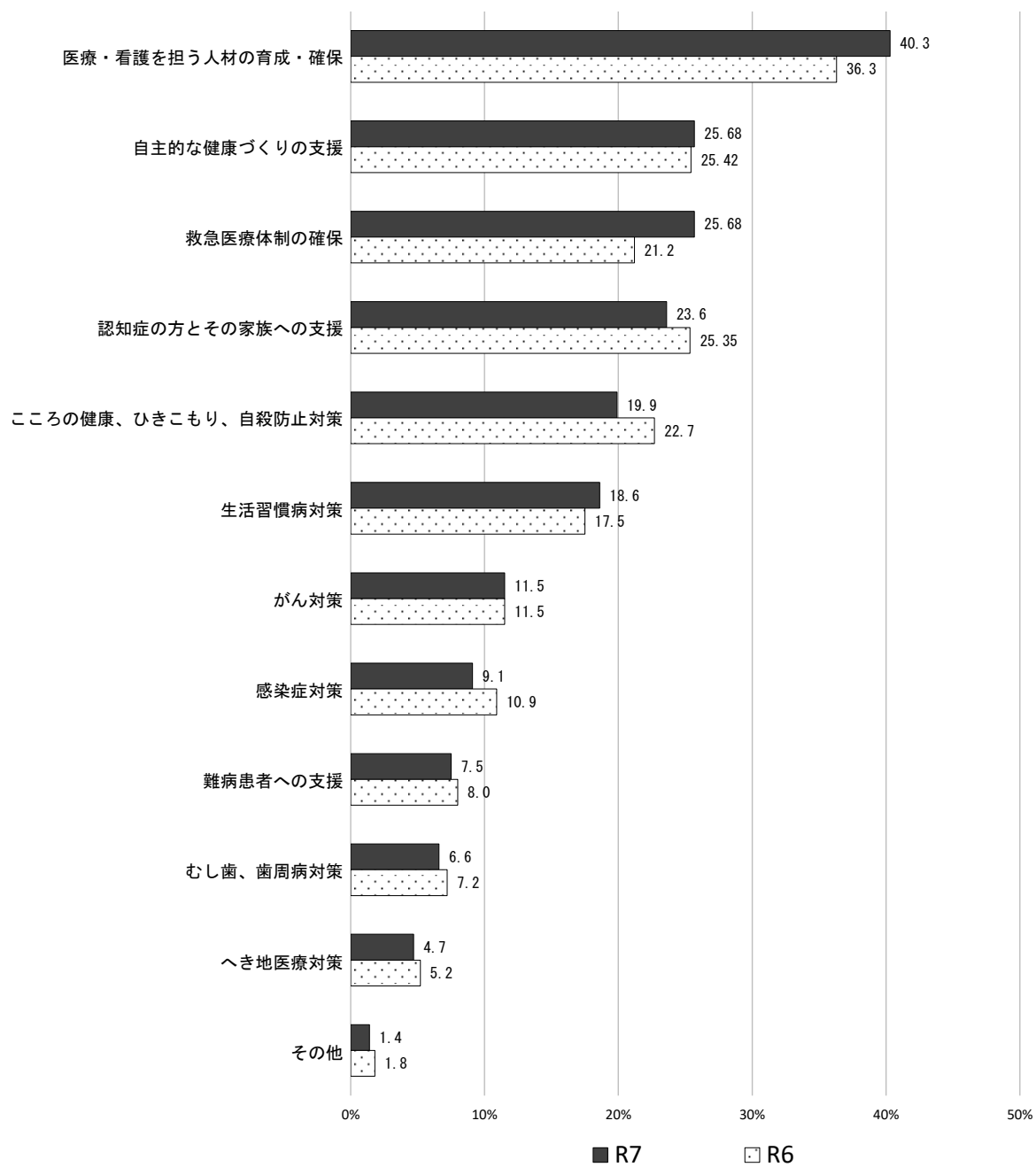
【あてはまるもの2つ選択可】

健康で長生きすることができる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「医療・看護を担う人材の育成・確保」(40.3%)が最も高く、次いで、「自主的な健康づくりの支援」(25.68%)、「救急医療体制の確保」(25.68%)、「認知症の方とその家族への支援」(23.6%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「認知症の方とその家族への支援」が他地域と比較して高くなっています。



保健・医療（経年比較）



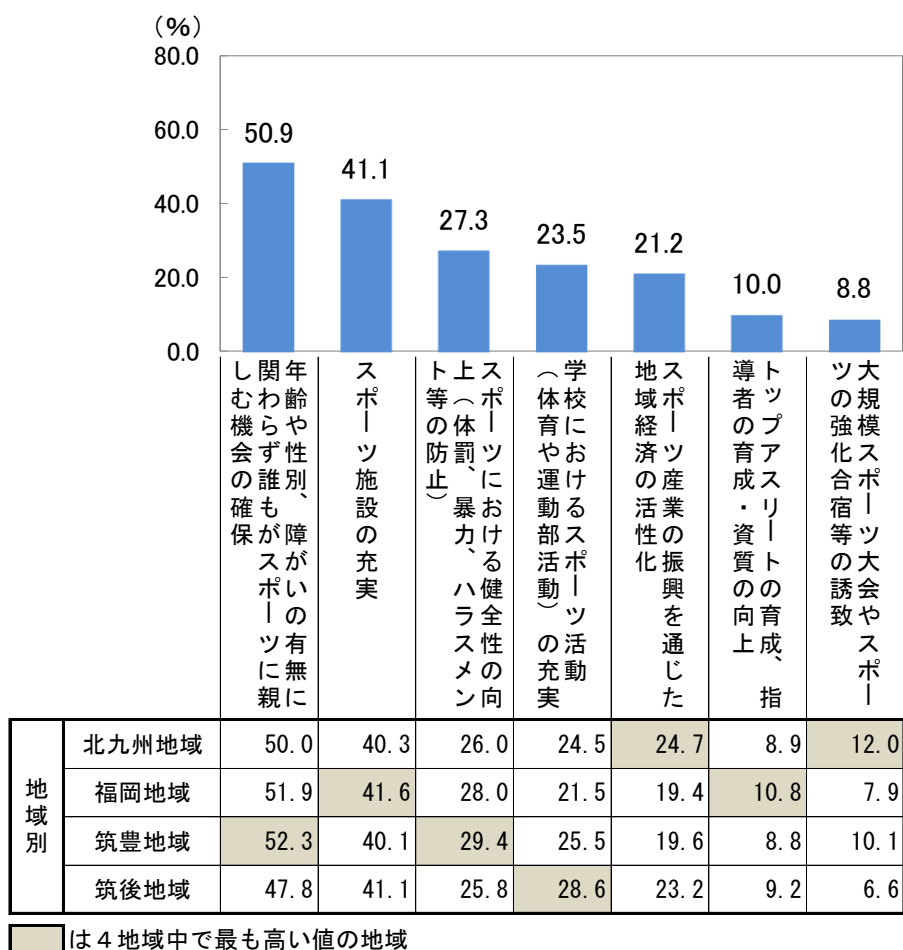
(11) スポーツ

【あてはまるもの2つ選択可】

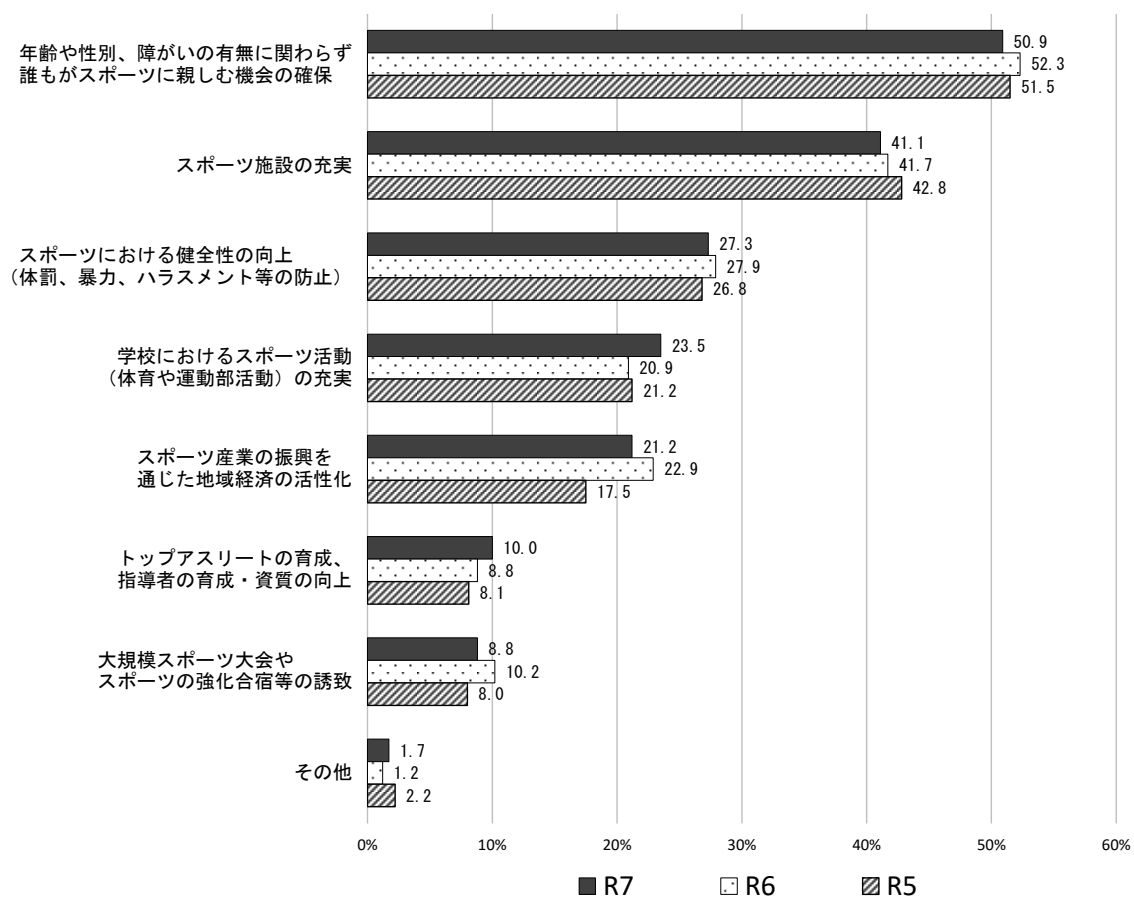
スポーツの推進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」(50.9%)が最も高く、次いで、「スポーツ施設の充実」(41.1%)、「スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)」(27.3%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「学校におけるスポーツ活動(体育や運動部活動)の充実」が最も高くなっています。

スポーツ



スポーツ（経年変化）



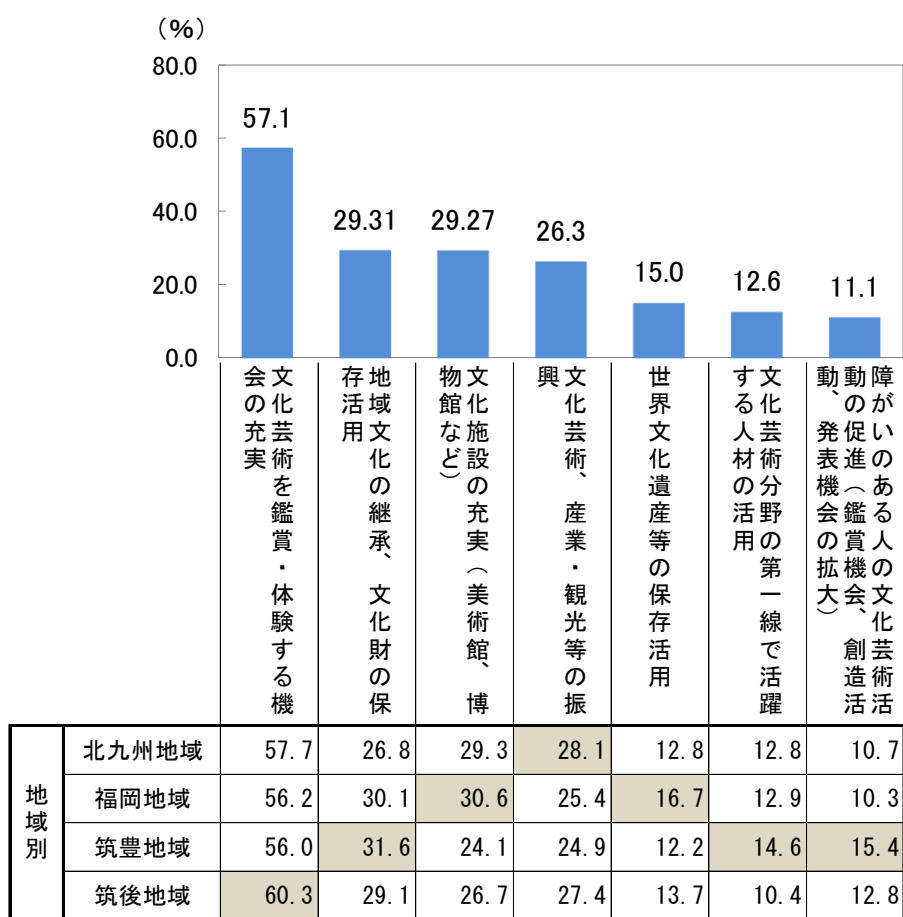
(12) 文化芸術

【あてはまるもの2つ選択可】

文化芸術活動について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」(57.1%)が最も高く、次いで、「地域文化の継承、文化財の保存活用」(29.31%)、「文化施設の充実(美術館、博物館など)」(29.27%)の順となっています。

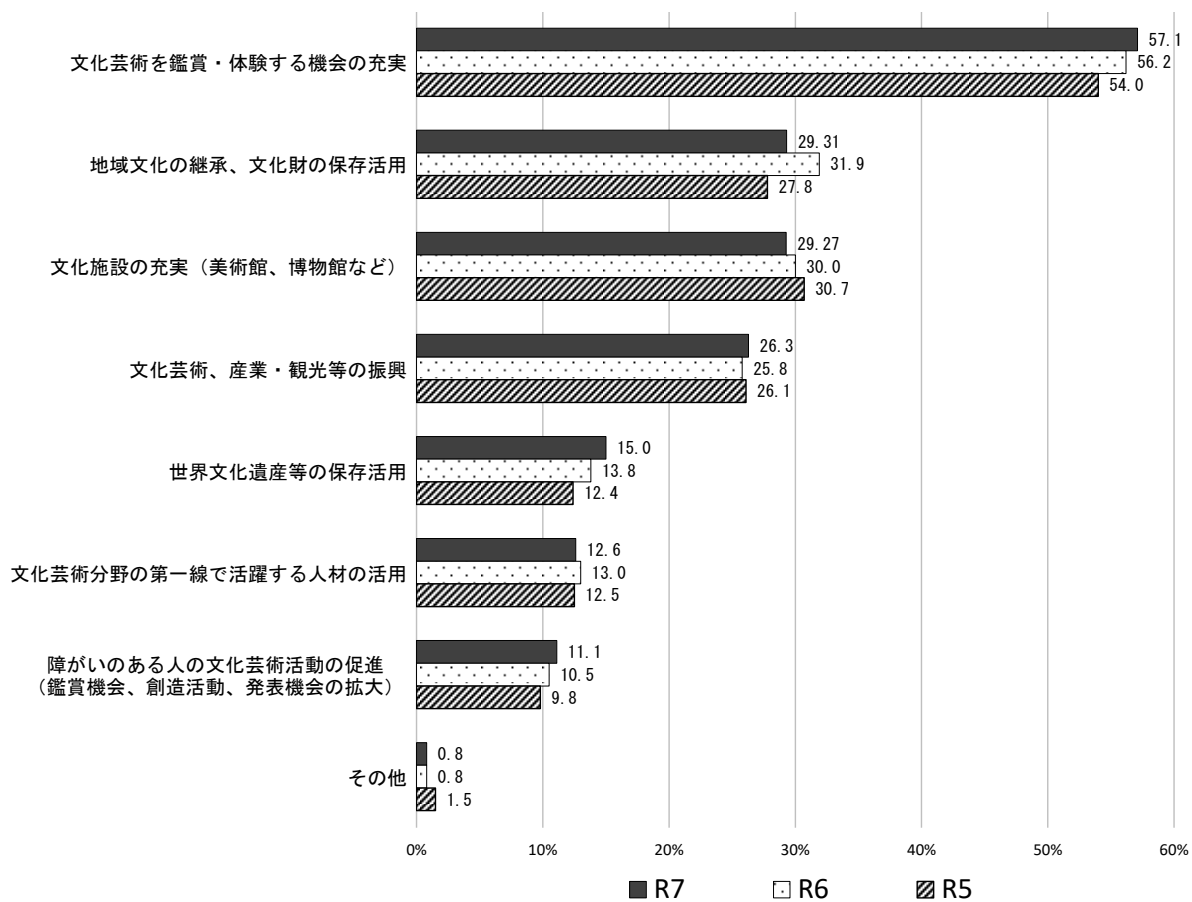
地域別にみると、どの地域でも「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が最も高く、福岡地域では「世界文化遺産等の保存活用」が他地域と比較して高くなっています。

文化芸術



■は4地域中で最も高い値の地域

文化芸術（経年変化）



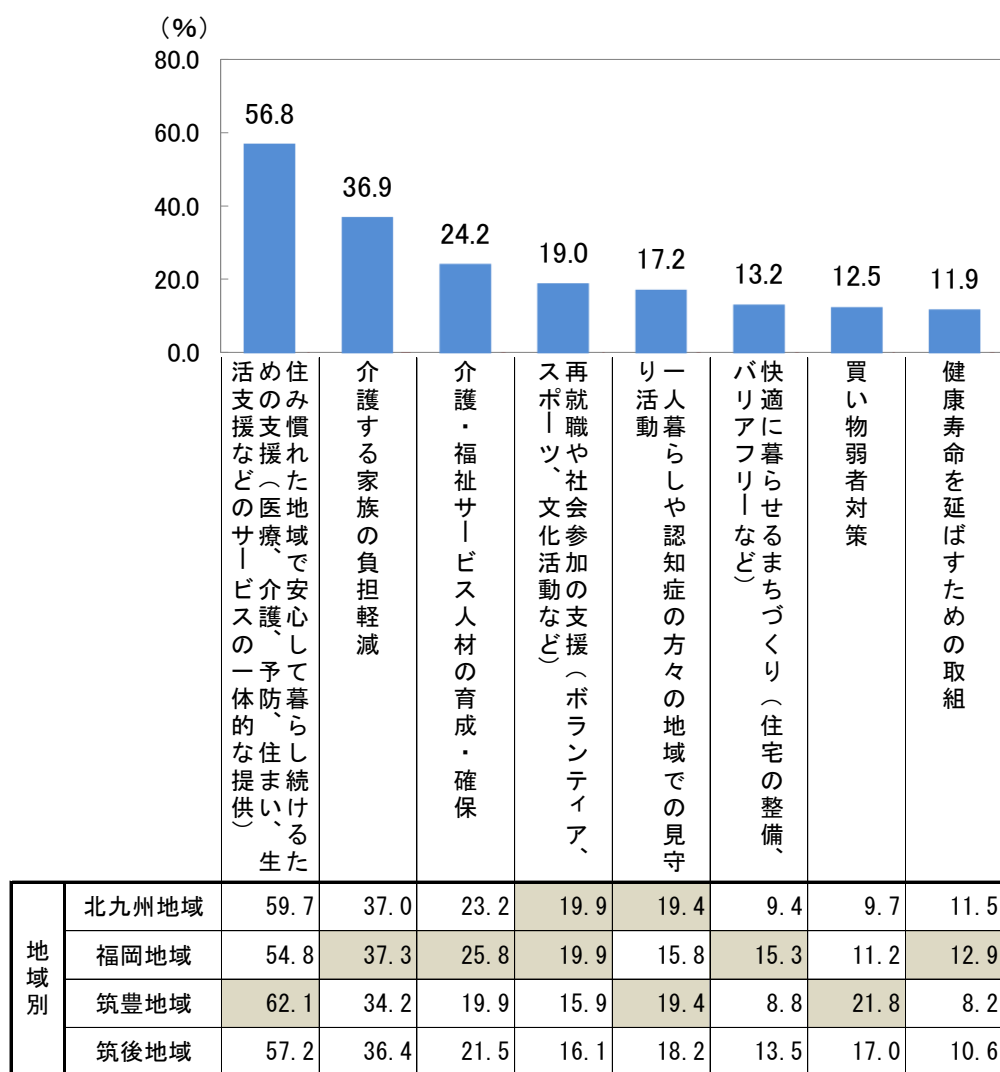
(13) 高齢者

【あてはまるもの 2 つ選択可】

高齢者が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」（56.8%）が最も高く、次いで、「介護する家族の負担軽減」（36.9%）、「介護・福祉サービス人材の育成・確保」（24.2%）の順となっています。

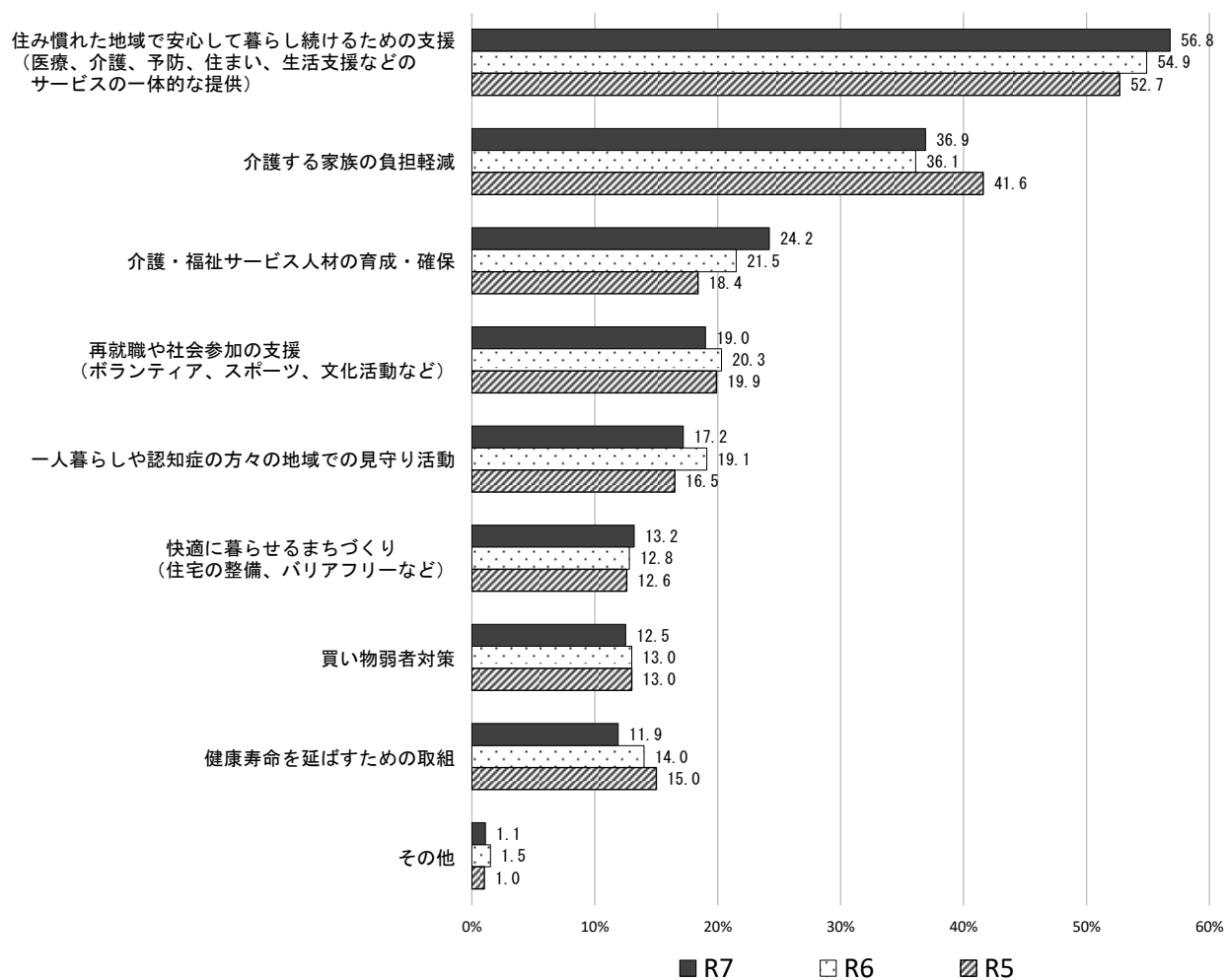
地域別にみると、どの地域でも「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」が最も高く、筑豊地域では「買い物弱者対策」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者



■は4地域中で最も高い値の地域

高齢者（経年変化）



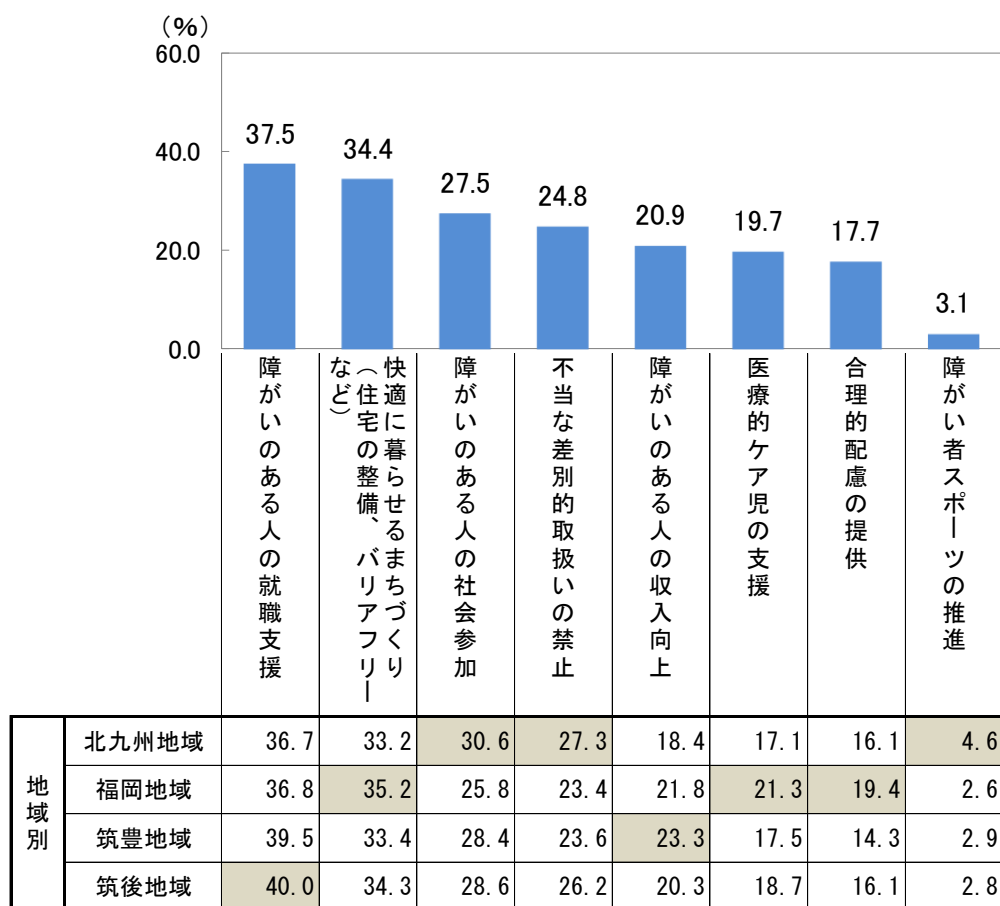
(14) 障がいのある人

【あてはまるもの 2 つ選択可】

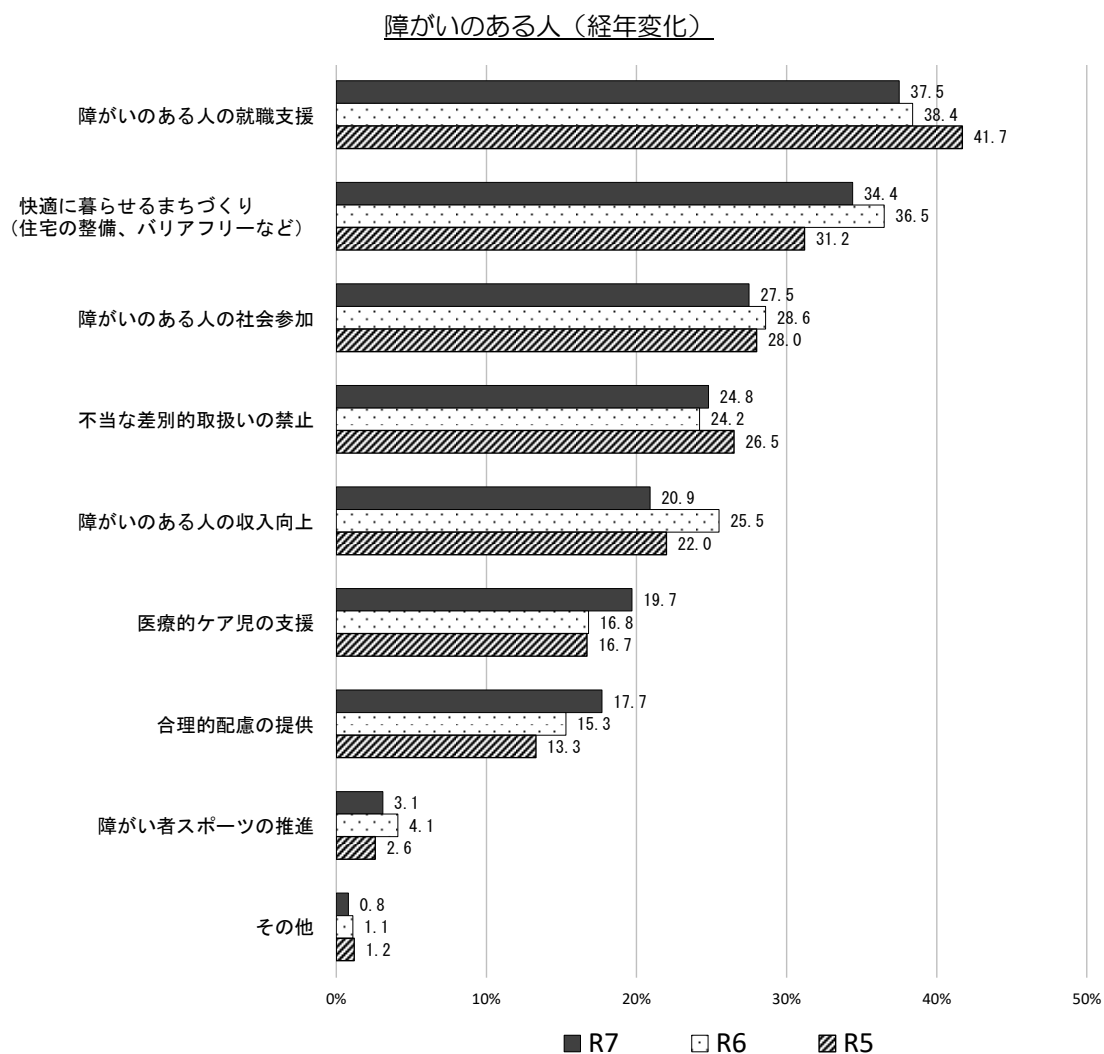
障がいのある人が安心して生活できる社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「障がいのある人の就職支援」(37.5%) が最も高く、次いで、「快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)」(34.4%)、「障がいのある人の社会参加」(27.5%)、「不当な差別的取扱いの禁止」(24.8%) の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「合理的配慮の提供」が他地域と比較して高くなっています。

障がいのある人



■は4地域中で最も高い値の地域



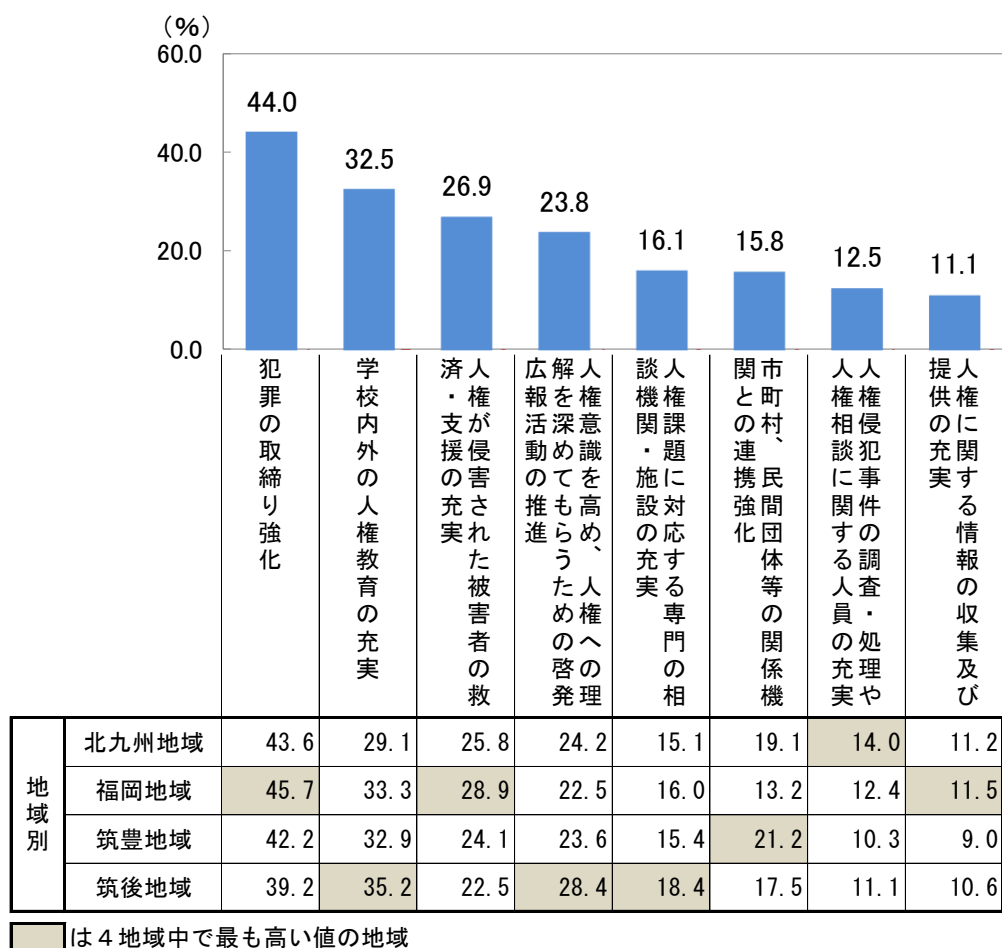
(15) 人権

【あてはまるもの2つ選択可】

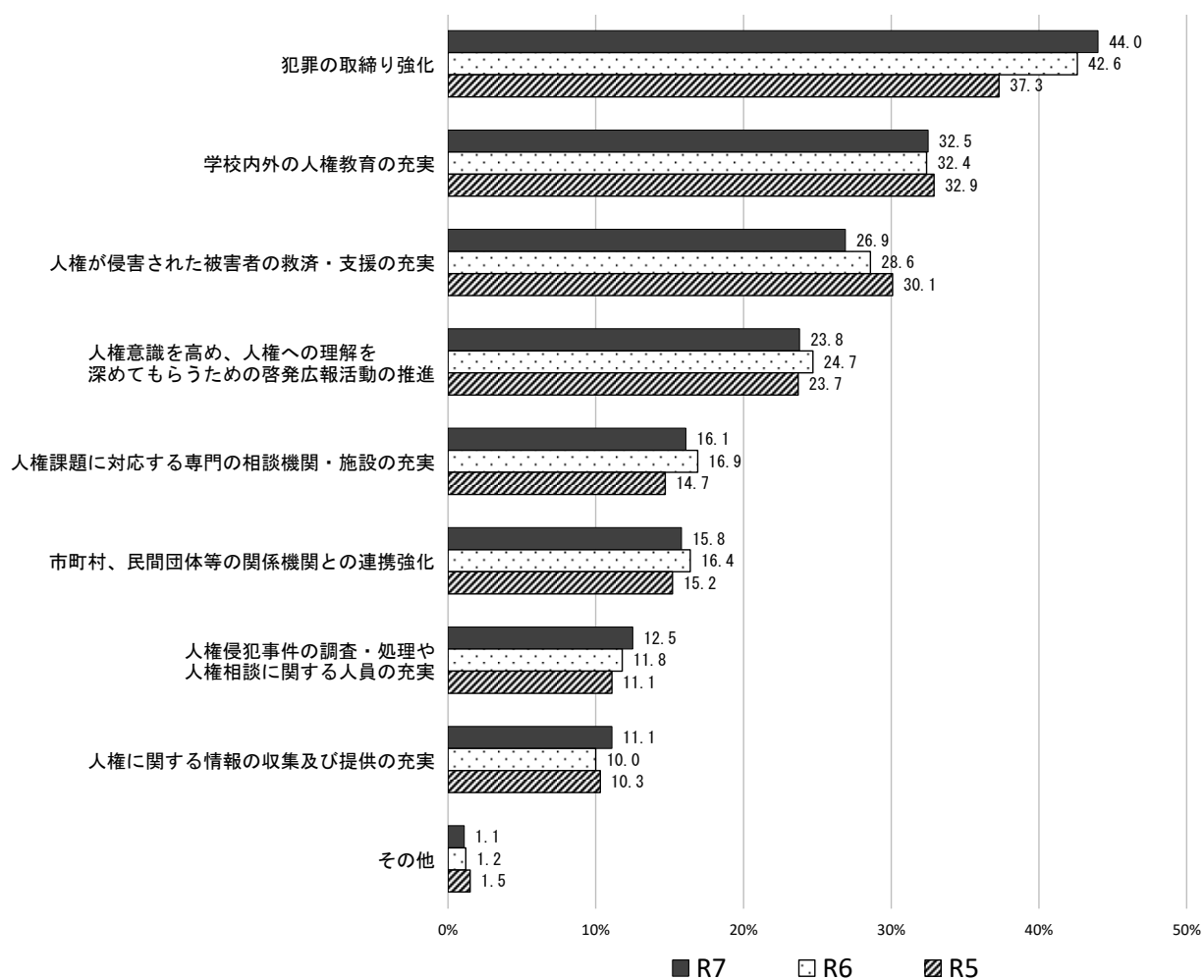
人権課題の解決について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「犯罪の取締り強化」(44.0%)が最も高く、次いで、「学校内外の人権教育の充実」(32.5%)、「人権が侵害された被害者の救済・支援の充実」(26.9%)、「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進」(23.8%)の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進」が他地域と比較して高くなっています。

人 権



人 権（経年変化）



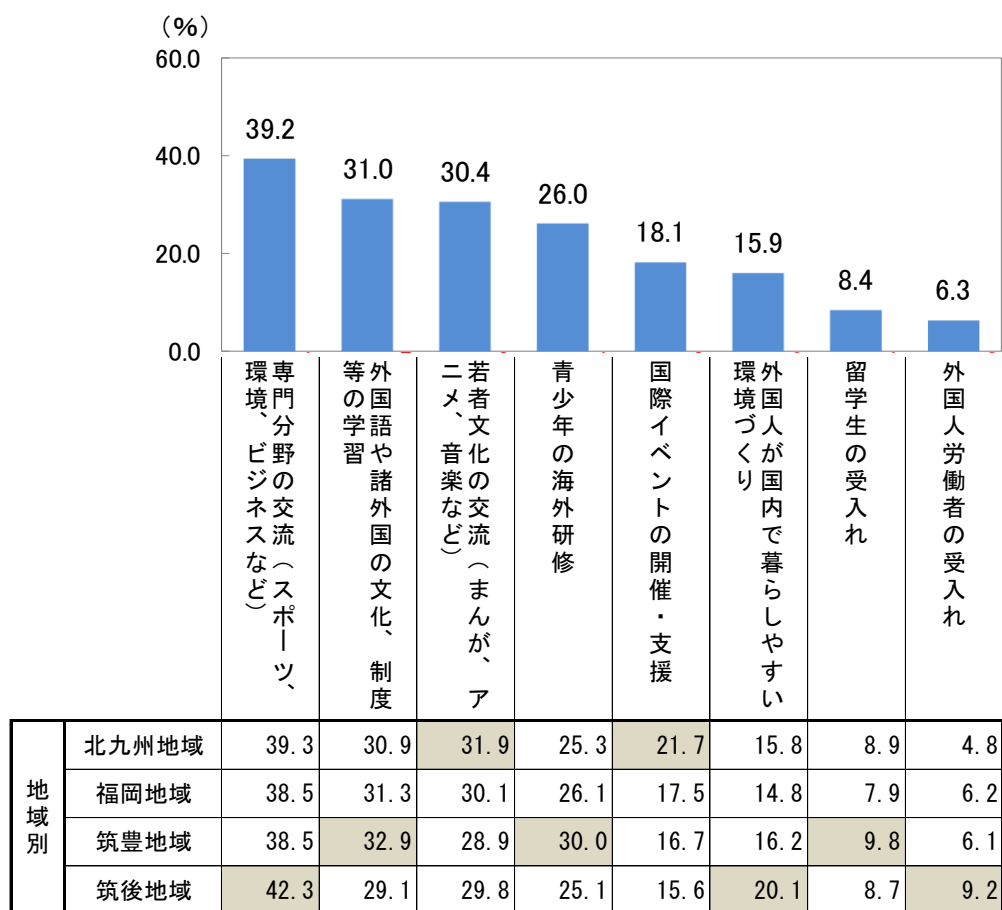
(16) 国際交流

【あてはまるもの 2 つ選択可】

国際交流の推進や外国人との相互理解の促進について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）」（39.2%）が最も高く、次いで、「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」（31.0%）、「若者文化の交流（まんが、アニメ、音楽など）」（30.4%）、「青少年の海外研修」（26.0%）の順となっています。

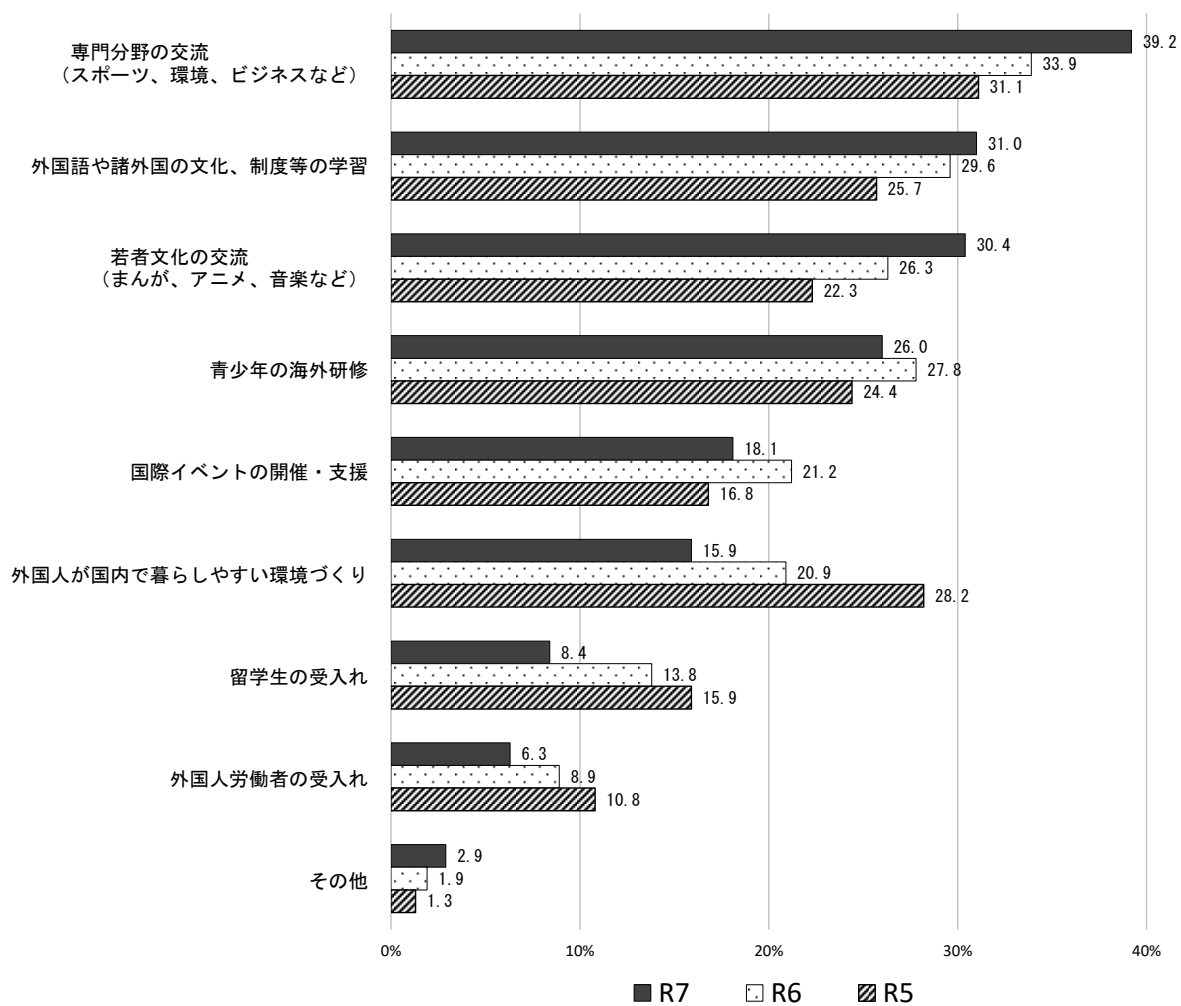
地域別にみると、北九州地域では「国際イベントの開催・支援」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流



は 4 地域中で最も高い値の地域

国際交流（経年変化）



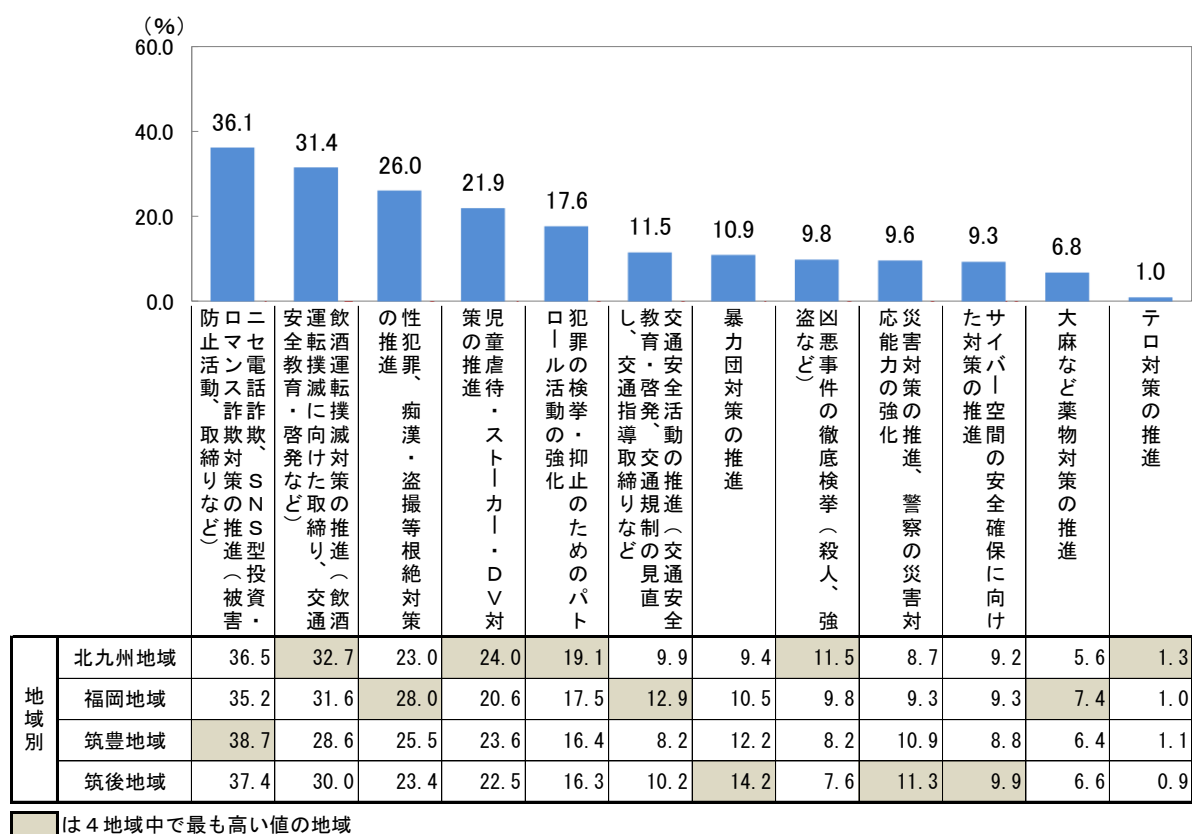
(17) 防犯・交通安全

【あてはまるもの2つ選択可】

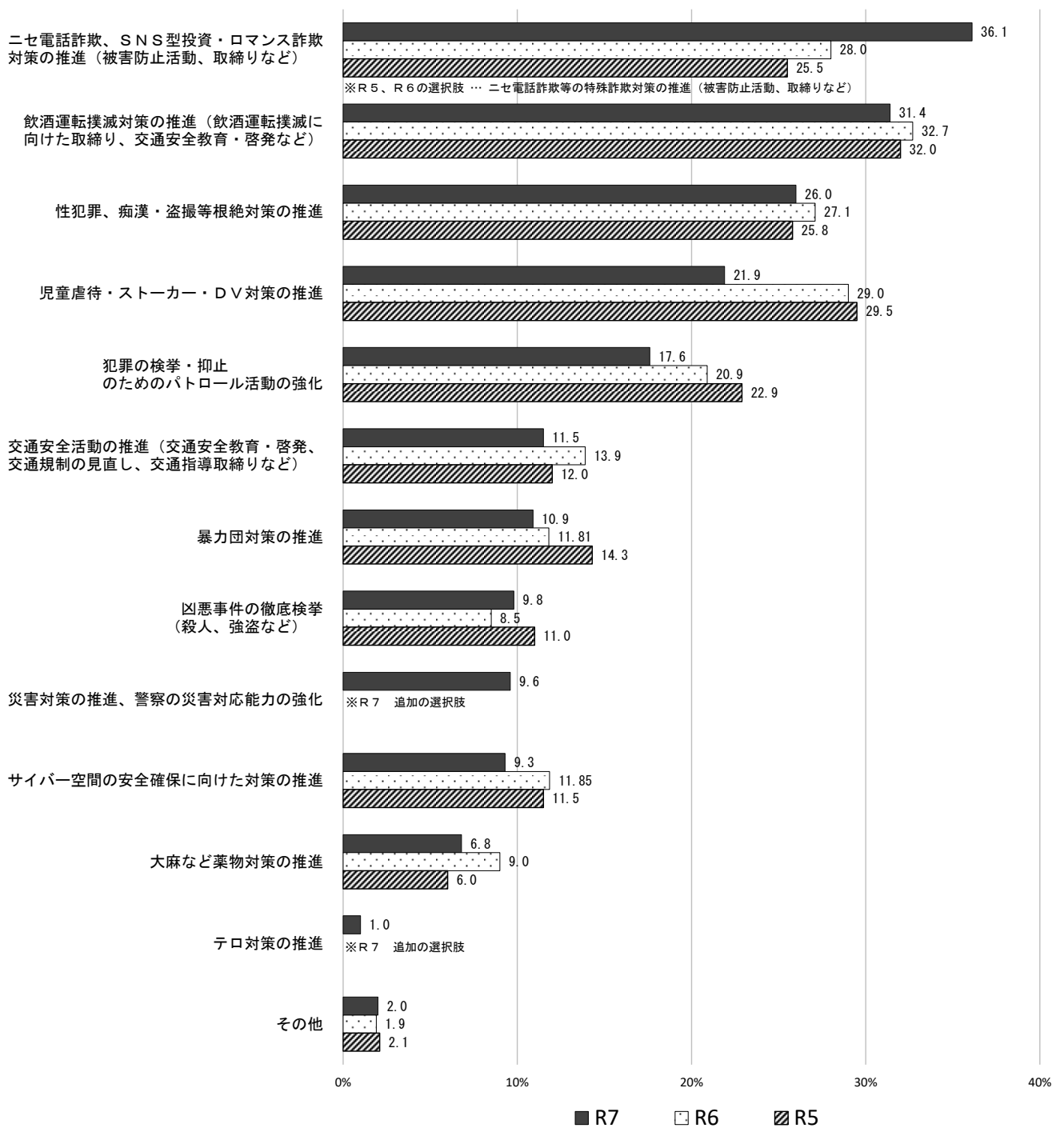
犯罪や事故のない社会づくりについて、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進（被害防止活動、取締りなど）」（36.1％）が最も高く、次いで、「飲酒運転撲滅対策の推進（飲酒運転撲滅に向けた取締り、交通安全教育・啓発など）」（31.4％）、「性犯罪、痴漢・盗撮等根絶対策の推進」（26.0％）、「児童虐待・ストーカー・DV対策の推進」（21.9％）の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「交通安全活動の推進（交通安全教育・啓発、交通規制の見直し、交通指導取締りなど）」が他地域と比較して高くなっています。

防犯・交通安全



防犯・交通安全（経年変化）

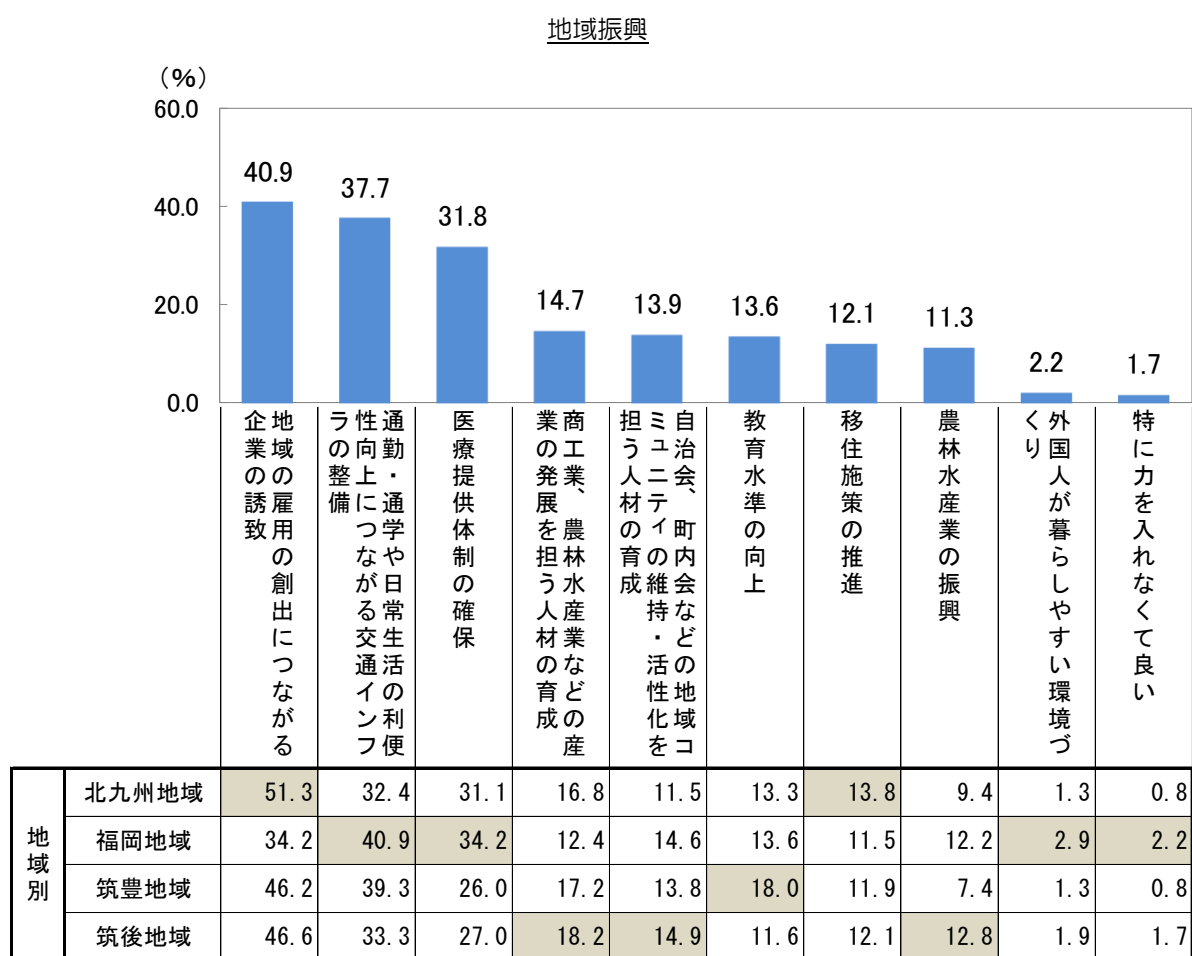


(18) 地域振興

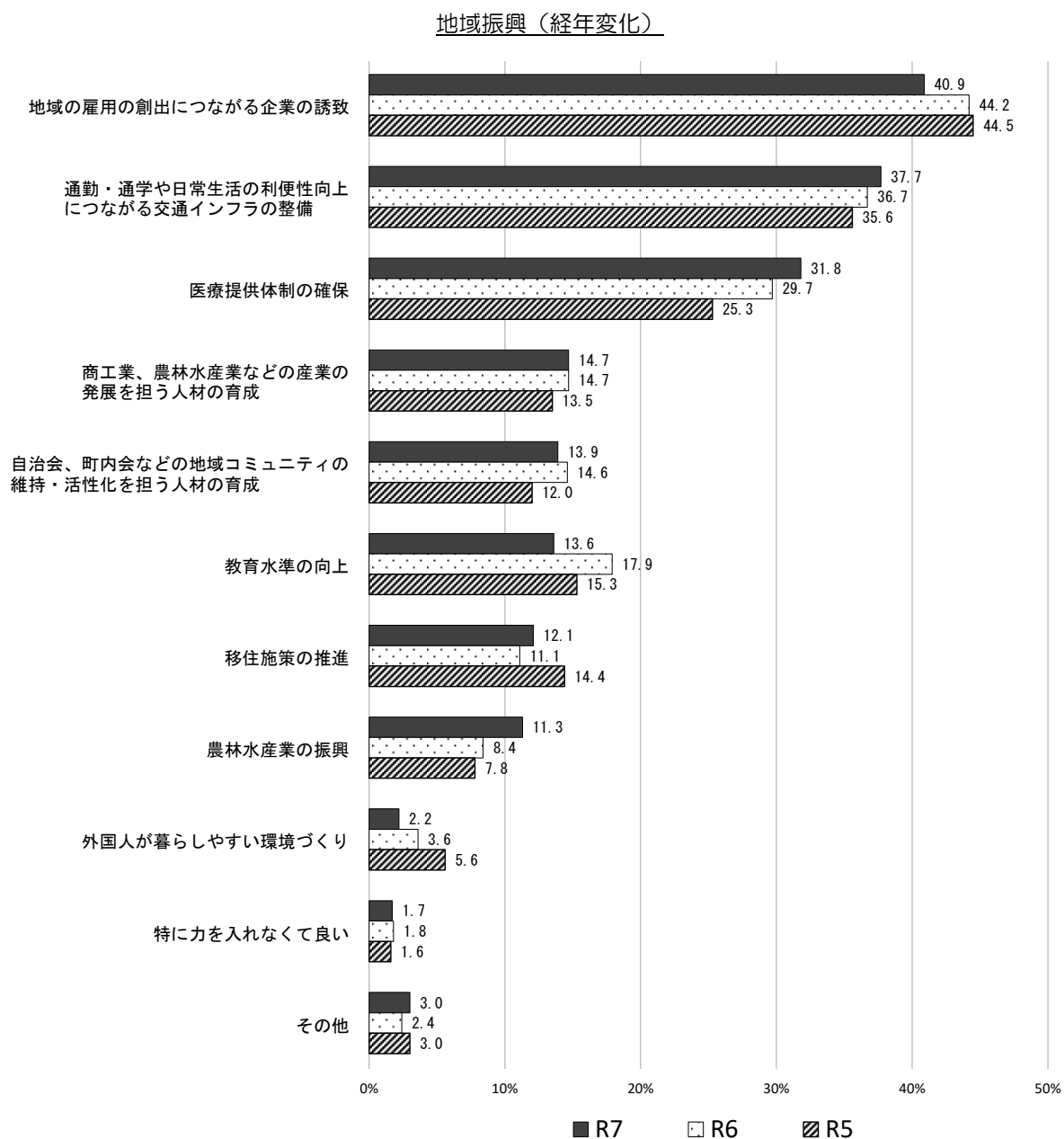
【あてはまるもの2つ選択可】

地域振興について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」(40.9%)が最も高く、次いで、「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」(37.7%)、「医療提供体制の確保」(31.8%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」が他地域と比較して高くなっています。



■は4地域中で最も高い値の地域



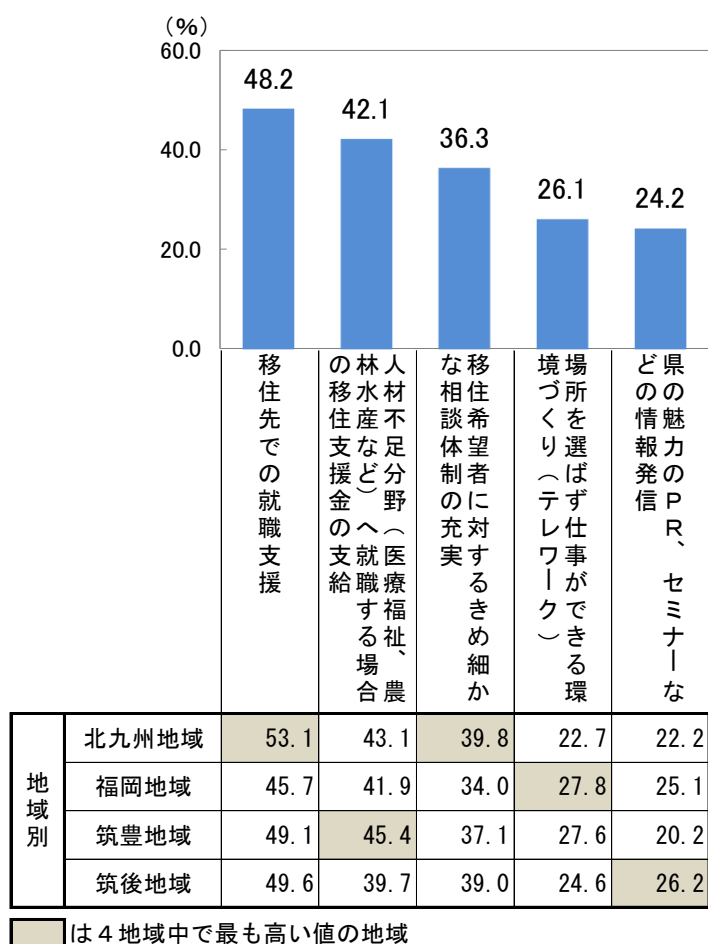
(19) 移住・定住

【あてはまるもの2つ選択可】

移住・定住について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移住先での就職支援」(48.2%)が最も高く、次いで、「人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給」(42.1%)、「移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実」(36.3%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「移住先での就職支援」が最も高く、特に北九州地域では他地域と比較して高くなっています。

移住・定住



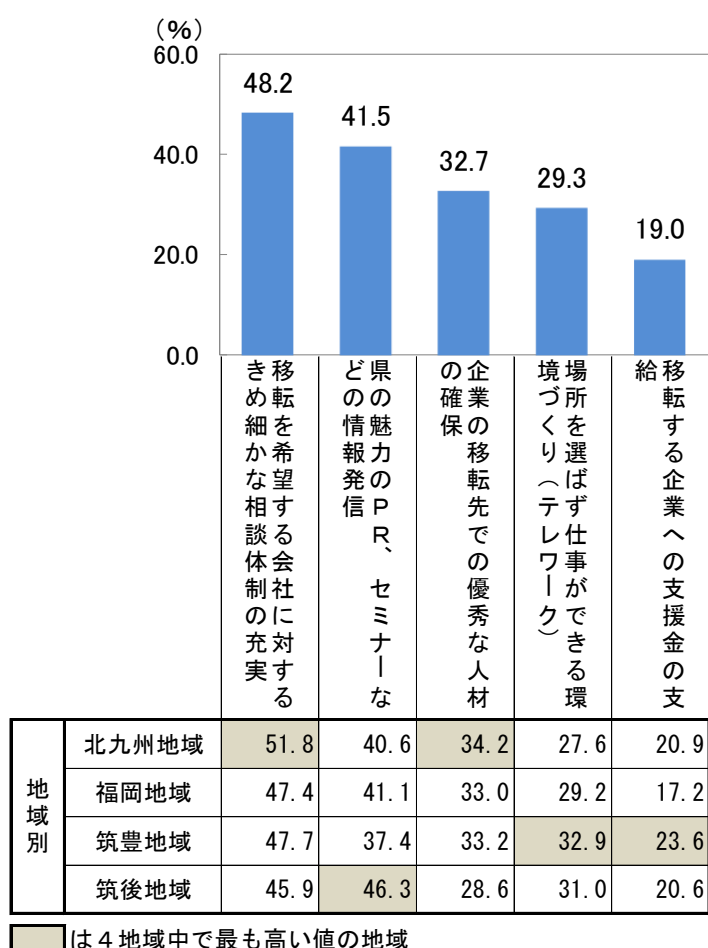
(20) 企業誘致

【あてはまるもの2つ選択可】

企業誘致について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」(48.2%)が最も高く、次いで、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(41.5%)、「企業の移転先での優秀な人材の確保」(32.7%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」が最も高く、筑後地域では「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」が他地域と比較して高くなっています。

企業誘致



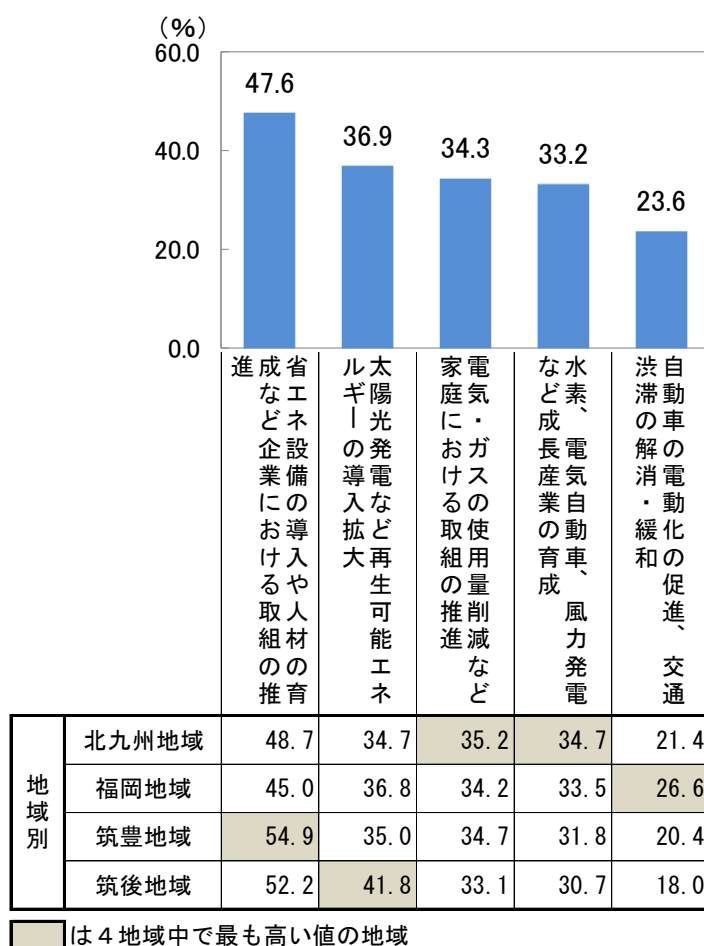
(21) グリーン社会

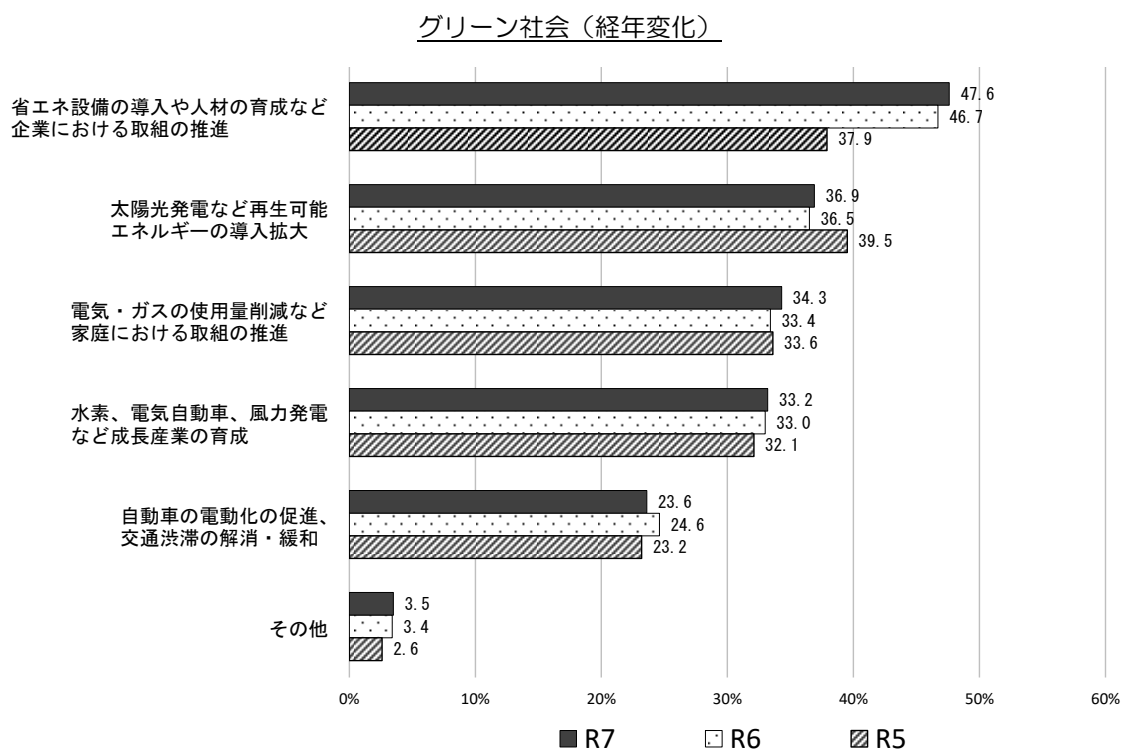
【あてはまるもの 2 つ選択可】

温室効果ガスの排出削減について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進」(47.6%) が最も高く、次いで、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」(36.9%)、「電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進」(34.3%) の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「自動車の電動化の促進、交通渋滞の解消・緩和」、筑後地域では「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大」が他地域と比較して高くなっています。

グリーン社会





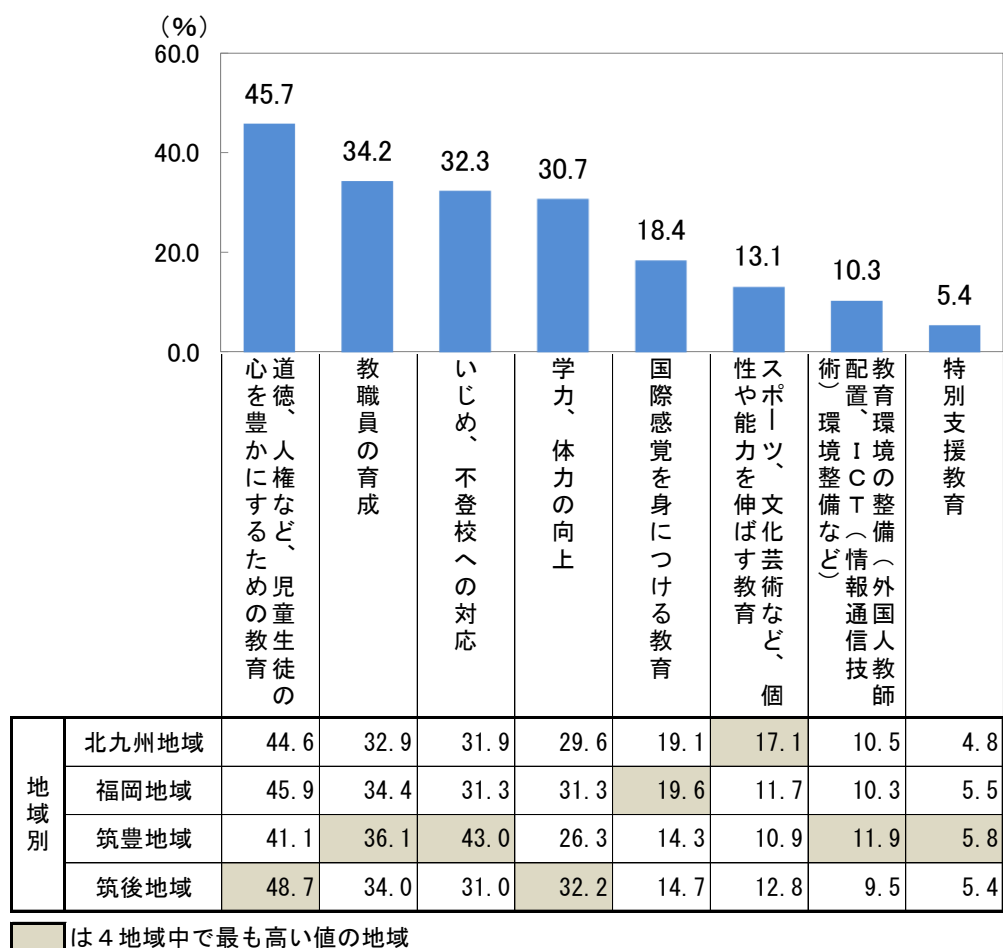
(22) 教育

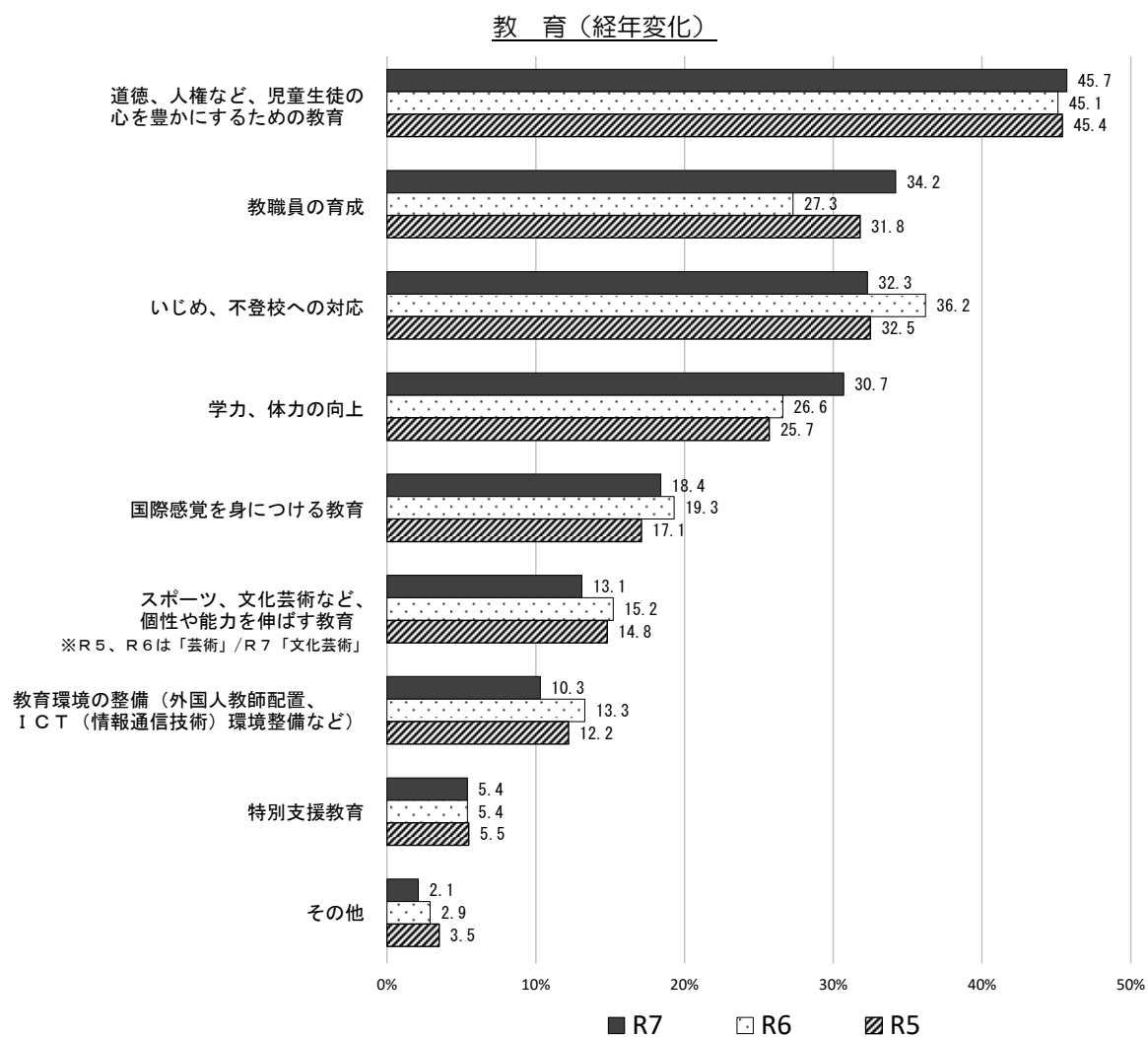
【あてはまるもの 2 つ選択可】

学校教育について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」(45.7%) が最も高く、次いで、「教職員の育成」(34.2%)、「いじめ、不登校への対応」(32.3%)、「学力、体力の向上」(30.7%) の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「いじめ、不登校への対応」が他地域と比較して高くなっています。

教 育





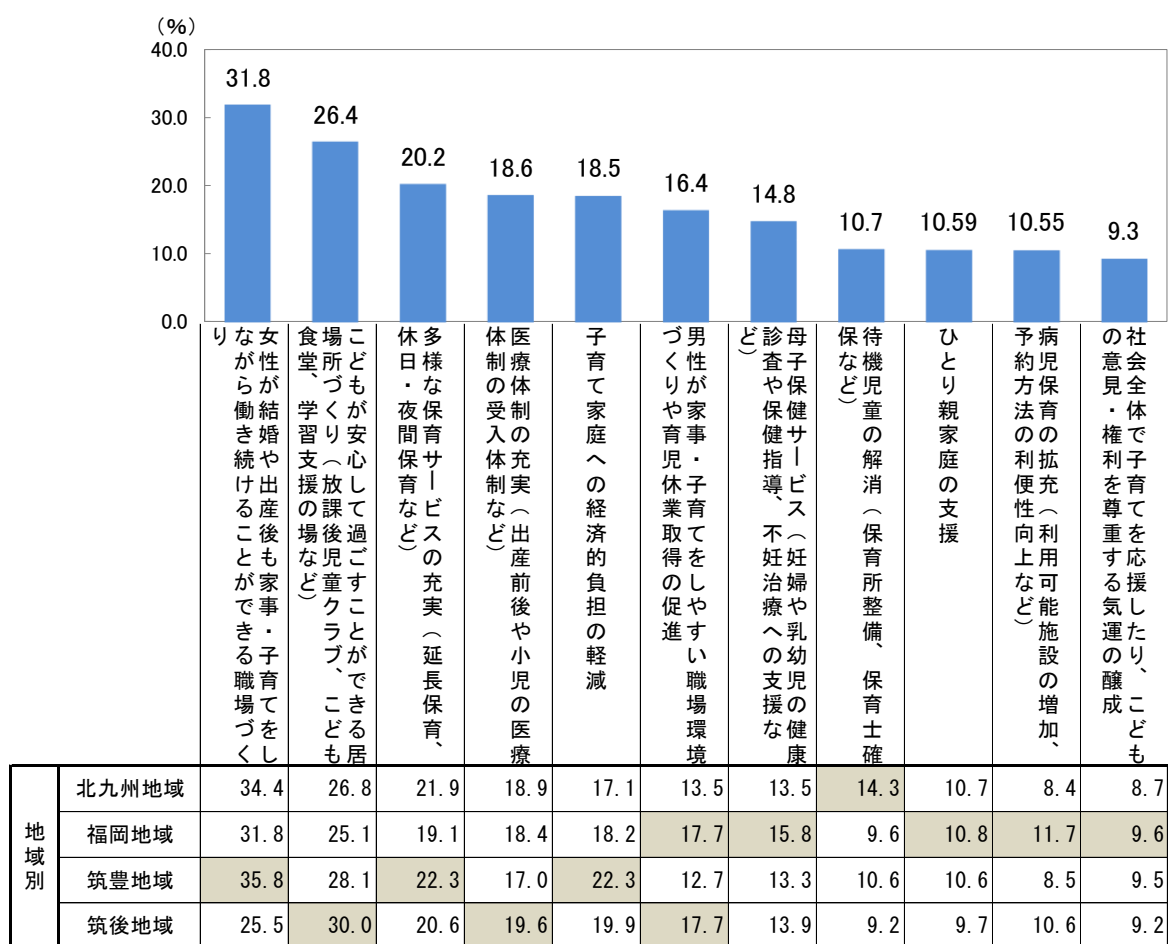
(23) こども・子育て支援

【あてはまるもの2つ選択可】

こども・子育て支援について、行政に力を入れてほしいことを尋ねたところ、県全体では「女性が結婚や出産後も家事・子育てをしながら働き続けることができる職場づくり」(31.8%)が最も高く、次いで、「こどもが安心して過ごすことができる居場所づくり(放課後児童クラブ、こども食堂、学習支援の場など)」(26.4%)、「多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育など)」(20.2%)、「医療体制の充実(出産前後や小児の医療体制の受入体制など)」(18.6%)の順となっています。

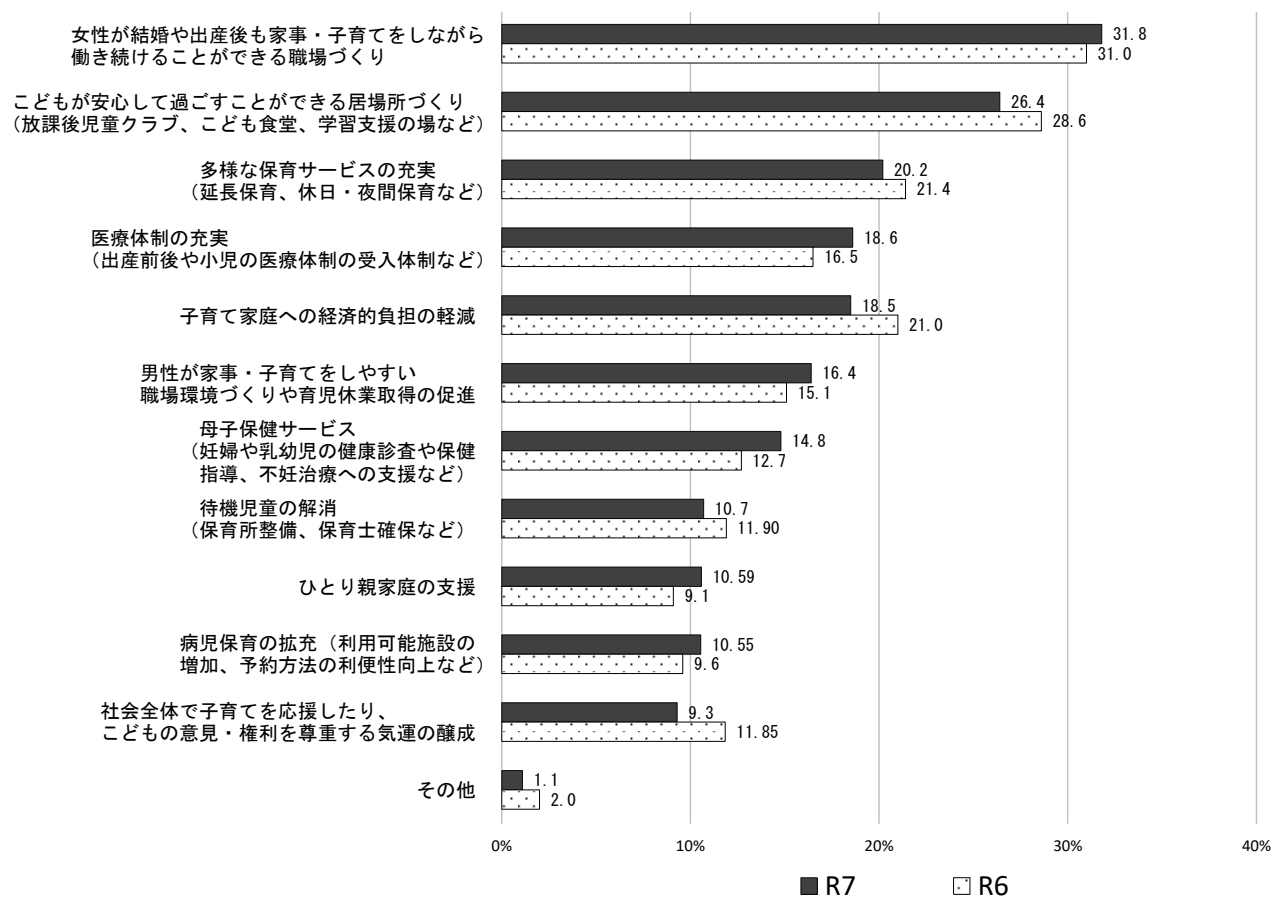
地域別にみると、北九州地域では「待機児童の解消(保育所整備、保育士確保など)」が他地域と比較して高くなっています。

こども・子育て支援



■は4地域中で最も高い値の地域

こども・子育て支援（経年変化）



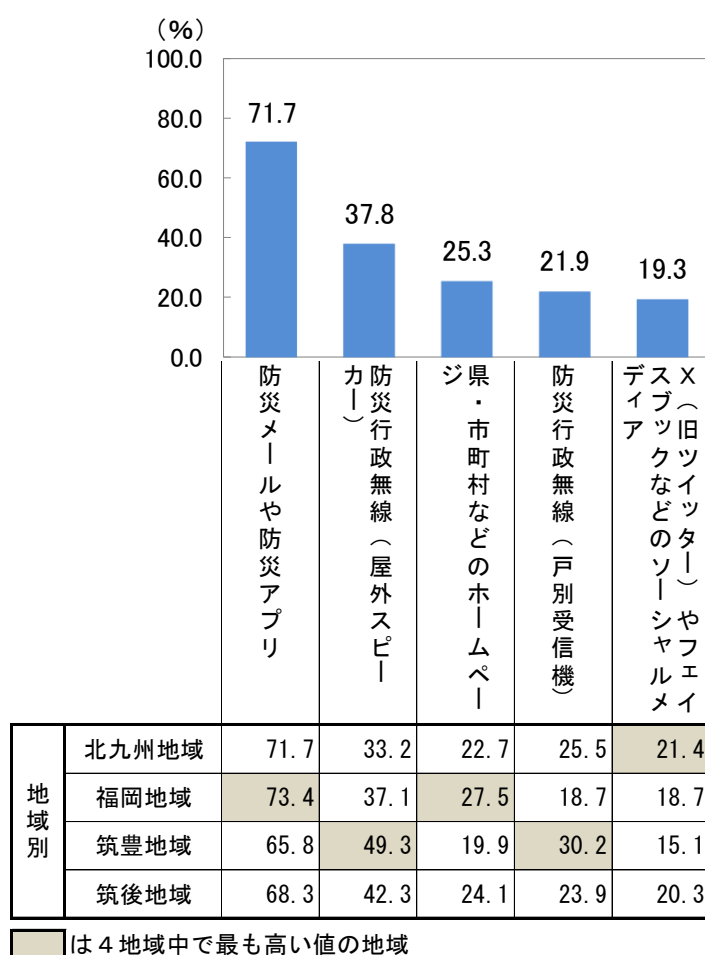
(24) 防災

【あてはまるもの 2 つ選択可】

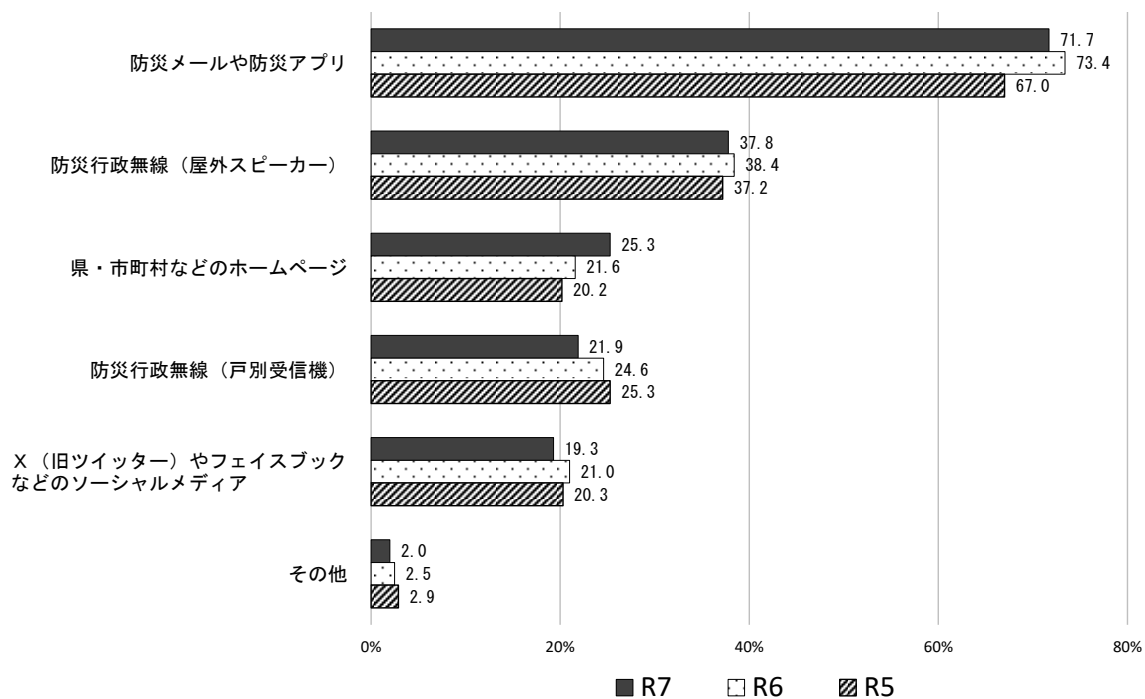
災害時における避難指示や避難所開設状況などの情報について、有効だと思う手段を尋ねたところ、県全体では「防災メールや防災アプリ」(71.7%) が最も高く、次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(37.8%)、「県・市町村などのホームページ」(25.3%) の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「防災メールや防災アプリ」が最も高く、筑豊地域では「防災行政無線(屋外スピーカー)」が他地域と比較して高くなっています。

防 災



防 災（経年変化）



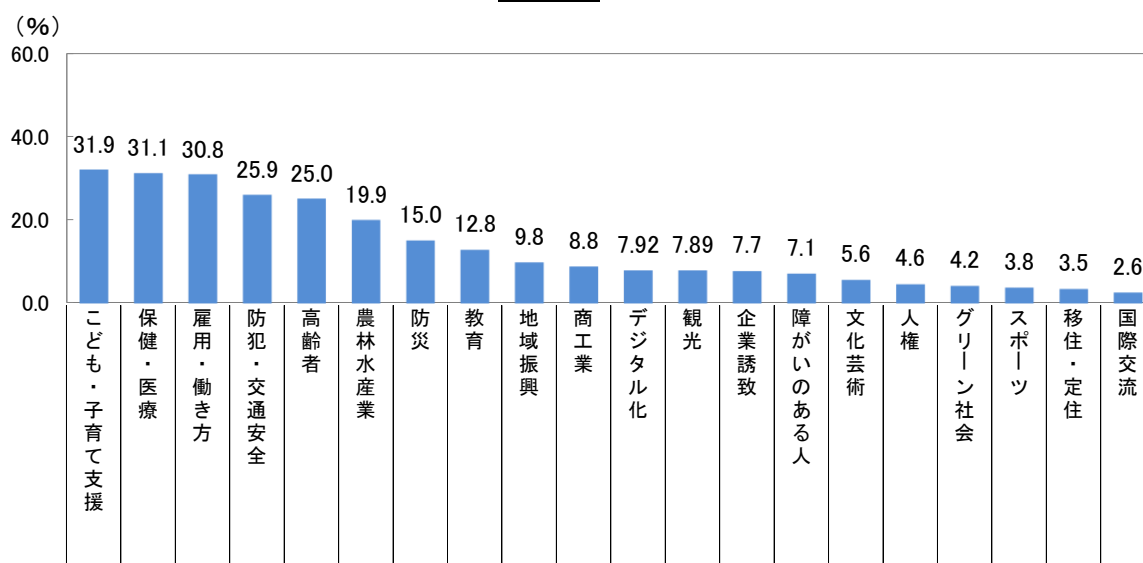
(25) 重点分野

【あてはまるもの 3 つ選択可】

行政に力を入れてほしい分野を尋ねたところ、県全体では「こども・子育て支援」(31.9%)が最も高く、次いで、「保健・医療」(31.1%)、「雇用・働き方」(30.8%)、「防犯・交通安全」(25.9%)、「高齢者」(25.0%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「防犯・交通安全」が他地域と比較して高くなっています。

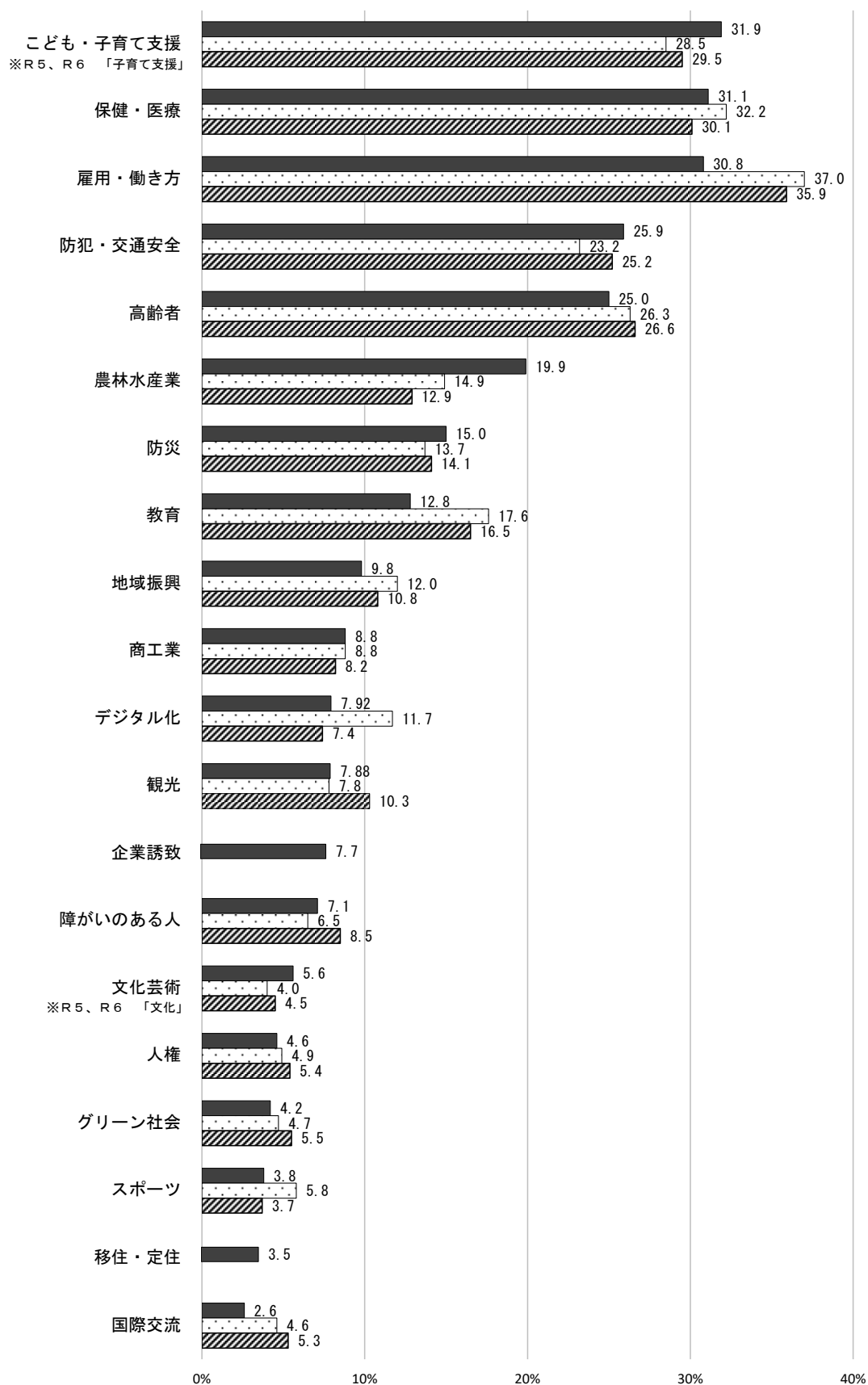
重点分野



地域別	北九州地域	29.1	32.9	34.2	22.7	28.1	19.9	10.7	11.7	9.7	10.5	6.9	8.9	11.2	7.1	6.4	6.9	3.6	4.3	3.1	2.3
	福岡地域	33.3	31.1	28.5	28.9	23.0	19.9	17.2	12.2	8.1	8.1	8.6	7.9	5.5	7.2	6.2	3.6	5.0	3.6	3.3	2.9
	筑豊地域	31.8	30.5	32.1	22.5	30.0	17.5	10.3	14.9	16.7	8.2	7.7	7.4	8.8	6.9	2.7	5.0	2.7	3.7	4.5	2.1
	筑後地域	31.7	28.6	33.3	21.5	25.1	21.3	15.6	15.4	13.0	9.0	7.1	6.4	9.9	6.6	3.5	4.5	2.6	4.0	4.5	2.4

■ は 4 地域中で最も高い値の地域

重点分野（経年変化）



※R6までは移住・定住/企業誘致はひとつの選択肢

■ R7 □ R6 ▨ R5

2. 自由意見

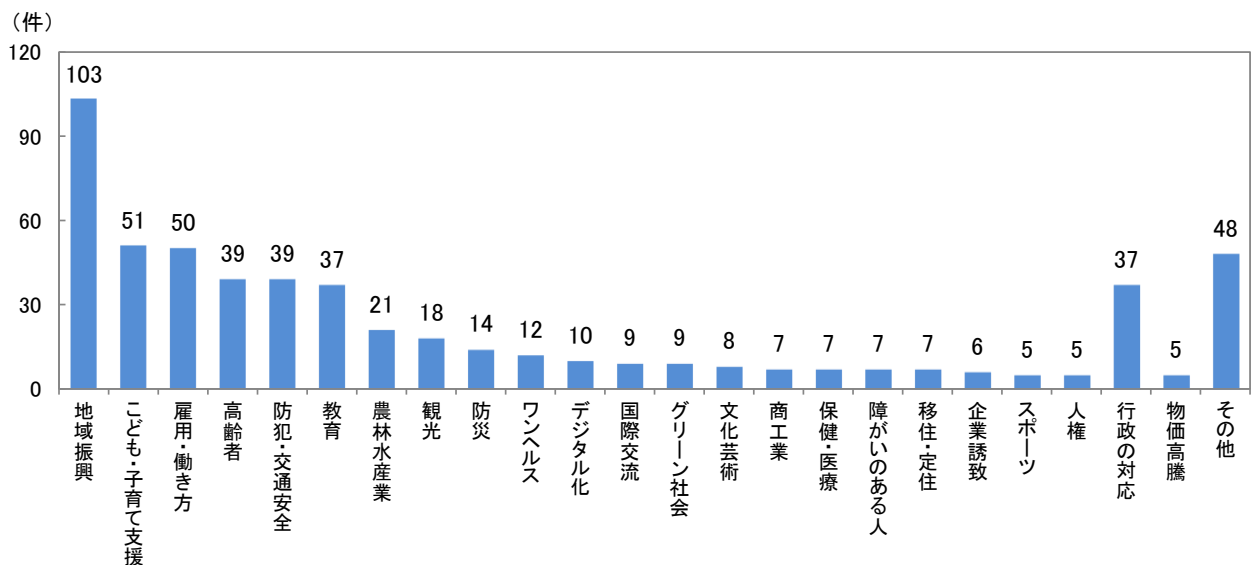
福岡県に期待することや思い描く将来の福岡県の姿について自由に回答してもらったところ、454 人の方から、554 件のご意見が寄せられました。

その内容を分野ごとに分類すると、「地域振興」「こども・子育て支援」「雇用・働き方」などに関する意見が多く、それ以外にも多岐にわたって幅広く意見をいただきました。

また、どの分野にも該当しない「その他」では、「物価高騰」「行政の対応」といった内容について、多くの意見が寄せられました。

以下に、分類した意見の数と、主な内容の一部をご紹介します。

自由意見（福岡県に期待すること、思い描く将来の福岡県の姿）



○地域振興

- ・都市部はより便利で、地方は自然が保たれ農業、漁業が盛んでどこに住んでも交通の便が良く居を構えるのに選択肢が多い地域であってほしい。
- ・自分の生まれ育った地域を好きになる、大人になってももどってきたいと思えるような福岡県にしてほしいです。そのためには、やはり人と人とのつながりだと思っています。
- ・市町村の規模にかかわらず、協力、活躍しあい県自体が盛り上がってほしい。
- ・福岡は、九州他県からは魅力的に見えて流入も多いが、当の福岡県民は関東関西へと流出している。福岡県民が魅力を感じる福岡県であってほしい。
- ・現在の関東一極集中ではなく、地元に残りながらも質の高い教育と、県内で就職、子育てが出来る環境整備を行ってほしい。
- ・各地域の特色や誇れる点を積極的に PR することで、地域間の交流や観光を促進し県全体が盛り上がるのが理想だと思います。外国人が増えることは予想されますが、積極的なイベント運営等を通じて相互理解を促進し共存できるまちになると嬉しいです。子育て世帯、高齢者世帯が交流できる機会を増やし地域全体でコミュニティ形成ができることが理想。
- ・福岡県は福岡市だけ発展しているイメージなので、地方も発展して欲しい。

- ・福岡市のみではなく、他の市町村も地域の特色に応じた産業の発展や、それらをつなぐインフラの整備など県全体が豊かになるような県政につとめてほしい。
- ・都市部と過疎地域の格差がある。教育や受けられるサービス、交通の便等年々不便になっている。
- ・過疎地での生活で、不便なことがあります。交通のデルタル化が〇（ゼロ）と感じます。
- ・地域の伝統を守る風習が有る福岡県であること。
- ・インフラの見直しをしてほしいです。老朽化などが心配です。
- ・バス、乗り合いバス、タクシーなどの充実。高齢者、車のない人などの移動弱者のための整備。

○こども・子育て支援

- ・20代30代の若者が家庭を持ち住みやすい県政を実施してほしい。こどもの教育支援と充実、住居の提供や支援を民間と共同で実施、こどもへの医療の補助や充実、学生の国際交流など他県にない若い子育て世代の支援を充実してほしい。
- ・子育て支援に特に力を入れてもらいたい。私も今子育て中ですが、やはり物価高等経済的な問題もあり厳しい場面が色々あります。周りにも経済的問題でこれ以上はこどもは作らないと決めている家族もいます。
- ・今、子育て中ですが、福岡市や北九州市など大きな市では色々なサービスや無償化がニュースになっても、他の市町村はならないことばかりで、魅力がありません。観光や産業などは地域の特徴を活かしたものが大切だと思うので、地域差があって当然かと思いますが、医療、子育て、福祉は市町村単位ではなく、どこにいても同じサービスや、利用ができるように取り組んで欲しい。
- ・こどもを産みやすい経済的支援を充実し、人口減少にストップをかけてもらいたい。
- ・不妊治療無料など、こどもを産む前も産んでも、金銭面に心配や大変にならないように支援拡大や無料を県でしていくことで、出産する人を増やして、日本の人口増加を促していく。将来の人口減少の歯止めはまずはこどもたちを県や国全体が育てることが大事。
- ・子育て中の立場から、気軽にこどもを遊ばせられる「近所の公園」が減ったと感じる。あっても、遊具も何もないただの広場。または、複合遊具がたくさんあるような大きい公園。遊具は事故があったりして安全の観点から難しい面もあると思うが、身近な公園がたくさん増えると嬉しい。市町村と連携して増やしてほしい。
- ・母親だけでなく、父親が子育てに参加しやすい環境づくりがもっと必要と感じています。子育ては手伝いではなく当事者であるという意識・認識づくりをする教育は、小中学校からあった方が将来的に少子化を食い止めることになるかもしれません。
- ・人口減少することで働き手も少なくなり、社会全体が回らなくなることが心配です。こどもを産んでも働き続けることは、労働力確保のためにまず必要だと思います。しかし、環境が整わず、全てにおいて母親の負担が多すぎると感じます。その結果、たくさんの母親が、仕事を辞めざるを得ない悔しい状況にあるはずです。こどもを選ぶか仕事を選ぶかと選択をする人が、1人でも減ってほしいです。家事も育児もしつつ、フルタイムで働く困難さは、実際に子育てをスタートしないとわかりません。想像できないので、構えようがないのです。子育て中は、みんなそうだったからと、現状のままの負担を背負い、こどもをもった自分の責任だと、諦めて頑張るしかないと感じているパパやママを減らしてほしいです。もちろん母親だけでなく、共に育てる父親の環境も、育児しやすい社会制度をもっと推進していく必要があると思います。

○雇用・働き方

- ・各企業の人手不足解消に力を入れて欲しい。
- ・若者や一度仕事を失業または休職した人への支援をもう少し充実させてほしい。今後、人それぞれにあった働き方ができるといいなと思います。
- ・高齢者の増加により、地域の活力の低下のないような県の発展を担う若い人が働ける環境を作ってほしい。
- ・退職者、年寄りが軽作業で働ける場所の確保をして欲しい。垣根の剪定、街頭の清掃など。
- ・企業誘致をもっと増やして、福岡県の最低賃金を 1,000 円台にいくこと。
- ・非正規雇用の待遇改善。
- ・教職員の労働環境の改善。

○高齢者

- ・高齢者は年金、医療費援助も減っているので毎日不安です。仕事も定年退職の年齢を 80 歳まで、せめて 75 歳まで上げてもらいたい。こどもに対する制度は良くなっているが、高齢者も安心して生活できる制度を作ってほしいです。
- ・経済的な面や医療など高齢者が安心して生活できる環境づくりに期待します。
- ・これから少子化で若者を取り込むのではなく、高齢者が増えるのだから、逆転の発想で、年とってから、住みやすい街作りを目指して欲しい。
- ・高齢者の就職支援。
- ・90 歳を超えた両親を自宅で介護していますが、今後家族への負担がかなり掛かるものと考えています。高齢者対策、老老介護対策など目に見える形での支援の強化をお願いいたします。
- ・介護施設だけに頼らず家族でもできることをしたいので、介護のことや認知症についての基本情報を各家族が知っているようになっていくことに期待したいです。
- ・とにかく人に優しく、安心して平穏な生活ができれば良い。特に高齢者には、町内でのスポーツなど老人が集まって楽しく過ごせる場所を増やして行ってほしいです。

○防犯・交通安全

- ・こどもから老人まで安心して生活できる環境の整備と犯罪に対する未然防止活動に力を入れてほしい。犯罪が起きてからでは遅い。
- ・安全と安心できる毎日がいつまでも続いてほしいことです。
- ・県全体的な街の見回り・パトロール強化に特に力を入れて頂ければと思っています。
- ・人にも物にも優しい県民性を育くみ治安の良い豊かな県に育って欲しいです。その為には、小さな行政の単独での取り組みが大切だと思っています。
- ・日常生活において、気になること、目にするのは、交通マナーの悪さです。自動車に限らず、自転車、バイク、歩行者もです。自動車では、交差点での信号の認識のないドライバーもいます。交通ルールを守り、違反・事故ゼロの県になることを願います。
- ・飲酒運転撲滅のために今以上に力をいれてもらいたい。飲酒運転ゼロの県になる。

○教育

- こどもが安心して、学べる環境作り。
- こどもの教育に力を入れてほしい。好奇心を高めて、未来を楽しみにしているこどもが増えると福岡県の魅力も更に高まるのではないかと思います。
- 将来を担うこどもの教育に力を入れてほしい。地域格差が大きいですが、人口が少なく複式学級になっている学校は、手厚い指導が受けられ、学力は高い場合もある。最近の傾向として、少人数できめ細やかな支援が必要なこどもが多いと感じるので、教員の数を増やし、教員免許にこだわらず、ICT 専門教員など様々な分野の専門家がこどもたちの指導をするなどの推進に力を入れてほしい。
- 小中高の施設の設備(エアコンや建物の強度など)を整えて欲しい。
- 中学校、高等学校の部活動の地域移行の実施。
- 若い世代を増やすため大学の誘致を。

○農林水産業

- 農業に力を入れてほしい。若い人が農業をやっていけるよう考えてほしい。
- 農業分野には注力してほしい。生産者支援、後継者支援、開発支援。食料がないと生きていけないし、生産能力や基盤は整っていると感じる。既存と新規の生産者支援を充実させて県内の食料自給率の 80%を目指してほしい。産学官連携で新品種や新たなインフラ整備にも力を入れて生産から消費までの一環支援を行ってほしい。
- 米作りを大切にしてほしい。農業支援を望む。
- これからは人口も少なくなり、商工業、農林水産業に力を入れ輸入などしなくて米など自国でまかなえる国にしてほしいです。
- 一次産業の拡充。気候変動や隣国の有事など、今後の不安材料に対して、一次産業を活性化させることはとても重要だと思います。
- 休耕農地や離農地などの整備をし、公に農業対策をし、自給率をアップするようにしてほしい。

○観光

- 各市町村で魅力的な情報を発信して観光客が分散して福岡県全体を盛り上げてほしい。福岡市など都心部ばかり魅力が偏らないようにしてほしい。
- 福岡は豊かな自然が残り農産物も美味しく、海もあるので海産物も美味しく、博多や天神など、街の華やかさもある。人も優しく暮らしやすいです。そんな良さを海外の人たちにも知って欲しいです。福岡ならではの体験型観光がもっとあればインバウンドに弾みがつくのではと思います。
- 観光地を増やす（こどもたちへの娯楽施設、テーマパーク等）。
- 福岡県の魅力を日本国内や海外にアピールしてもらいたいと思います。日本や海外から多くの観光客にお越し頂いて観光収入がアップするような取り組みを期待します。
- オーバーツーリズムにより、県民が交通機関に不自由を感じる事が問題だと思うので、誘致するだけでなくその先のことまで考えてほしい。

○防災

- ・災害に強い地域づくり。（気候危機への対応を含む）
- ・災害に対する備えを充実させて欲しいと思います。筑後川などの河川の水害対策など。
- ・南海トラフなど東京などの都会が大災害にあったときもし福岡県が災害が少なかったら、リーダー県として災害エリアをサポートできる福岡県であってほしい。
- ・災害時のペットとの避難所を増設してほしい。

○ワンヘルス

- ・ワンヘルスの人と動物の健康と環境の健全性は一つという考え方にぜひ植物も含めて取り組んで欲しい。市役所の本庁舎や地下鉄駅緑化は人々の意識を高めるにはいい取り組みだと思う。同時に動物が生息地の自然の中で生きていけるようなバランスも大事だと思う。
- ・人も動物も生活できるやさしい福岡県であってほしいです。
- ・福岡の将来は、自然と先進の融合した都市にして欲しい。

○デジタル化

- ・デジタル化の推進とサイバー対策。
- ・デジタル化することも良いが、デジタル弱者もいる事も考えて。

○国際交流

- ・外国との積極的な交流を望む（若い人達）。
- ・本当の意味での国際都市を実現するために、県民向け、外国人向けの教育・啓発活動を行ってほしい。外国人も含めた県外から来られる方々に、日本や福岡に同化してもらうのではなく、お互い異なるままで尊重し合い、調和できる政策を実現してほしい。
- ・外国人が増え過ぎてゴミのマナーなどが守られずとても困っています。受け入れたところが責任を持って指導するよう県も行動してほしいです。綺麗事だけで共生と言わず現実的に対応してほしいです。

○グリーン社会

- ・ゴミが落ちていない街づくり。地球温暖化につながるので県民全員の意識、行動が大事だと思うので呼びかけて欲しい。（地球温暖化防止対策の為にも）
- ・地産地消、太陽光発電は日本製プロブスカイト等を最優先にして頂きたい。

○文化芸術

- ・自分は大学進学で福岡へ来た新参者ですが、福岡が大好きになっています。特に文化的な強みが魅力だと感じていて、多くのコンサートが開催され、市民音楽団体も多数あり、博物館等の文化的施設も充実していて、素晴らしいです。未来を担う先端技術であったり、不足しがちな農林水産であったり、目を向けるべき部分はたくさんありますが、文化的な部分、良さを継続していけるような支援もぜひお願いしたいと存じます。
- ・文化や遺産などの観光名所が少ないので魅力ある文化の発信を行い、地方の活性化に繋げて欲しい。

- ・美術館の大濠公園移転の促進。
- ・アニメやVチューバーなどのサブカルチャーへの適切な応援も願いたい。

○商工業

- ・中小企業への支援。
- ・福岡ではベンチャー、スタートアップ、中小企業 etc.が無事に成長していったら良いと思っています。
- ・人材育成は引き続き実施して欲しいが、優秀な人材を育成しても他の魅力のある都市に出ていく。よって、優秀な人材を引き留めることができる産業、観光等に力を入れて欲しい。

○保健・医療

- ・安心安全なまちづくり。その為の医療体制の充実（救急含む）、子育て世代にやさしいまちづくり等。
- ・健康は大事なので検診サービスは増えても良いと思う。
- ・感染症対策。

○障がいのある人

- ・障がいがある人にもやさしい県に。
- ・こどもも大事だが高齢者・障がい者にももっと力を入れて欲しい。
- ・障がいを持っている人たちが、生き生きと安心して暮らせる社会。
- ・障がいのある方の就職先が少なく生活していけないし、長期仕事ができない、給料が少ない。

○移住・定住

- ・福岡は物価も高くないし、病院や様々な文化施設も多く、また食も大変魅力だと思います。高齢化が北九州市もどんどん進みますが、高齢者も元気に地域に関われる仕組みを作り、活気のある街になって欲しいと思います。他県や東京都なども子育てしやすい環境などを整えて、若者の移住なども推進しているので、そのような取り組みも福岡県は取り組んで欲しいと思います。これからも活気あり住みたい街と思えるよう頑張ってください。
- ・近隣他県からでも福岡県で働きたいと移住を検討するような、労働待遇の大幅改善。少子化が続く今の時代でもこどもを産み、育てたいと皆が思えるような福岡県になって欲しい。
- ・人口減少がとても気になります。企業誘致や移住者への支援に力を入れて人口減少をくいとめてほしい。

○企業誘致

- ・企業誘致による活性化や経済の安定。
- ・常に新しいことにチャレンジしている福岡市に、他県に住む知り合いからも注目の声が多いです。福岡市だけでなく、福岡県全体でも同様の取り組みを行い、大手企業や AI 関連の企業等今後成長見込みのある企業を積極的に誘致していくことで、社会保障の充実に繋がれると理想だと思う。
- ・県行政の短期経済発展には近県のような海外大型企業の誘致が早いと思われます。

○スポーツ

- ・陸上競技場の新設（世界陸上の誘致）

○人権

- ・人権を守り、こどもはすくすくと高齢者が安心出来るように。

○その他

（物価高騰）

- ・物価が高いため、食料品を購入するのに苦労しています。
- ・物価高で給料稼いでもほぼ手元に残らず生活がきつい。

（行政の対応）

- ・福岡県に住んで良かったと思えるサービスや支援、補助の充実。
- ・何でもがスピーディーに進む自治体としてトップを走って欲しい。システムが古過ぎて無駄が多いのは確か。新しいことにチャレンジすることへ二の足を踏まない、サポートが充実した都市になってもらいたい。
- ・課題の多くは人口減少に起因していると考えます。福岡県には、この問題に対して現実的かつ効果的な解決策を打ち出し、それを全国に広げていく先導役になってほしいです。福岡が変われば、日本も変わる。そのくらいの覚悟とリーダーシップを期待しています。
- ・日本三大都市は、東京、大阪、福岡、と当たり前と言われる時代が来ます。福岡市、北九州市、熊本市などの政令市とも協力しながら、九州内に留まらない経済圏の発展に期待します。
- ・公平公正な行政が行なわれること。
- ・格差の是正に力を入れてほしいです。平等な社会の実現を期待します。
- ・税の有効利用。
- ・働きざかりの税金は少々高くても、高齢者になった時、仕事が出来ない年齢になった時の社会保障制度が充実し、生涯安心して生活出来る福岡県であって欲しい。活気があり、出かけるのが楽しくなる様な福岡県であって欲しい。
- ・福岡県は素晴らしい環境に恵まれていると思います。（海、山、川、工業、産業、産地等）それぞれの特性を生かしてもっと発展させられると思います。伝統・文化等も、人や施設の育成や、まずはそこで暮らす豊かさを一人一人が感じられるように、支援をお願いします。
- ・こどもからお年寄りまで、安心して暮らせる県。困っている人がいない社会を目指して欲しい。

IV. 資料編

<調査票>

福岡県民ニーズ調査

～記入上の注意点～

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
4. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

調査票の回収について

次のいずれかの方法で、7月23日（水）までにご提出ください。

郵送回答

ご記入後、調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、郵便ポストに投函してください。

インターネット回答

次のURL又はQRコードから回答画面へアクセスし、回答してください。

<https://shinsei.pref.fukuoka.lg.jp/qtynjVtm>

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



- この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
 - これまでに実施した同調査（福岡県民ニーズ調査）の結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
- *インターネット検索で「福岡県民ニーズ調査」とご検索ください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：山口
住 所：福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：小泉
住 所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号
TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

1 県の施策について

(県の広報)

問1 県では、県政の動きやイベント情報などを広報紙やテレビ・ラジオ、インターネットなど、さまざまな媒体を使ってお知らせしていますが、あなたはどのような情報を発信してほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 県が実施している施策や取組
2. 地域のイベント・観光情報や話題などの紹介
3. 防災情報
4. 感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報
5. 大気汚染に関する情報（PM2.5、光化学オキシダントなど）
6. 子育て・教育に関する情報
7. 知事の動き
8. 県議会の取組
9. 地域の特産品や食などの紹介
10. 試験や相談会などの開催情報
11. その他（)

(次代を担う「人財」の育成)

問2 次代を担う「人財」の育成について、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 個性や能力を伸ばす教育
2. 郷土の魅力を学ぶ教育
3. 体験・交流活動の推進
4. 国際交流の推進
5. 就業支援（職業体験・訓練など）
6. 規範意識や人権意識の向上
7. 学力・体力の向上
8. 特定分野における人材の育成（産業、スポーツ、文化芸術など）
9. 次世代のリーダーとなる人材の育成
10. 教育格差の是正
11. その他（)

(「世界から選ばれる福岡県」の実現)

問3 福岡県が将来に向かって発展し、世界の舞台で勝負し、選ばれる自治体となるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 外国語教育の推進
2. 国際金融機能の誘致
3. 外国人観光客の誘客と観光地づくり
4. 農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大
5. 空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備
6. 国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展
7. 科学技術分野における世界的先進地の構築
8. 福岡県の魅力の発信
9. その他（ ）

(ワンヘルスの推進)

問4-1 福岡県は以下の考え方から、ワンヘルスの推進に取り組むこととしております。
あなたは、「ワンヘルス」とは何か知っていましたか。次の中から1つ選び、
○で囲んでください。

「ワンヘルスの推進について」

新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興感染症の多くは、人と動物の双方に感染する人獣共通感染症であり、人口増加、森林開発や農地化等の土地利用の変化、これらに伴う生態系の劣化や気候変動等によって動物と人との関係性が変化したために、動物から人に伝播するようになったといわれています。これに対応するためには、「人と動物の健康と環境の健全性是一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づいた取組が重要となります。

1. 専門的な知識を有しているため、よく知っている。
2. 知っている。
3. 聞いたことはあったが、内容は知らなかった。
4. 全く知らなかった。

(農林水産業)

問6 本県の農林水産業を発展させるため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 県産農林水産物が海外や国内の大都市で売れるようにすること
2. 県産農林水産物が地元で売れるようにすること
3. 安全で安心な農林水産物を提供すること
4. 農林水産物の生産から加工、販売までを行う6次産業化を進めること
5. 新たな担い手を確保し、育成すること
6. 他の仕事をしながら兼業で農林水産業にも携われるようにすること
7. ロボットやICT（情報通信技術）を活用した省力・高品質生産を進めること
8. 都市住民との交流、景観保全など、農山漁村の活性化を進めること
9. 食の大切さを教育すること
10. 女性農林漁業者の活躍を進めること
11. イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること
12. 公共・民間建築物における木造・木質化の促進など、県産木材の利用を進めること
13. 優良な農地を維持し、生産力を強化すること
14. その他（ ）

(観光)

問7 国内外の観光客を呼び込むため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 参加・体験型観光の推進（農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど）
2. 祭りやイベントの実施
3. 受入環境の整備（観光案内、W i - f i、食の多様性対応、ユニバーサルツーリズムなど）
4. 良好で美しい景観づくりや街並みの整備
5. 外国人観光客の誘致（多言語案内の強化、海外向けプロモーションの強化等）
6. インターネットなどを利用した観光情報の提供
7. 人材育成（観光ガイド、観光リーダー、観光産業従事者）や観光協会の組織強化
8. 国際スポーツ大会や国際会議の誘致による知名度の向上
9. 観光地へのアクセス向上（渋滞解消、道路整備、新たなモビリティ導入）
10. その他（ ）

(雇用・働き方)

問8 雇用対策について、あなたは行政に対しどのようなことに力をいれてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 若者の就職支援
2. 中高年の就職支援
3. 子育て中の女性の就職支援
4. 低所得者、失業者に対する就職・就業支援
5. 障がいのある人の就職支援
6. 長期間無業の状態にある人の職業的自立に向けた支援
7. 人材不足分野への人材移転の推進
8. 労働相談への対応（パワハラ、セクハラなど）
9. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
10. 正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善
11. テレワークや時差通勤など多様な働き方の普及
12. その他（

(デジタル化)

問9 令和3年5月、デジタル改革関連法が成立し、同年9月にデジタル庁が設置されました。

デジタル化により、以下のことが期待できるとされています。

- ・人工知能やロボットの活用により、健康管理や介護の質の向上が期待できる
- ・遠隔教育など、教育の質の向上が期待できる
- ・役所に行かずに行政手続きができる
- ・商工業、農林水産業の高付加価値化、省力化が期待できる など

あなたは、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 行政手続きのオンライン化
2. ICT（情報通信技術）を活用した遠隔教育など教育環境の整備
3. テレワーク施設など仕事環境の整備
4. ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進
5. 自動運転など新しい技術を活用した交通サービスの実現
6. ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化
7. 省力・高生産性を実現するスマート農林水産業の確立
8. その他（ ）

(保健・医療)

問10 健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 自主的な健康づくりの支援
2. 生活習慣病対策
3. がん対策
4. むし歯、歯周病対策
5. こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策
6. 難病患者への支援
7. 感染症対策
8. 救急医療体制の確保
9. へき地医療対策
10. 医療・看護を担う人材の育成・確保
11. 認知症の方とその家族への支援
12. その他（ ）

(スポーツ)

問 11 スポーツを推進し、さらにスポーツの力で県と県民生活をより豊かにするために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保
2. 学校におけるスポーツ活動（体育や運動部活動）の充実
3. トップアスリートの育成、指導者の育成・資質の向上
4. スポーツ施設の充実
5. スポーツにおける健全性の向上（体罰、暴力、ハラスメント等の防止）
6. 大規模スポーツ大会やスポーツの強化合宿等の誘致
7. スポーツ産業の振興を通じた地域経済の活性化
8. その他（ ）

(障がいのある人)

問 14 障がいのある人が安心して生活できる社会をつくるため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 障がいのある人の就職支援
2. 障がいのある人の収入向上
3. 障がいのある人の社会参加
4. 障がい者スポーツの推進
5. 不当な差別的取扱いの禁止
6. 合理的配慮の提供 ※1
7. 医療的ケア児の支援 ※2
8. 快適に暮らせるまちづくり（住宅の整備、バリアフリーなど）
9. その他（ ）

※1 合理的配慮

社会の中にあるバリアを取り除くため、障がいのある人から何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
例) 段差がある場合に、スロープなどを使って補助する

※2 医療的ケア児

日常生活及び社会生活を営むため、恒常的に、たんの吸引や経管栄養、人工呼吸器の使用などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと

(人権)

問 15 人権課題の解決に向けて、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れるべきと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 人権意識を高め、人権への理解を深めてもらうための啓発広報活動の推進
2. 学校内外の人権教育の充実
3. 人権課題に対応する専門の相談機関・施設の充実
4. 人権が侵害された被害者の救済・支援の充実
5. 犯罪の取締り強化
6. 人権に関する情報の収集及び提供の充実
7. 人権侵犯事件の調査・処理や人権相談に関する人員の充実
8. 市町村、民間団体等の関係機関との連携強化
9. その他（ ）

(国際交流)

問 16 国際交流の推進や外国人との相互理解の促進のために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）
2. 若者文化の交流（まんが、アニメ、音楽など）
3. 青少年の海外研修
4. 留学生の受入れ
5. 外国語や諸外国の文化、制度等の学習
6. 外国人労働者の受入れ
7. 外国人が国内で暮らしやすい環境づくり
8. 国際イベントの開催・支援
9. その他（ ）

(防犯・交通安全)

問 17 犯罪や事故のない社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 暴力団対策の推進
2. 飲酒運転撲滅対策の推進（飲酒運転撲滅に向けた取締り、交通安全教育・啓発など）
3. 性犯罪、痴漢・盗撮等根絶対策の推進
4. ニセ電話詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進（被害防止活動、取締りなど）
5. 児童虐待・ストーカー・DV対策の推進
6. サイバー空間の安全確保に向けた対策の推進
7. 犯罪の検挙・抑止のためのパトロール活動の強化
8. 凶悪事件の徹底検挙（殺人、強盗など）
9. 大麻など薬物対策の推進
10. 交通安全活動の推進（交通安全教育・啓発、交通規制の見直し、交通指導取締りなど）
11. 災害対策の推進、警察の災害対応能力の強化
12. テロ対策の推進
13. その他（ ）

(地域振興)

問 18 2040 年の本県の人口について、表 1 のとおり、県全体として人口減少が見込まれています。あなたのお住まいの地域では、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から 2 つまで選び、○で囲んでください。

表1：県内各地域における人口の見通し

(单位:千人)

	2020年	2040年	人口比（2040年/2020年）
福岡県計	5,135.2	4,762.0	92.7
北九州	1,254.1	1,063.5	84.8
福岡	2,689.7	2,708.8	100.7
筑後	794.0	672.6	84.7
筑豊	397.4	317.2	79.8

資料：2020年：総務省「国勢調査」

2040年：国立社会保障・人口問題研究所推計（2023年）

1. 地域の雇用の創出につながる企業の誘致
2. 通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備
3. 農林水産業の振興
4. 教育水準の向上
5. 医療提供体制の確保
6. 移住施策の推進
7. 外国人が暮らしやすい環境づくり
8. 商工業、農林水産業などの産業の発展を担う人材の育成
9. 自治会、町内会などの地域コミュニティの維持・活性化を担う人材の育成
10. 特に力を入れなくて良い
11. その他（ ）

(移住・定住)

問 19 県では、大都市圏からの移住・定住の促進に取り組んでいますが、行政に対しどのようなことに力を入れるべきと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信
2. 移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実
3. 移住先での就職支援
4. 場所を選ばず仕事ができる環境づくり（テレワーク）
5. 人材不足分野（医療福祉、農林水産など）へ就職する場合の移住支援金の支給
6. その他（ ）

(企業誘致)

問 20 県では、世界から選ばれる福岡県を実現するため企業の誘致に取り組んでいますが、行政に対しどのようなことに力を入れるべきと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信
2. 移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実
3. 企業の移転先での優秀な人材の確保
4. 場所を選ばず仕事ができる環境づくり（テレワーク）
5. 移転する企業への支援金の支給
6. その他（ ）

(グリーン社会)

問 21 地球温暖化は、豪雨による災害、熱中症の増加、農作物の品質低下など、様々な影響をもたらすため、県では、「2050年カーボンニュートラル」を目指し、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度比46%削減することとしました。温室効果ガスの排出削減のため、行政に対しどのようなことに力を入れるべきと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進
2. 省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進
3. 自動車の電動化の促進、交通渋滞の解消・緩和
4. 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入拡大
5. 水素、電気自動車、風力発電など成長産業の育成
6. その他（ ）

(教育)

問 22 学校教育において、あなたはどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 学力、体力の向上
2. 道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育
3. いじめ、不登校への対応
4. 教職員の育成
5. スポーツ、文化芸術など、個性や能力を伸ばす教育
6. 国際感覚を身につける教育
7. 特別支援教育
8. 教育環境の整備（外国人教師配置、I C T（情報通信技術）環境整備など）
9. その他（ ）

(こども・子育て支援)

問 23 安心して子どもを産み育てることができ、こども自身が自立して健やかに成長できる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 母子保健サービス（妊婦や乳幼児の健康診査や保健指導、不妊治療への支援など）
2. 医療体制の充実（出産前後や小児の医療体制の受入体制など）
3. 病児保育の拡充（利用可能施設の増加、予約方法の利便性向上など）
4. 多様な保育サービスの充実（延長保育、休日・夜間保育など）
5. 待機児童の解消（保育所整備、保育士確保など）
6. 男性が家事・子育てをしやすい職場環境づくりや育児休業取得の促進
7. 女性が結婚や出産後も家事・子育てをしながら働き続けることができる職場づくり
8. こどもが安心して過ごすことができる居場所づくり（放課後児童クラブ、こども食堂、学習支援の場など）
9. ひとり親家庭の支援
10. 子育て家庭への経済的負担の軽減
11. 社会全体で子育てを応援したり、こどもの意見・権利を尊重する気運の醸成
12. その他（ ）

(防災)

問 24 大雨や台風など災害時における避難指示や避難所開設状況などの情報について、あなたは行政からどのような手段で情報発信をすることが有効だと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 防災行政無線（屋外スピーカー）
2. 防災行政無線（戸別受信機）
3. 防災メールや防災アプリ
4. X（旧ツイッター）やフェイスブックなどのソーシャルメディア
5. 県・市町村などのホームページ
6. その他（ ）

(重点分野)

問 25 以下の20分野のうち、あなたはどの分野に力を入れてほしいですか。次の中から3つ選び、○で囲んでください。

1. 商工業
2. 農林水産業
3. 観光
4. 雇用・働き方
5. デジタル化
6. 保健・医療
7. スポーツ
8. 文化芸術
9. 高齢者
10. 障がいのある人
11. 人権
12. 国際交流
13. 防犯・交通安全
14. 地域振興
15. 移住・定住
16. 企業誘致
17. グリーン社会
18. 教育
19. こども・子育て支援
20. 防災

問 26 上記以外で、あなたが福岡県に期待することや特に力を入れて欲しいこと、あなたが思い描く将来の福岡県の姿など、ご自由にお書きください。

【参考設問】

Q1： 県では、性別によって差別されることなく、人権が尊重され、社会のあらゆる分野で能力を発揮できるよう取組をすすめています。

このことについて、以下の2つのことをお尋ねしますので、「思う」「思わない」のいずれかを○で囲んでください。

- (1) 日々の暮らしの中で、性別による差別を感じることもある
(1. 思う 2. 思わない)
- (2) 仕事の中で、性別による差別を感じることもある (1. 思う 2. 思わない)
- ※ (2) は仕事をされている方のみ回答

Q2： NPOの活動やボランティア活動（以下、社会活動という）について、以下の2つのことをお尋ねしますので、あてはまる選択肢を○で囲んでください。

- (1) 社会活動の経験はありますか (1. ある 2. ない)
- (2) あなたは、今後、社会活動に参加してみたいですか (1. はい 2. いいえ)
- (3) 【(2)で「はい」と回答した方】どのような社会活動に参加してみたいですか
(1. 被災地支援、2. 地域交流、3. 子育て、4. 環境、5. 国際交流
6. スポーツ、7. 文化芸術、8. 教育、9. その他 ())
- ※あてはまるものすべてご回答ください。

Q3： 今お住まいのあなたの地域で実感することについて、次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 若い世代が少ない
2. 買い物がしづらい（店舗数の減少）
3. 空き家が多い
4. 働く場が少ない
5. 病院が少ない
6. 公共交通機関（バス、鉄道など）が少ない
7. 道路が整備されていない
8. 地域の担い手（町おこし、消防団など）が少ない
9. その他 ()

Q4： あなたは、SDGs（エスディーゼーズ）という言葉を知ったことがありますか。あてはまるものを1つ選び、○で囲んでください。

1. 良く知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 聞いたことはない



※SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に取り組む、2030年までの達成を目指す国際目標のこと。

Q5： あなたは、この1年間に、ホール、劇場、美術館、博物館などで、料金を支払い、文化芸術を鑑賞したり、体験したりしたことはありますか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 音楽
2. 美術
3. 演劇、舞踏
4. 伝統芸能・民族芸能（能楽、歌舞伎、神楽など）
5. 生活文化（茶道、華道、書道）
6. メディア芸術（映画、漫画、アニメ、デジタルアートなど）
7. 文化財等（絵画、古文書、仏像、歴史的建物、史跡含む）
8. 鑑賞、体験したものはない
9. 分からない
10. その他（ ）

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別を以下の欄にご記入ください

(記入欄)

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 18・19歳 | 5. 50～59歳 |
| 2. 20～29歳 | 6. 60～69歳 |
| 3. 30～39歳 | 7. 70歳以上 |
| 4. 40～49歳 | |

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 農林水産業（家族従業者を含む） | 5. 家事専業 |
| 2. 自営業・自由業（家族従業者を含む） | 6. 学生 |
| 3. 企業、役所、団体などの正規職員 | 7. 無職（定年退職者を含む） |
| 4. パート・アルバイト、契約社員、
派遣社員など | 8. その他
() |

F 4. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。
1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|



F 4-2. お子さんがいらっしゃる方（「F 4.」で「1」を選択した方）のみにお尋ねします。小学校入学前（乳幼児を含む）のお子さんがいらっしゃいますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。

(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 那珂川市	44. 田川郡糸田町	59. 三潆郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

*ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月23日（水）までに郵便ポストに投函してください。

